

令和4年度
「仙台市市民意識調査」
報 告 書

令和4年8月
仙 台 市

【目 次】

I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査仕様	1
4. 調査期間	1
5. 回収率	1
6. 報告書の見方	2
7. 回答者の属性	3
(1) 居住区	3
(2) 性別	3
(3) 年齢	3
(4) 住居形態	4
(5) 職業	4
(6) 世帯構成	4
(7) 同居者の状況	5
(8) 居住年数	5
(9) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較	6

II. 調査結果

1. 仙台市の現状と施策の評価（一覧）	9
(1) 現状の評価一覧	9
(2) 取り組んでいる施策の評価一覧	11
2. 仙台市の現状と施策の評価（属性別）	14
(1) 杜と水の都プロジェクト	14
(2) 防災環境都市プロジェクト	18
(3) 心の伴走プロジェクト	23
(4) 地域協働プロジェクト	27
(5) 笑顔咲く子どもプロジェクト	31
(6) ライフデザインプロジェクト	35
(7) TOHOKU 未来プロジェクト	39
(8) 都心創生プロジェクト	43
(9) 手続きやサービスのデジタル化	46
3. 仙台市の現状と施策の評価（今後力を入れていくべき施策）	48
(1) 今後特に力を入れていくべきと思う施策	48
(2) 施策に対する期待×現状評価マップ	50
4. 仙台市の住みやすさなど	51
(1) 仙台市の住みやすさ	51

（２）仙台市が住みやすい理由	52
（３）仙台市が住みにくい理由	53
（４）仙台市への居住意向	54
（５）仙台市への愛着	55
５．市政全般に関する意見	56

Ⅲ． 資料

調査票.....	61
仙台市基本計画〈概要版〉（３～10 ページ抜粋）	69

I . 調查概要

1. 調査目的

本調査は、本市が重点的に取り組む施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、年齢層別等の視点も含めた総合的な分析を行い、その結果を施策の進捗管理に活かすことにより、本市の重点施策の推進を図ることを目的とする。

2. 調査項目

(1) 基本計画に基づく現状と施策の評価

現状の評価（8分野）、施策の評価（9分野 26 項目）、力を入れていくべき施策

(2) 仙台市における住みやすさなど

仙台市の住みやすさ、今後の仙台市への居住意向、仙台市への愛着

(3) 自由意見

3. 調査仕様

(1) 調査地域 仙台市全域

(2) 調査対象 仙台市に居住する満 18 歳以上の男女 6,000 人

(3) 抽出方法 令和 4 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法 無記名式の質問調査（郵送による配布・WEB または郵送による回収）

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
令和 4 年 4 月 25 日	令和 4 年 5 月 18 日	令和 4 年 5 月 24 日

5. 回収率

配布数	無効数（不達等）	有効回収数	有効回収率
6,000 件	20 件	3,101 票	51.9%

※有効回収率：有効回収数／配布数－無効数（不達等）

6. 報告書の見方

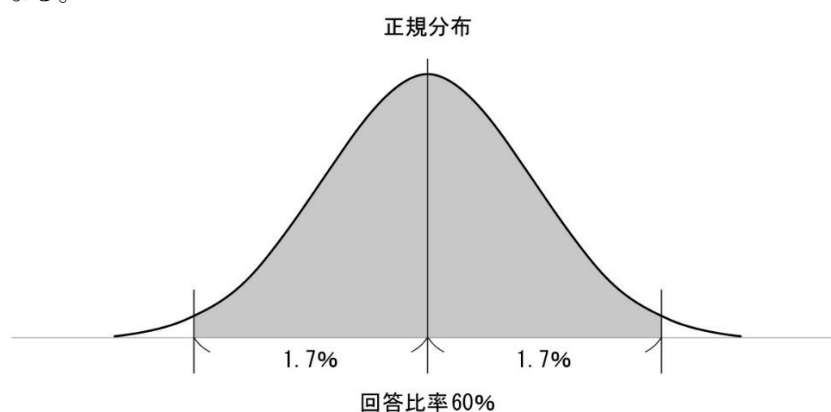
- ・調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ・「 」は1つの選択肢を、『 』は複数の選択肢を合わせた表現を示している。
- ・95%信頼区間での標本誤差は、次の式で統計学的に得られる。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\{(N - n)/(N - 1)\} \times \{p \times (1 - p)/n\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数（サンプル数） P=回答比率

$\begin{matrix} p \\ n \end{matrix}$	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
3,101	±1.1%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
200	±4.2%	±5.5%	±6.4%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%

表の見方：ある設問の回答者数が3,101で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.7%以内（58.3～61.7%）とみることができる。また、標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）及び回答比率（P）によって異なる。

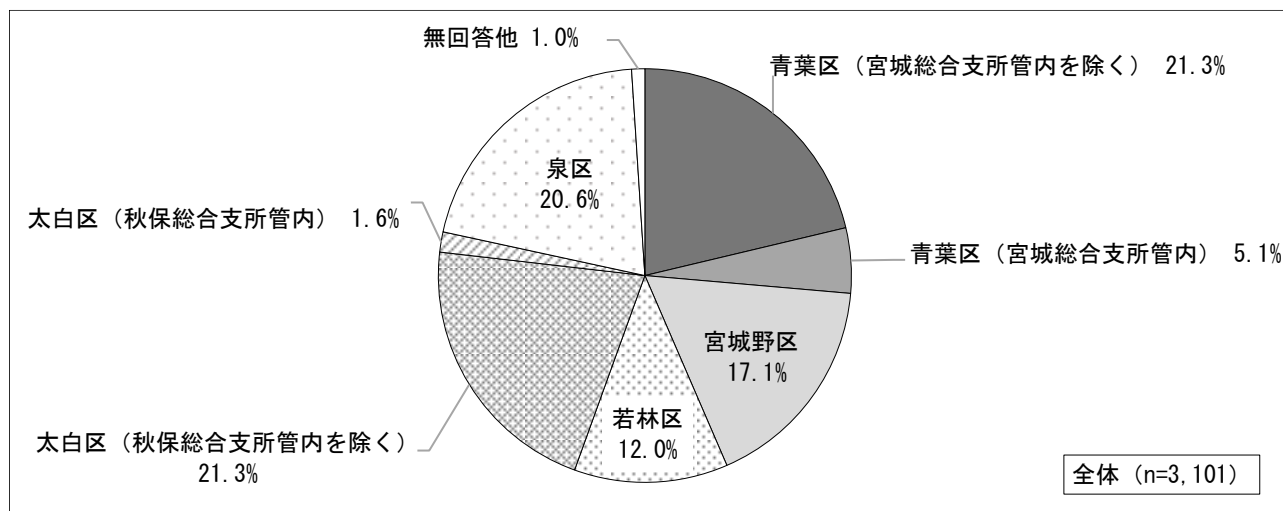


※95%信頼区間：無作為抽出を繰り返し行えば100回に95回の割合で、区間内に母集団平均が含まれる。

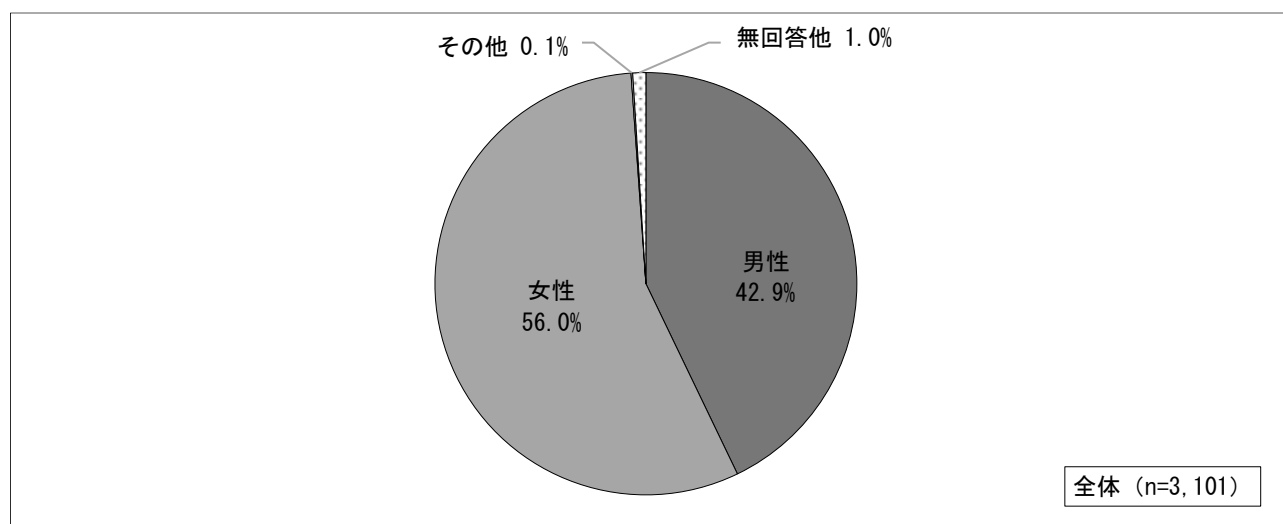
※標本誤差：標本調査の結果として得られた推計値の正確さを表す数値。この場合の標本調査は調査の客体を無作為に選んだものでなければならない。

7. 回答者の属性

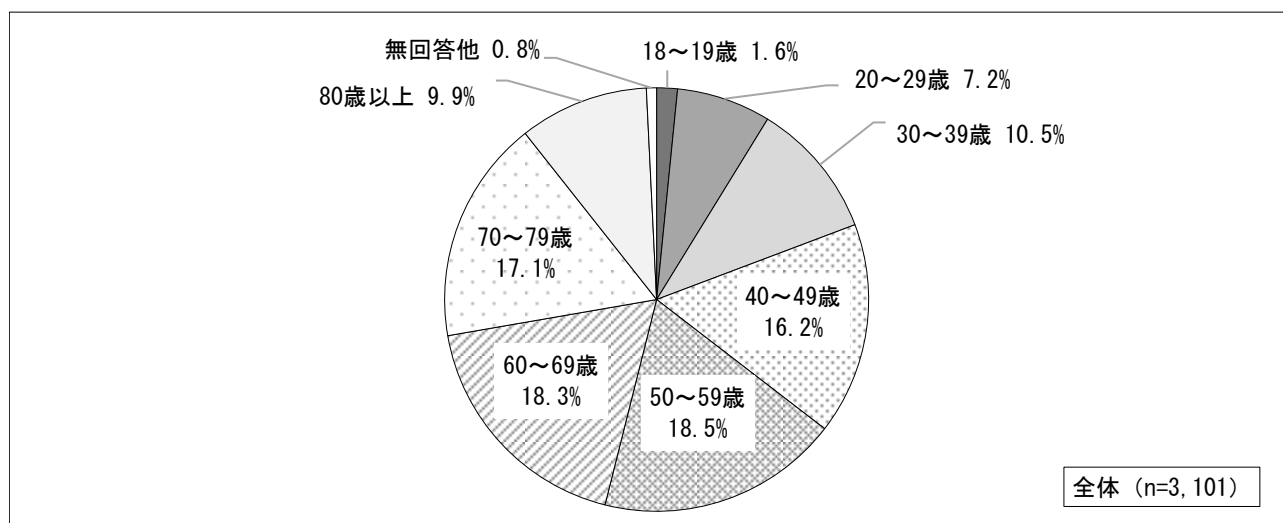
(1) 居住区



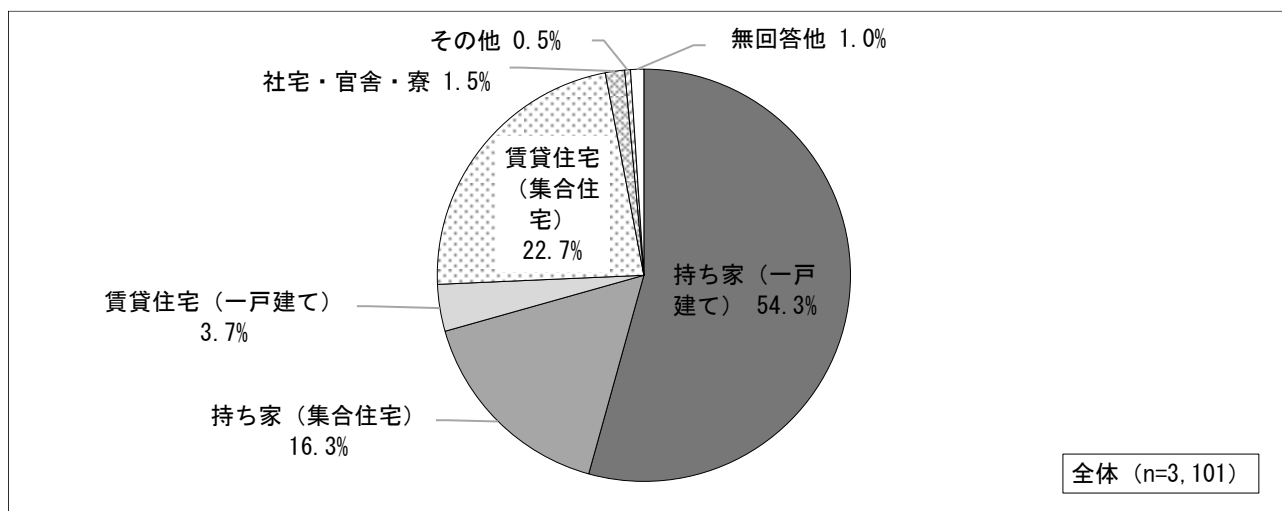
(2) 性別



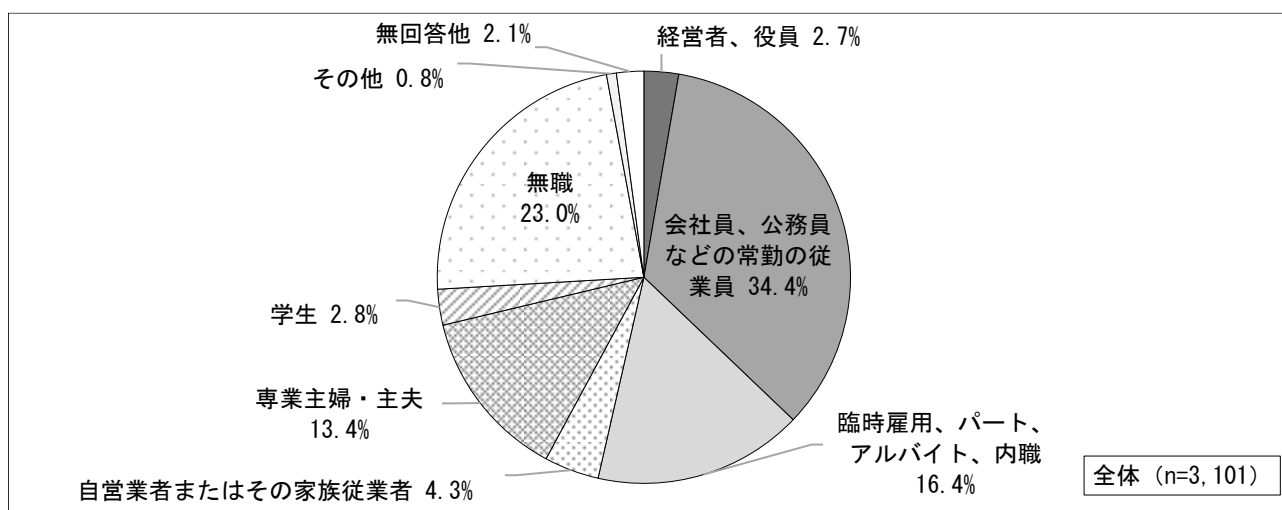
(3) 年齢



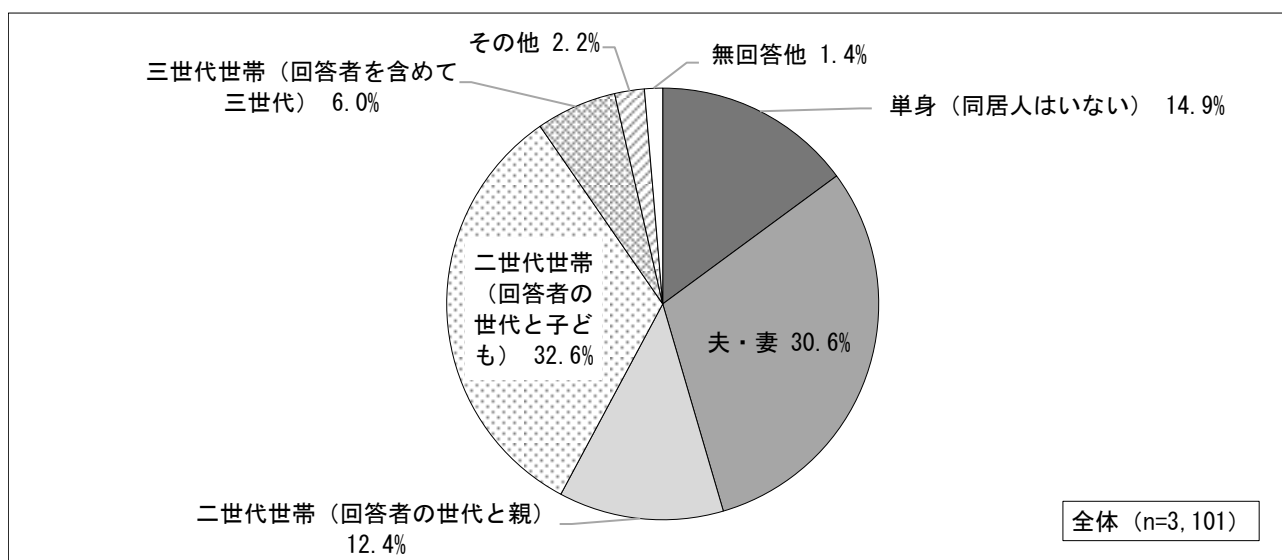
(4) 住居形態



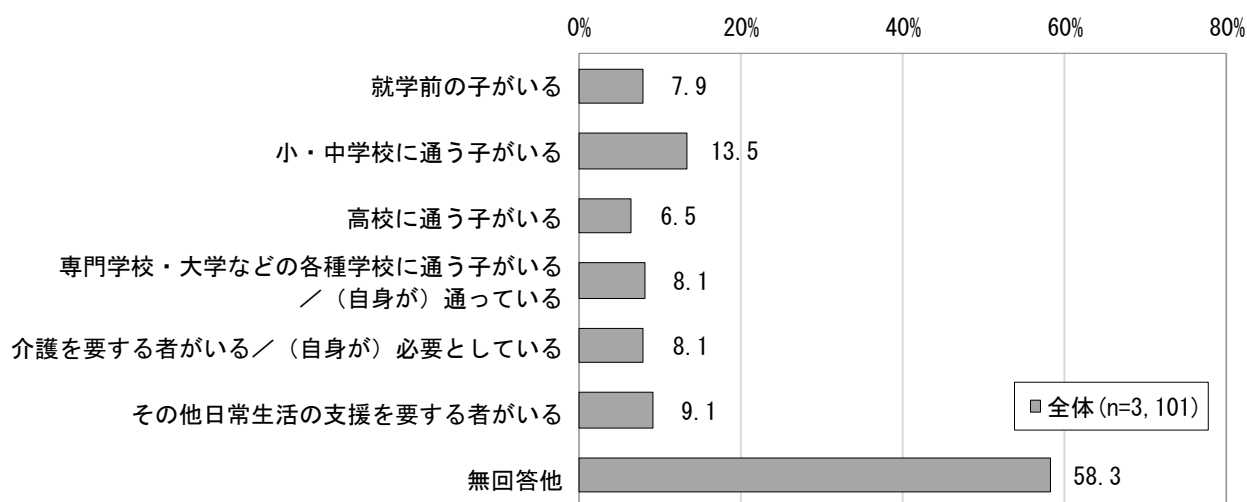
(5) 職業



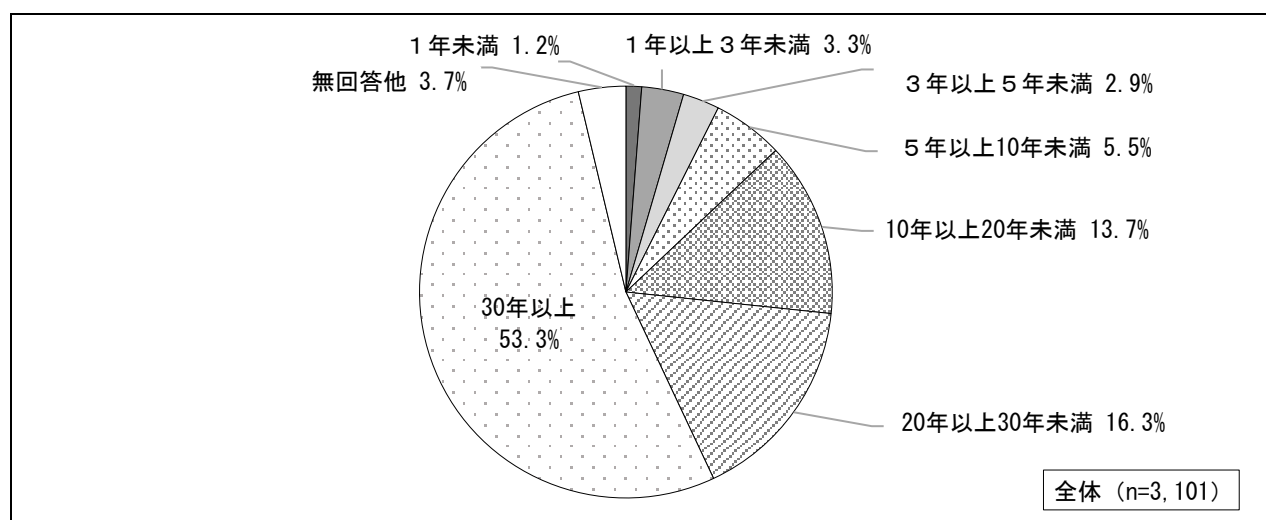
(6) 世帯構成



(7) 同居者の状況（複数回答）



(8) 居住年数



(9) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較

	母集団数 (人)	割合 (%)	有効回収数 (票)	割合 (%)
年齢層別				
18～19 歳	20,468	2.3	49	1.6
20～29 歳	120,592	13.3	223	7.2
30～39 歳	134,634	14.8	325	10.5
40～49 歳	162,282	17.9	502	16.2
50～59 歳	145,414	16.0	573	18.5
60～69 歳	121,879	13.4	569	18.3
70～79 歳	119,175	13.1	530	17.1
80 歳以上	82,698	9.1	306	9.9
無回答他			24	0.8
計	907,142	100.0	3,101	100.0
性別				
男 性	433,448	47.8	1,329	42.9
女 性	473,694	52.2	1,737	56.0
無回答他（その他含む）			35	1.1
計	907,142	100.0	3,101	100.0

※母集団数は、令和4年4月1日現在 住民基本台帳による。

Ⅱ. 調査結果

1. 仙台市の現状と施策の評価（一覧）

（１）現状の評価一覧

仙台市では「仙台市基本計画 2021-2030」において掲げた、8つのチャレンジプロジェクト〔※〕を軸に、様々な施策に取り組んでいます。

問１～問８の各プロジェクトに関連することとして、「あなたが思う仙台市の現状」をお答えください。

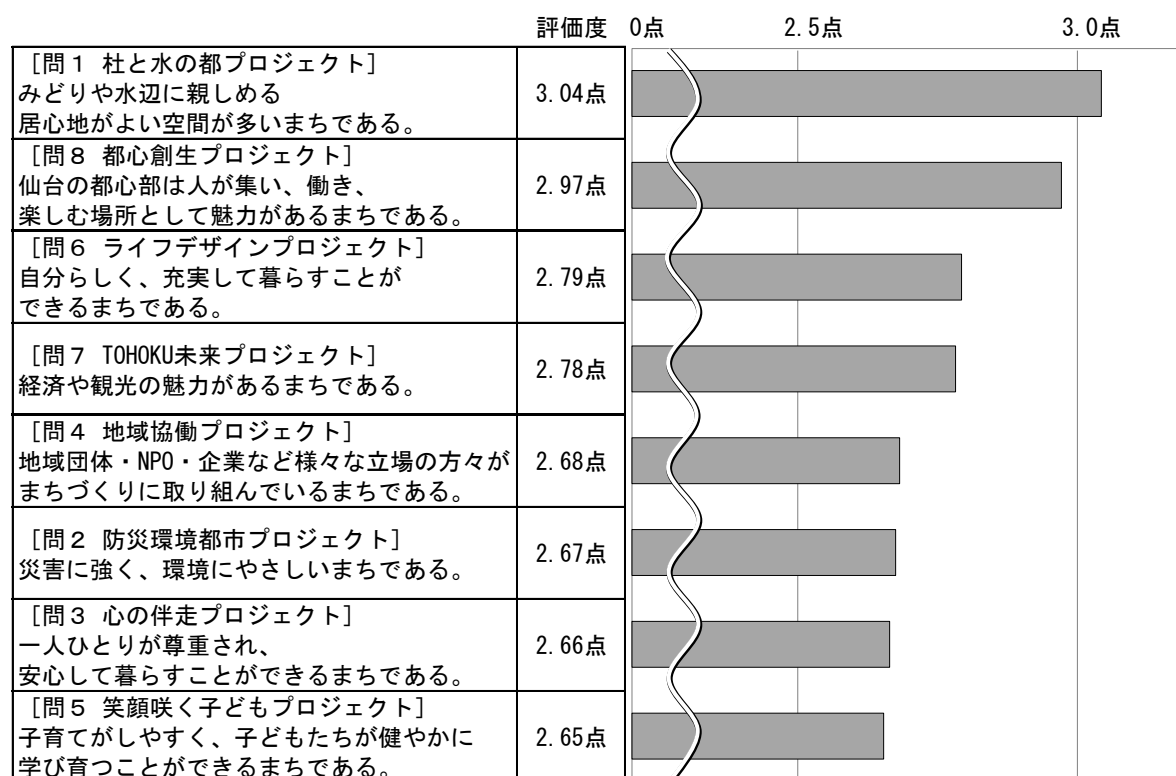
※プロジェクトの詳細は、「Ⅲ. 資料：仙台市基本計画〈概要版〉（３～１０ページ抜粋）」参照

①評価度による比較

「そう思う」を４点、「どちらかといえばそう思う」を３点、「どちらかといえばそう思わない」を２点、「そう思わない」を１点とし、その平均点を評価度としている（「わからない」「無回答他」は母数から除いている）。

〔問１ 杜と水の都プロジェクト〕の「みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。」が３.０４点と最も高く、〔問８ 都心創生プロジェクト〕の「仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。」が２.９７点と、２番目に高い評価度となっている。

一方、〔問４ 地域協働プロジェクト〕の「地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。」、〔問２ 防災環境都市プロジェクト〕の「災害に強く、環境にやさしいまちである。」、〔問３ 心の伴走プロジェクト〕の「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」、〔問５ 笑顔咲く子どもプロジェクト〕の「子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。」は、２.６０点台と、相対的に低い評価度となっている。



②プロジェクトごとの評価

〔問1 杜と水の都プロジェクト〕の「みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。」は、3.04点と最も高い評価度となっており、約4人に1人が「そう思う」と回答している。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると77.9%と、約8割となっている。

〔問2 防災環境都市プロジェクト〕の「災害に強く、環境にやさしいまちである。」は2.67点と、相対的に低い評価度となっている。

〔問3 心の伴走プロジェクト〕の「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」は2.66点と、相対的に低い評価度となっている。

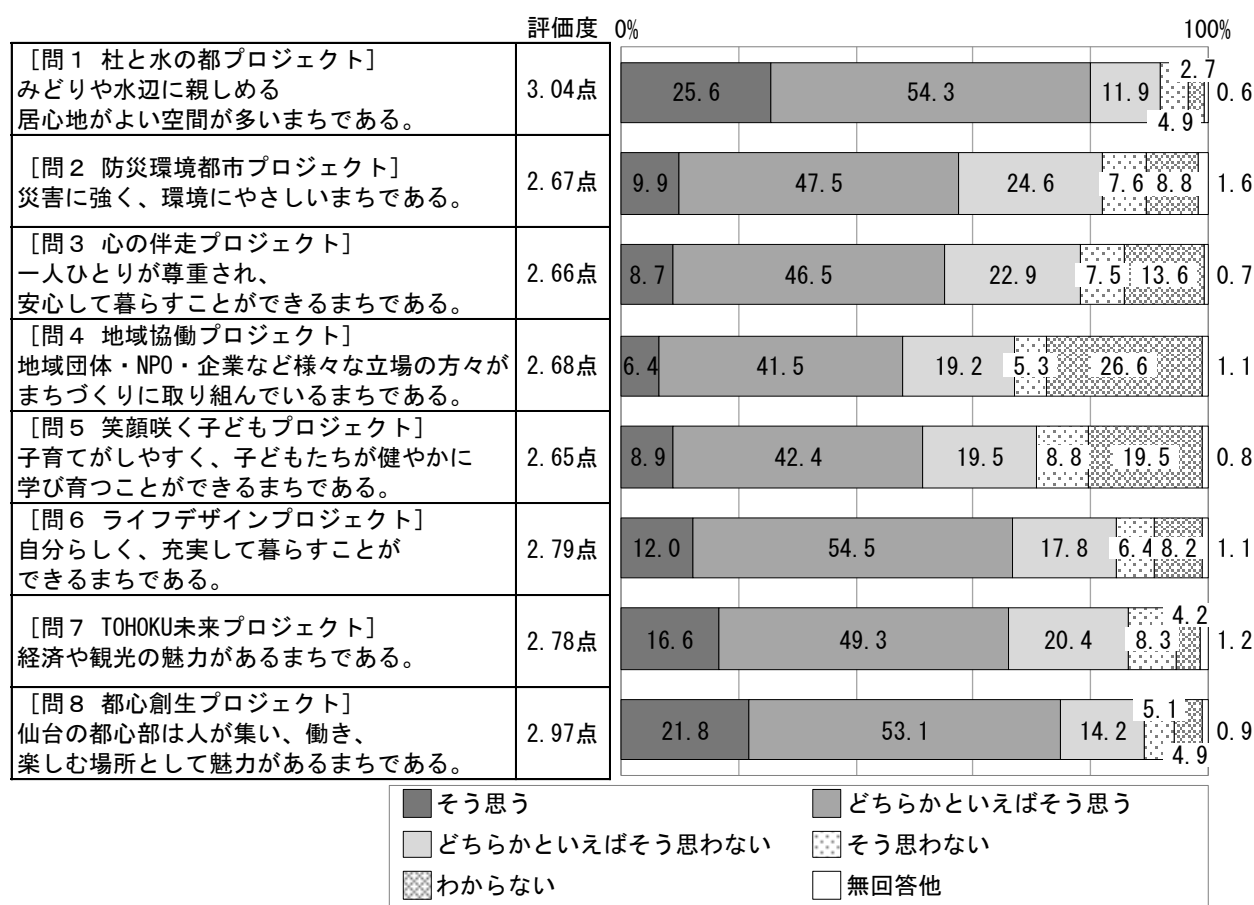
〔問4 地域協働プロジェクト〕の「地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。」は2.68点と、相対的に低い評価度となっている。約4人に1人が「わからない」と回答していることが特徴的である。

〔問5 笑顔咲く子どもプロジェクト〕の「子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。」は2.65点と、最も低い評価度となっている。

〔問6 ライフデザインプロジェクト〕の「自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。」は2.79点と、相対的に高い評価度となっている。

〔問7 TOHOKU未来プロジェクト〕の「経済や観光の魅力があるまちである。」は2.78点と、相対的に高い評価度となっている。

〔問8 都心創生プロジェクト〕の「仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。」は2.97点と、全体で2番目に高い評価度となっている。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると74.9%と、7割超となっている。



(2) 取り組んでいる施策の評価一覧

問1～問8の各プロジェクトに関連することとして、「仙台市が取り組んでいる施策」に対するあなたの評価をお答えください。

また、仙台市では、社会の変化を踏まえて、行政手続や市民サービスのデジタル化を進めています。問9の仙台市が取り組んでいるデジタル化の施策に対するあなたの評価をお答えください。

①評価度による比較

「評価する」を4点、「どちらかといえば評価する」を3点、「どちらかといえば評価しない」を2点、「評価しない」を1点とし、その平均点を評価度としている（「わからない」「無回答他」は母数から除いている）。

「1-② まちにみどりを広げる百年の杜づくり」が3.07点と最も高くなっている。一方、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が2.33点と最も低くなっている。

			評価度	0点	2.5点	3.0点
1-②	まちにみどりを広げる百年の杜づくり	3.07点				
8-②	居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり	2.96点				
2-①	防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備	2.92点				
6-①	文化芸術や歴史などに親しむことができる環境づくり	2.92点				
7-③	訪れる人を増やす取り組み	2.90点				
2-③	環境にやさしいまちづくり	2.80点				
1-①	青葉山周辺における人を惹きつける魅力ある空間づくり	2.79点				
1-③	水辺を楽しめる空間づくり	2.78点				
4-②	若者のチャレンジを応援する環境づくり	2.74点				
9-①	行政手続や市民サービスのデジタル化	2.74点				
2-②	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み	2.72点				
3-①	一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり	2.72点				
8-①	都心部の活力とにぎわいを生む取り組みの推進	2.71点				
6-③	一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり	2.69点				
4-①	協働を地域の課題解決やにぎわいづくりに活かす環境づくり	2.68点				
4-③	仙台市西部地区における地域主体のまちづくりの推進	2.66点				
5-①	子どもたちの学びの推進や地域協働による成長の環境づくり	2.65点				
9-②	デジタル技術の活用による市民の暮らしや仕事の質の向上	2.65点				
7-②	地域産業の成長を支える環境づくり	2.64点				
5-③	子育てを楽しめる環境づくり	2.60点				
5-②	子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり	2.59点				
6-②	一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加の機会づくり	2.58点				
2-④	公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり	2.56点				
7-①	あらゆる事業者が新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり	2.56点				
3-②	支えあいながら暮らすことができる環境づくり	2.50点				
3-③	子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	2.33点				

※施策名は、問10の略称を使用している。

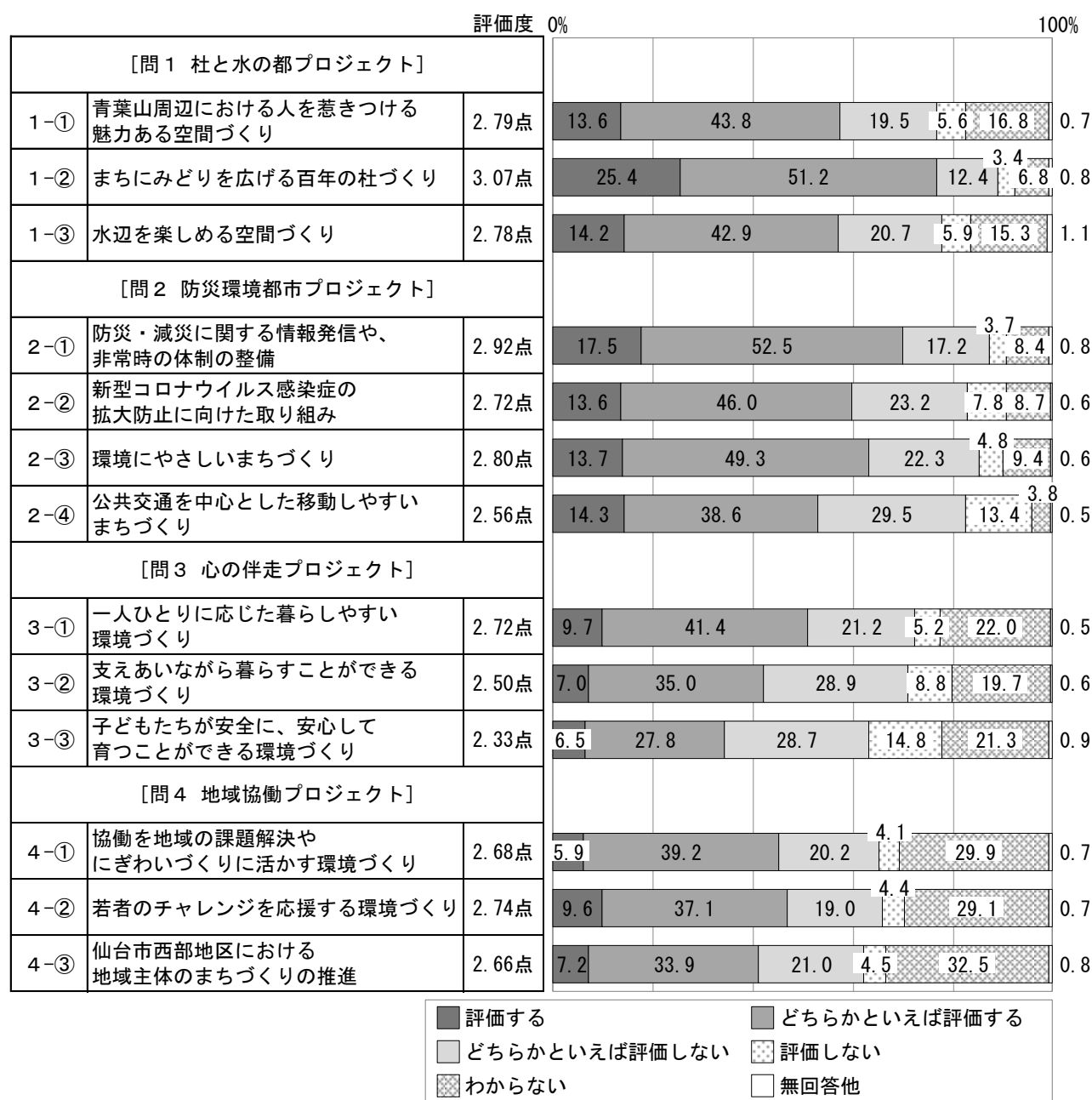
②各プロジェクトにおける施策ごとの評価

〔問1 杜と水の都プロジェクト〕では、「1-② まちにみどりを広げる百年の杜づくり」が3.07点と最も高く、約4人に1人が「評価する」と回答しており、施策全体で最も高い評価度となっている。

〔問2 防災環境都市プロジェクト〕では、「2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備」が2.92点と最も高くなっている。一方、「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」が2.56点と低くなっており、1割超が「評価しない」と回答している。

〔問3 心の伴走プロジェクト〕では、「3-① 一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり」が2.72点と最も高くなっている。一方、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」は2.33点と低く、施策全体で最も低い評価度となっている。

〔問4 地域協働プロジェクト〕では、「4-② 若者のチャレンジを応援する環境づくり」が2.74点と最も高くなっている。



※施策名は、問10の略称を使用している。

Ⅱ. 調査結果

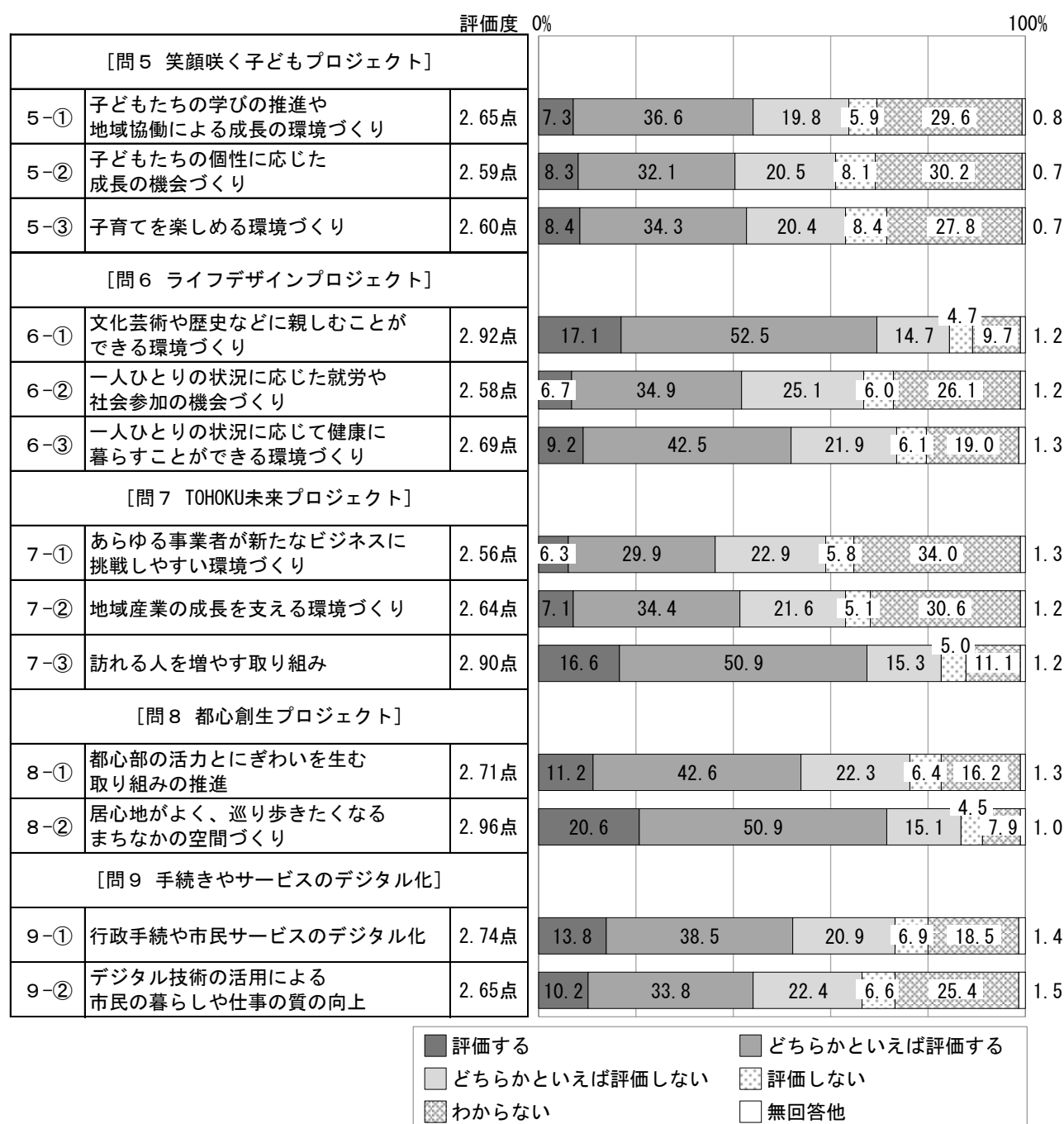
〔問5 笑顔咲く子どもプロジェクト〕では、「5-① 子どもたちの学びの推進や地域協働による成長の環境づくり」が 2.65 点と最も高いが、他のプロジェクトと比べ、全体的に評価度が低くなっている。

〔問6 ライフデザインプロジェクト〕では、「6-① 文化芸術や歴史などに親しむことができる環境づくり」が、2.92 点と最も高くなっている。

〔問7 TOHOKU 未来プロジェクト〕では、「7-③ 訪れる人を増やす取り組み」が、2.90 点と最も高くなっている。

〔問8 都心創生プロジェクト〕では、「8-② 居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり」が 2.96 点と最も高く、全体の中でも 2 番目に高い評価度となっている。

〔問9 手続きやサービスのデジタル化〕では、「9-① 行政手続や市民サービスのデジタル化」が 2.74 点と高くなっている。



※施策名は、問10の略称を使用している。

2. 仙台市の現状と施策の評価（属性別）

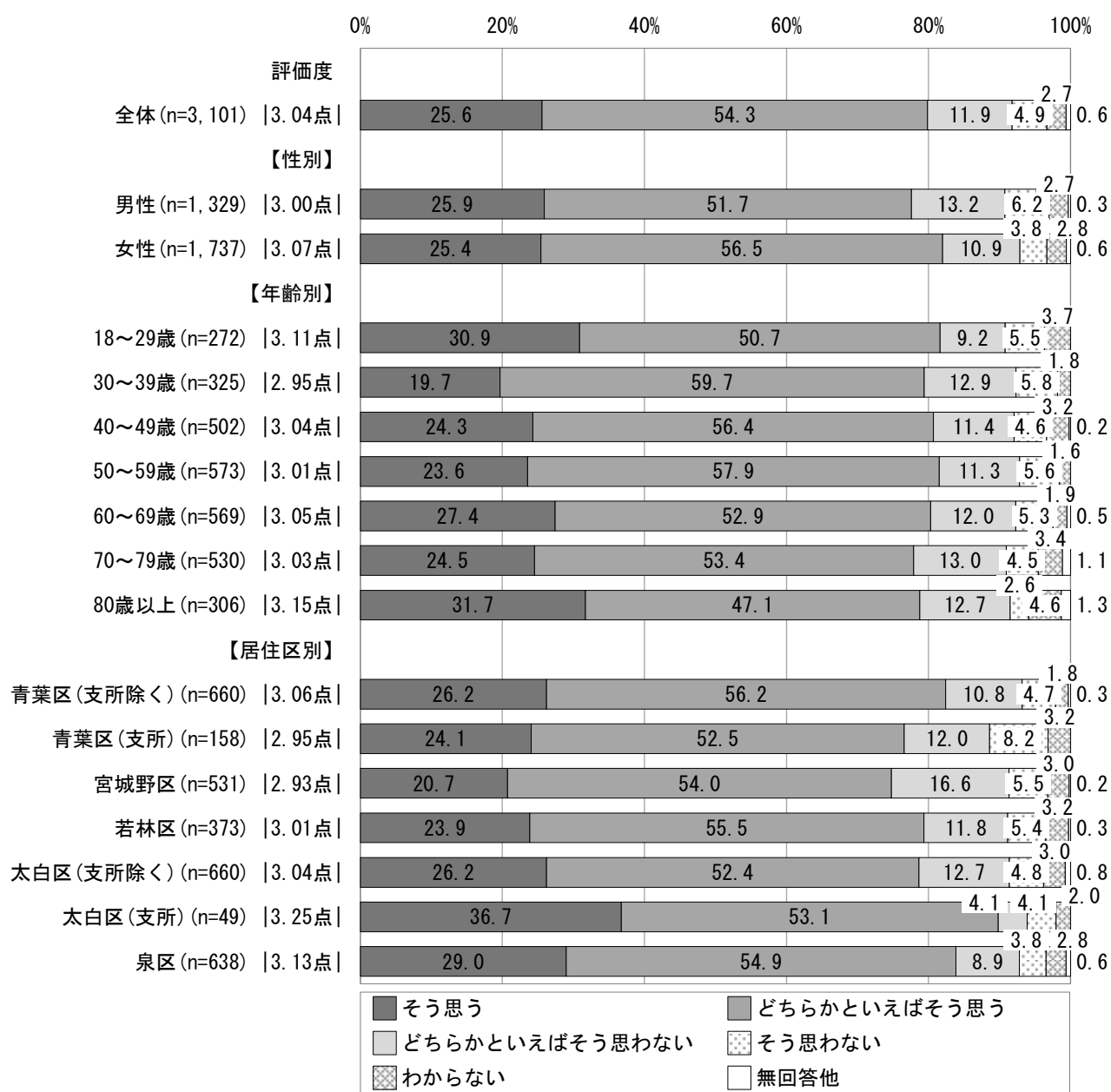
（1）杜と水の都プロジェクト

<仙台市の現状>

みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。

全体では、評価度が 3.04 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



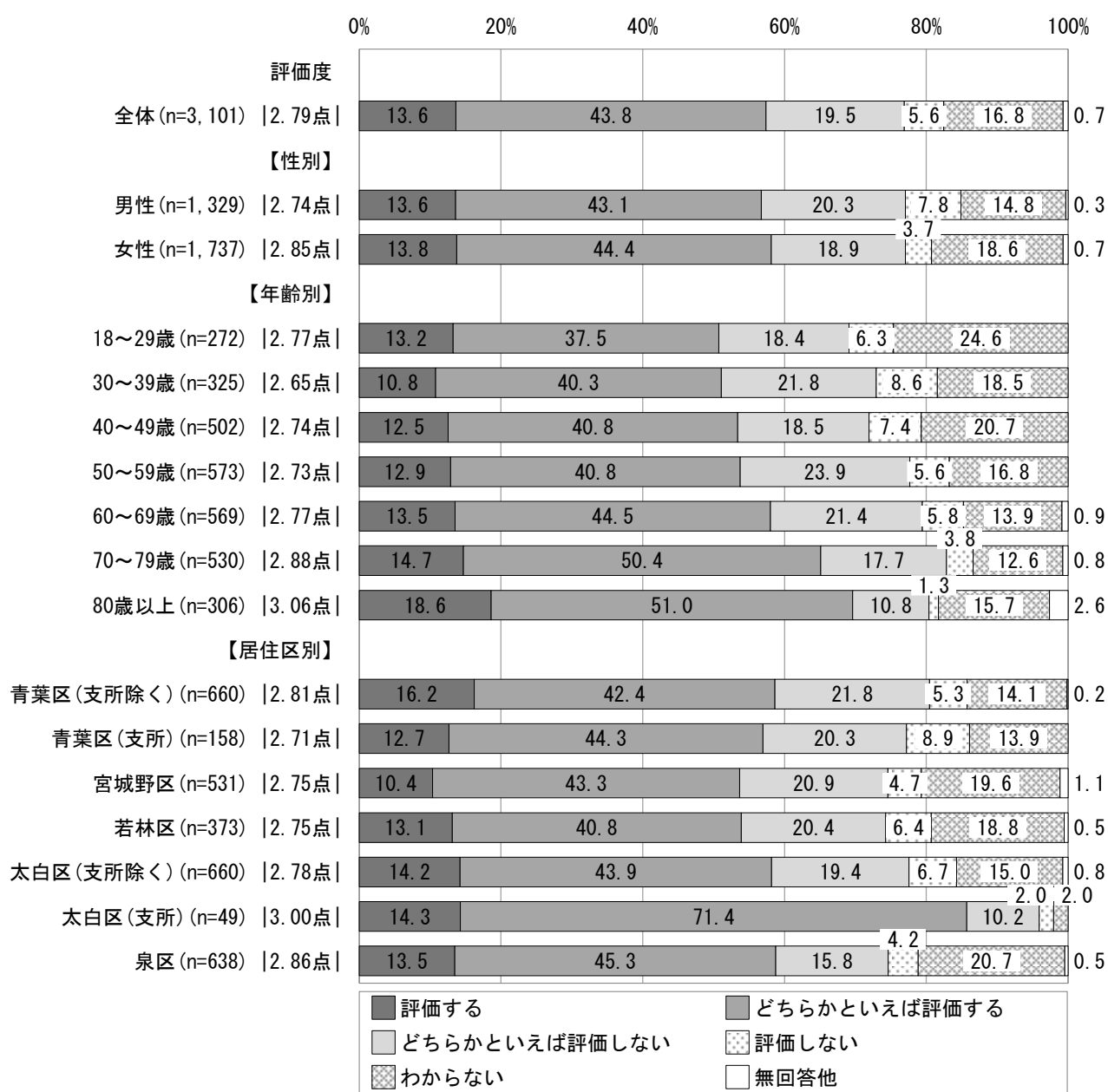
※居住区別の「青葉区(支所)」は「青葉区(宮城総合支所管内)」、「太白区(支所)」は「太白区(秋保総合支所管内)」を指す。以下同じ。

＜取り組んでいる施策＞

1-① 青葉山周辺における域内外から人を惹きつける魅力ある空間づくり

全体では、評価度が 2.79 点となっている。

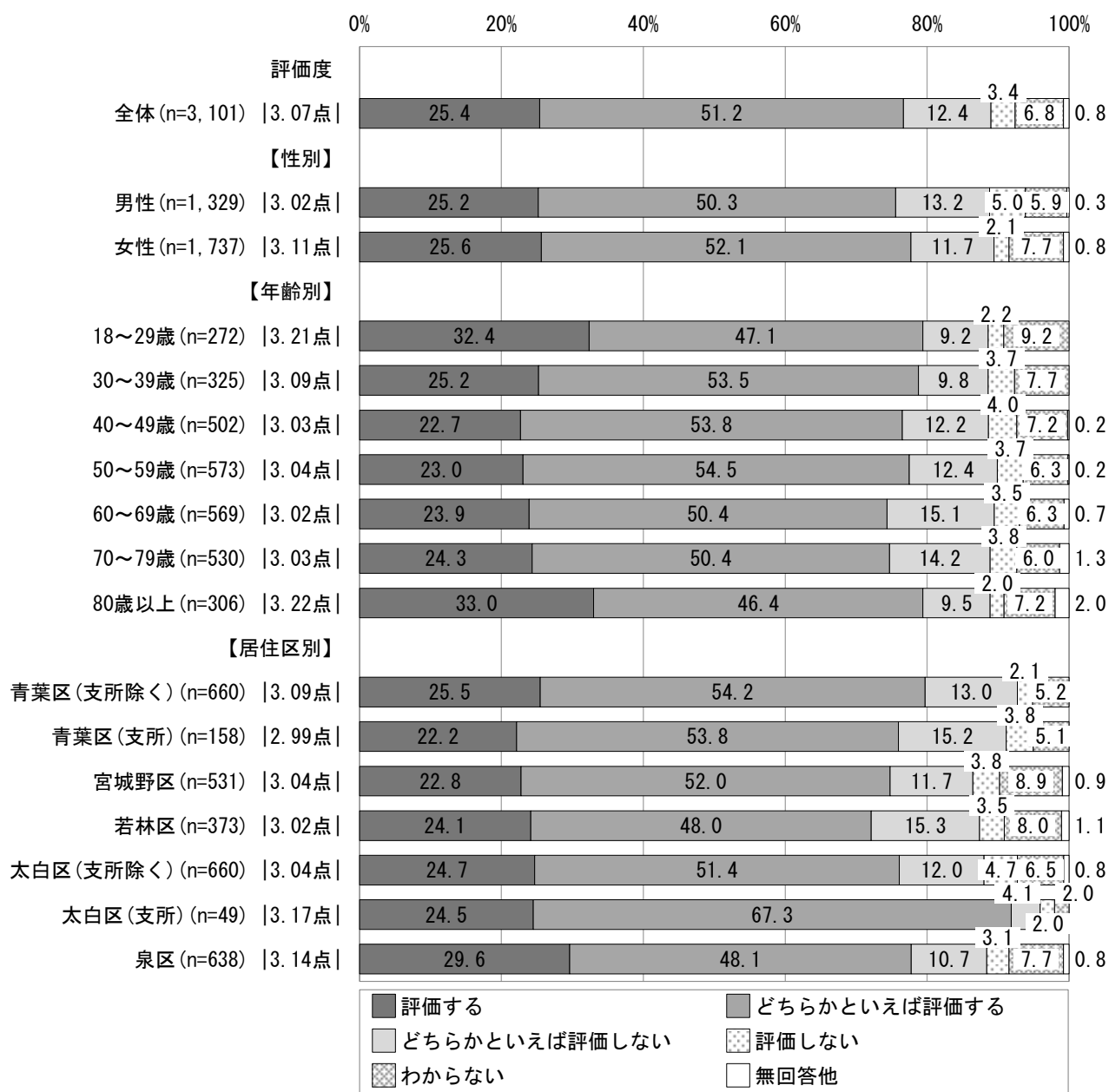
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



1-② 魅力ある公園や美しい景観を形成する街路樹の整備など、まちにみどりを広げる百年の杜づくり

全体では、評価度が 3.07 点となっている。

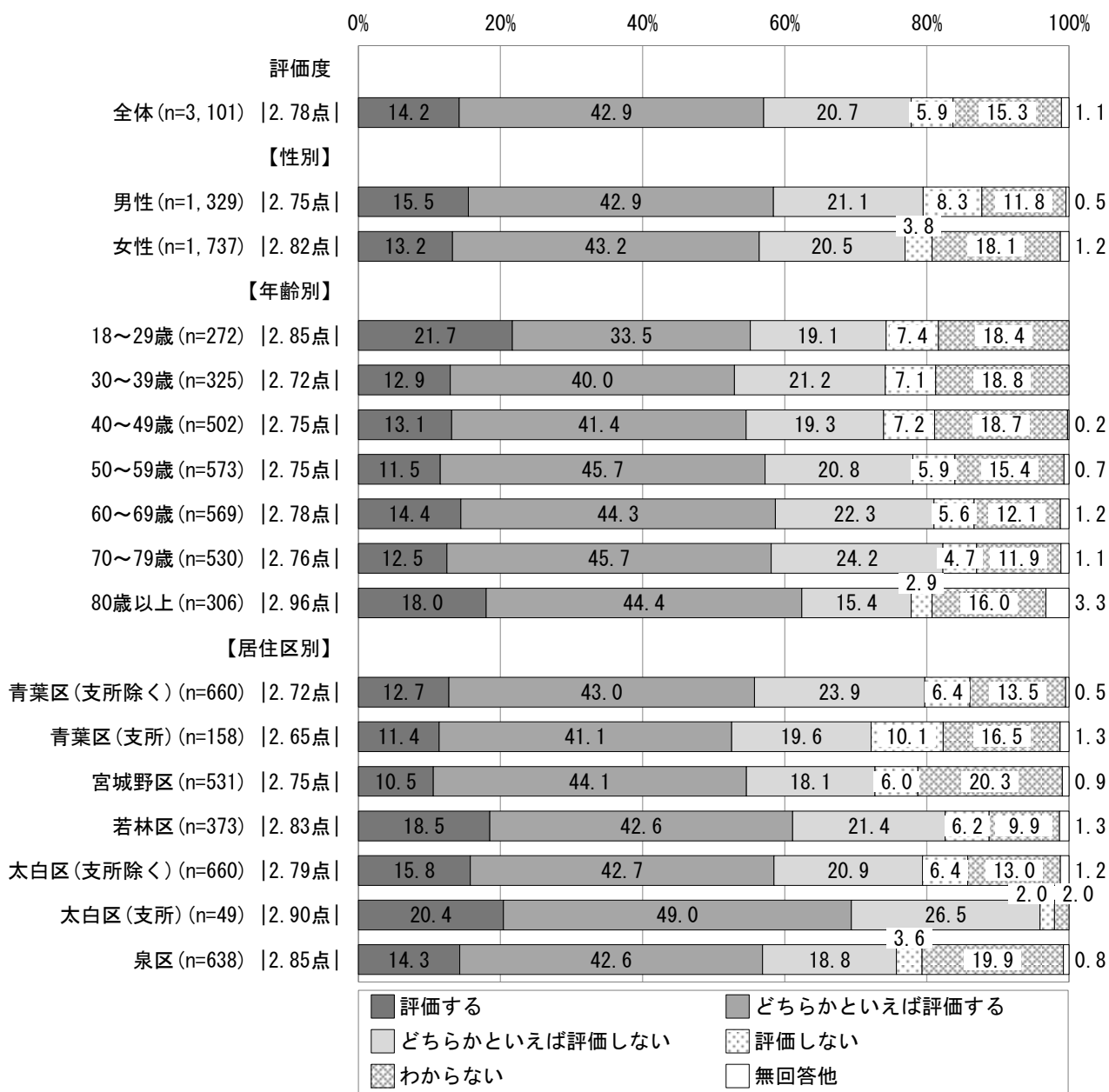
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



1-③ 広瀬川の活用や東部沿岸地域でのにぎわいづくりなど、水辺を楽しめる空間づくり

全体では、評価度が 2.78 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



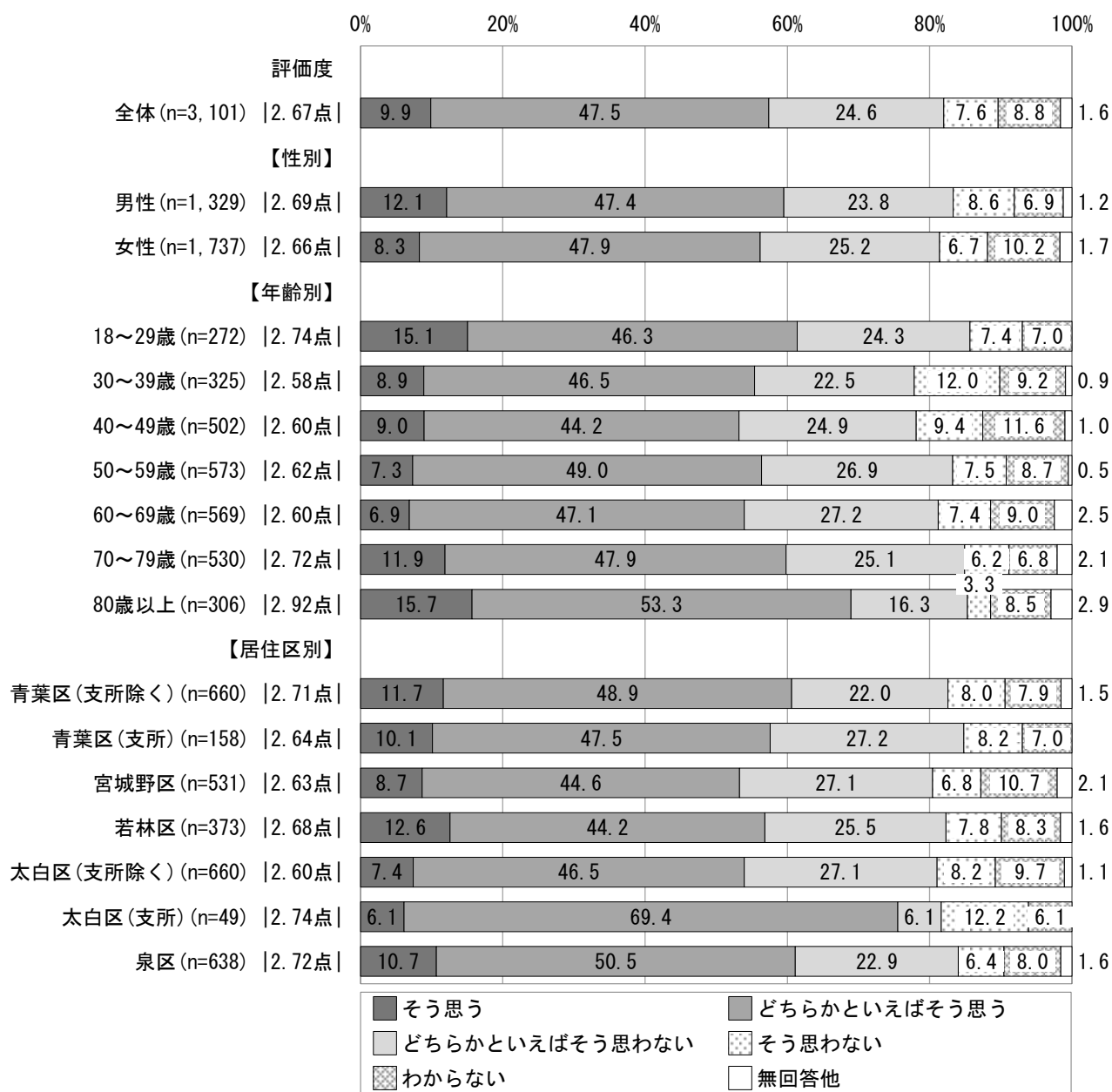
(2) 防災環境都市プロジェクト

<仙台市の現状>

災害に強く、環境にやさしいまちである。

全体では、評価度が 2.67 点となっている。

属性別では、男性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

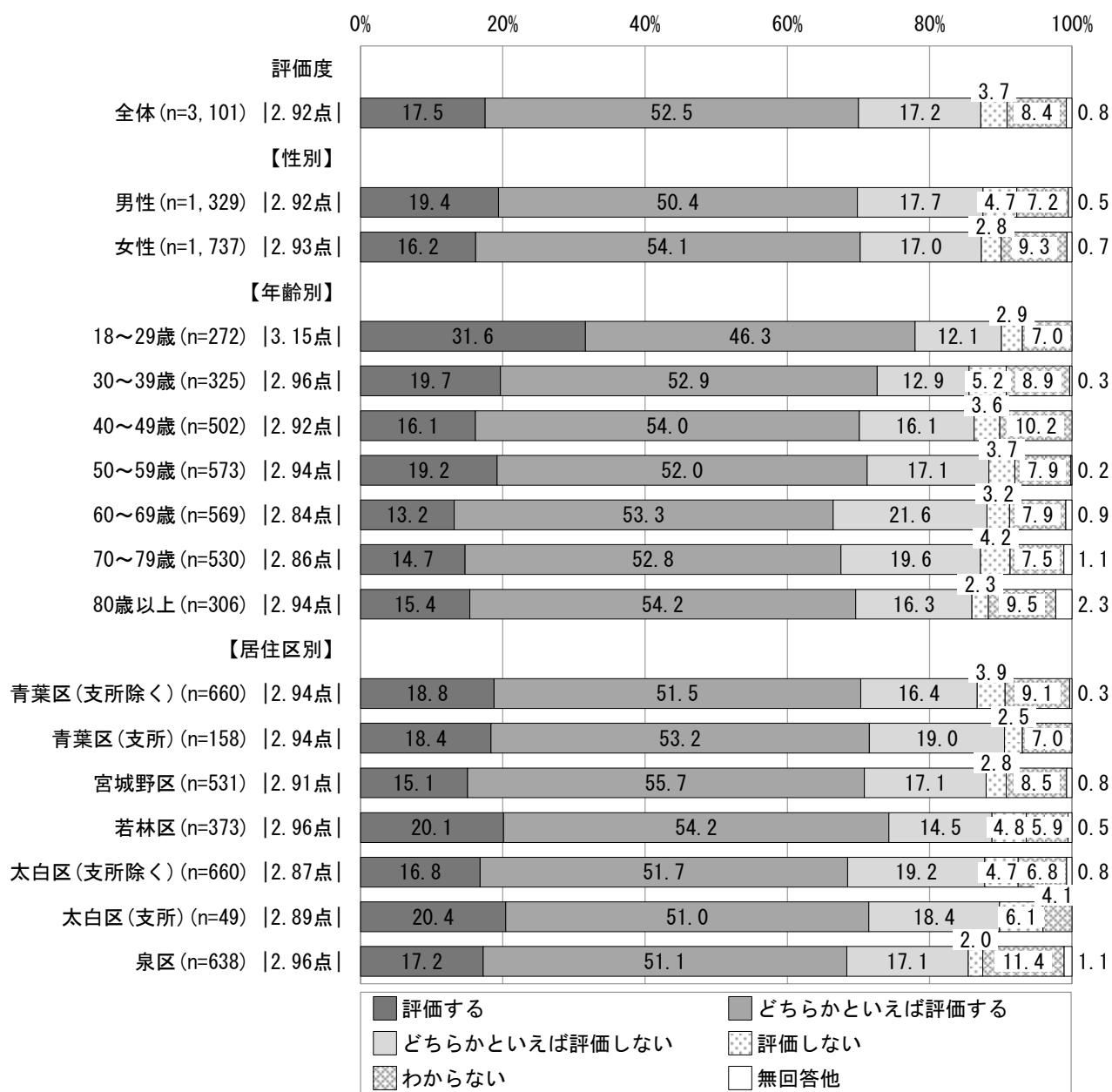


＜取り組んでいる施策＞

2-① 東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災に関する情報発信や、地震や大雨、火災などの非常時の体制の整備

全体では、評価度が2.92点となっている。

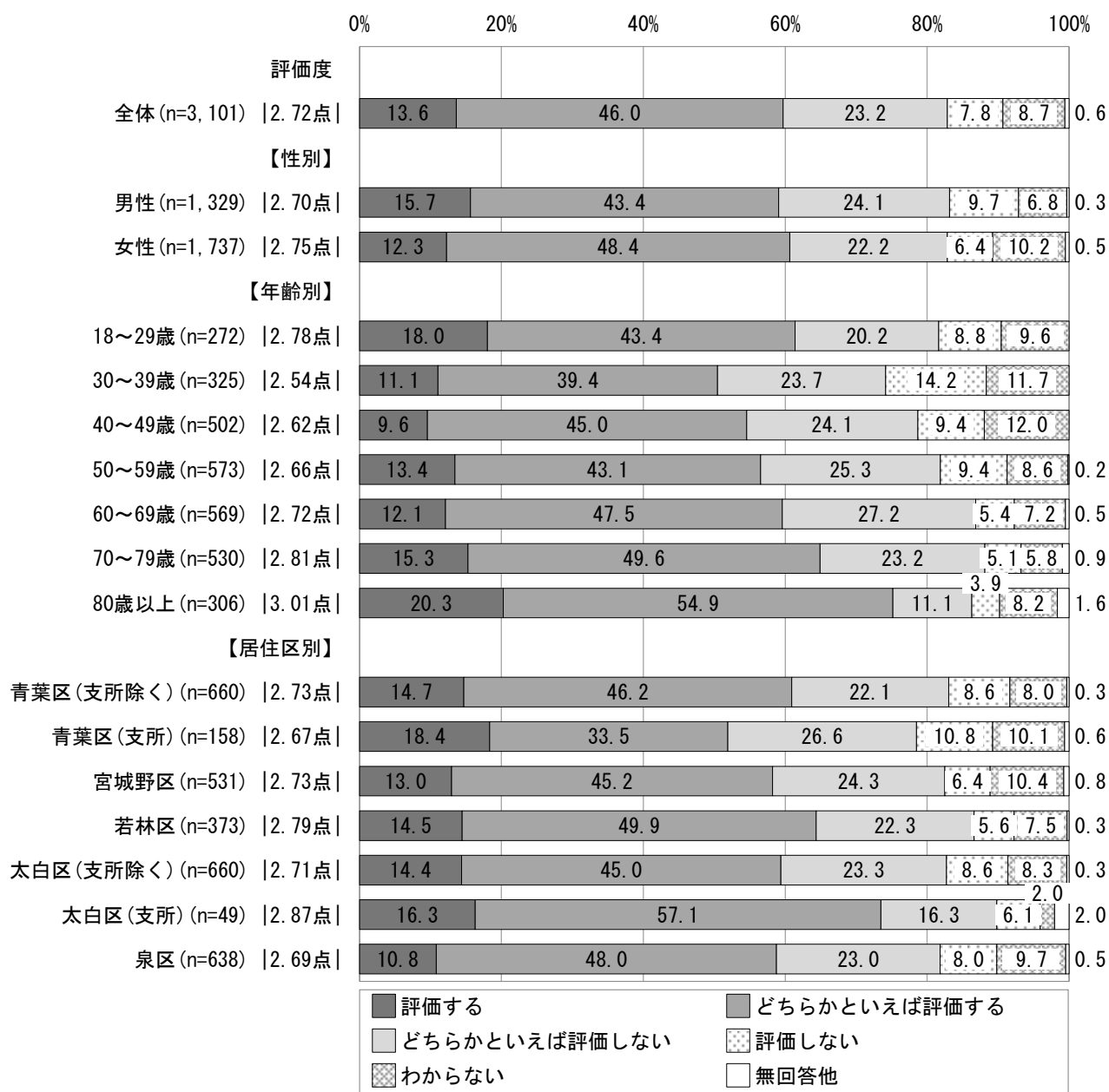
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、若林区と泉区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



2-② 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた、相談体制や医療提供体制の確保などの取り組み

全体では、評価度が 2.72 点となっている。

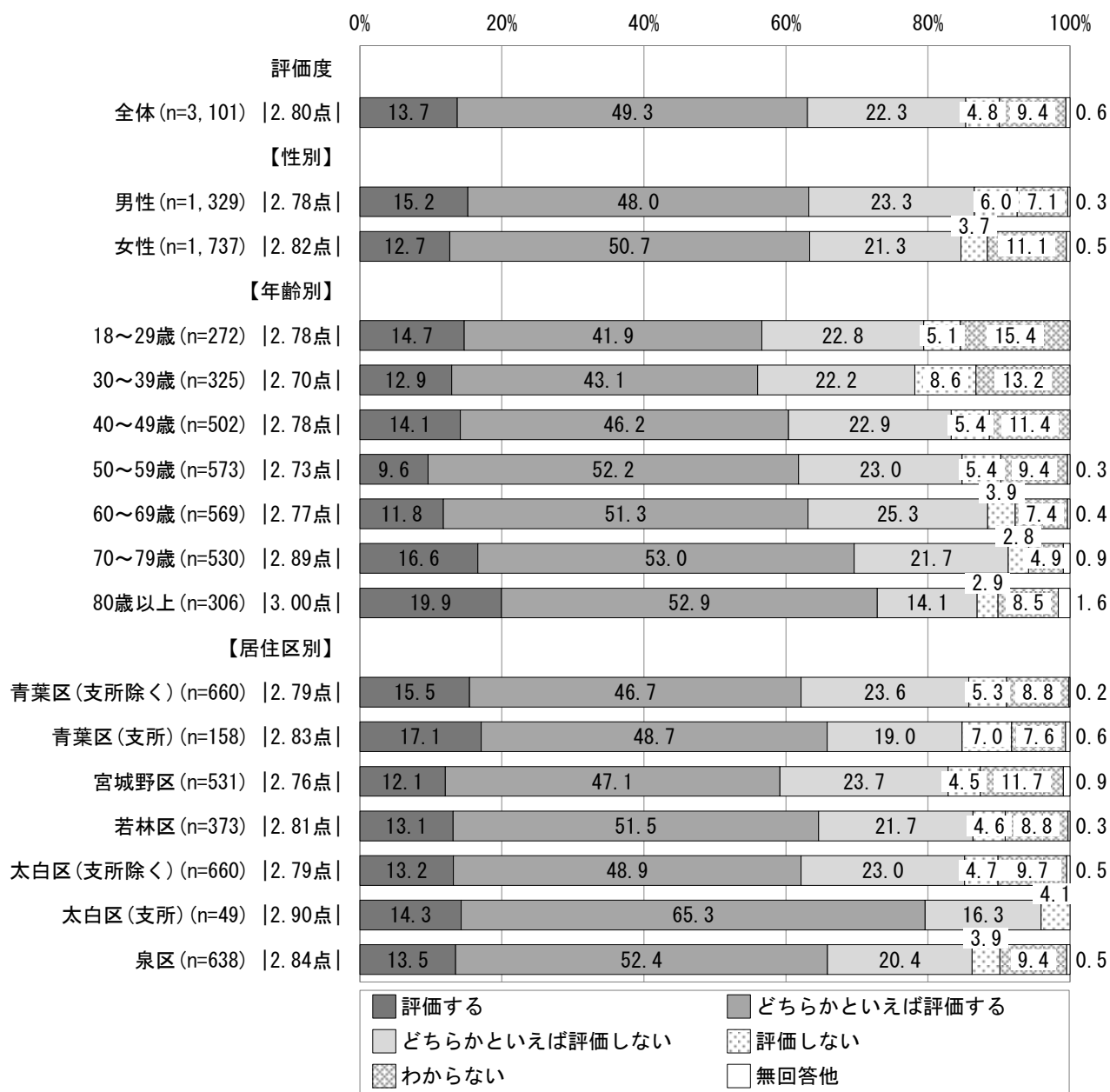
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



2-③ 地球温暖化対策や、ごみの減量、リサイクルの推進など、環境にやさしいまちづくり

全体では、評価度が 2.80 点となっている。

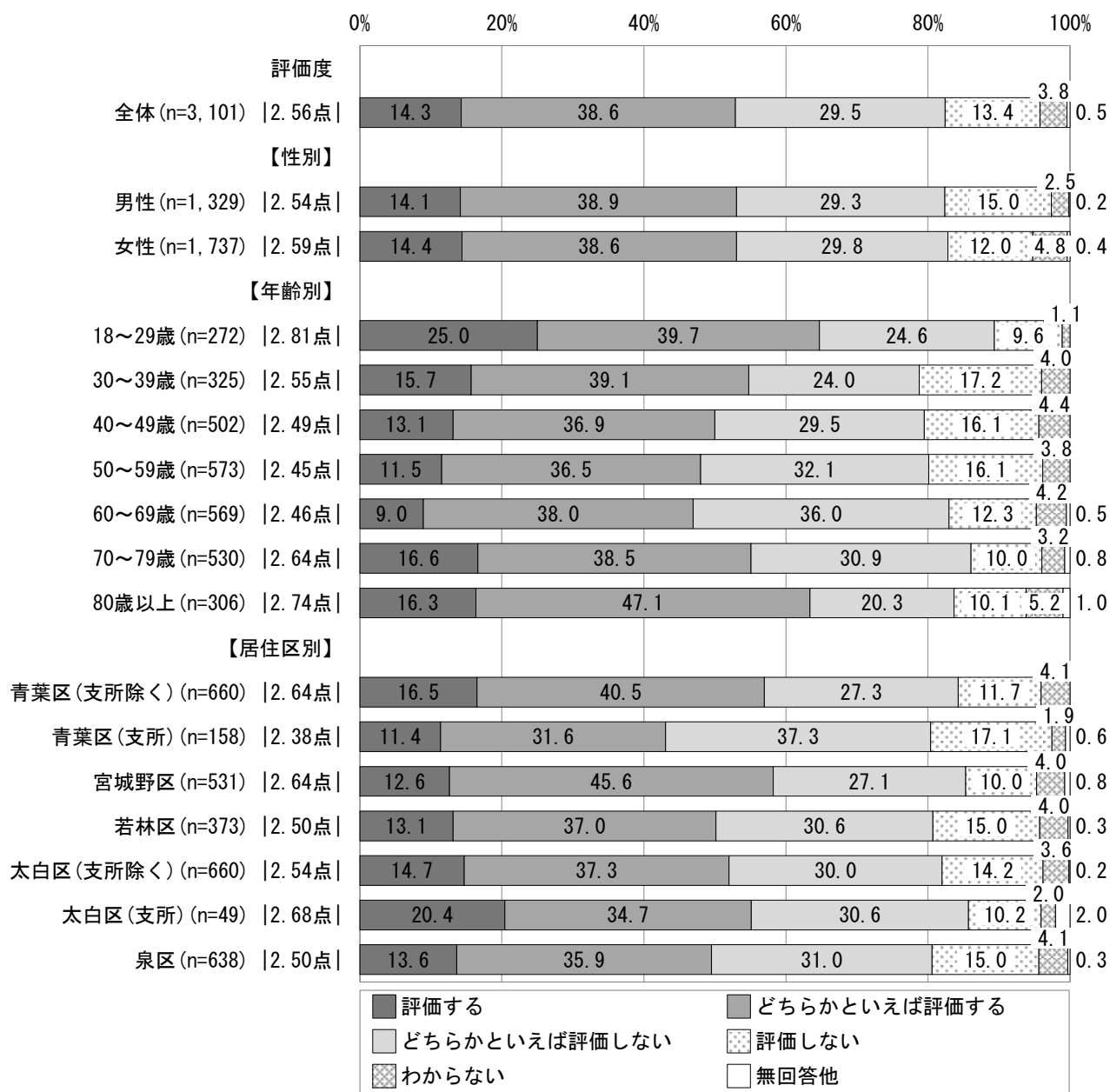
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



2-④ 鉄道や路線バスなどの公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり

全体では、評価度が 2.56 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



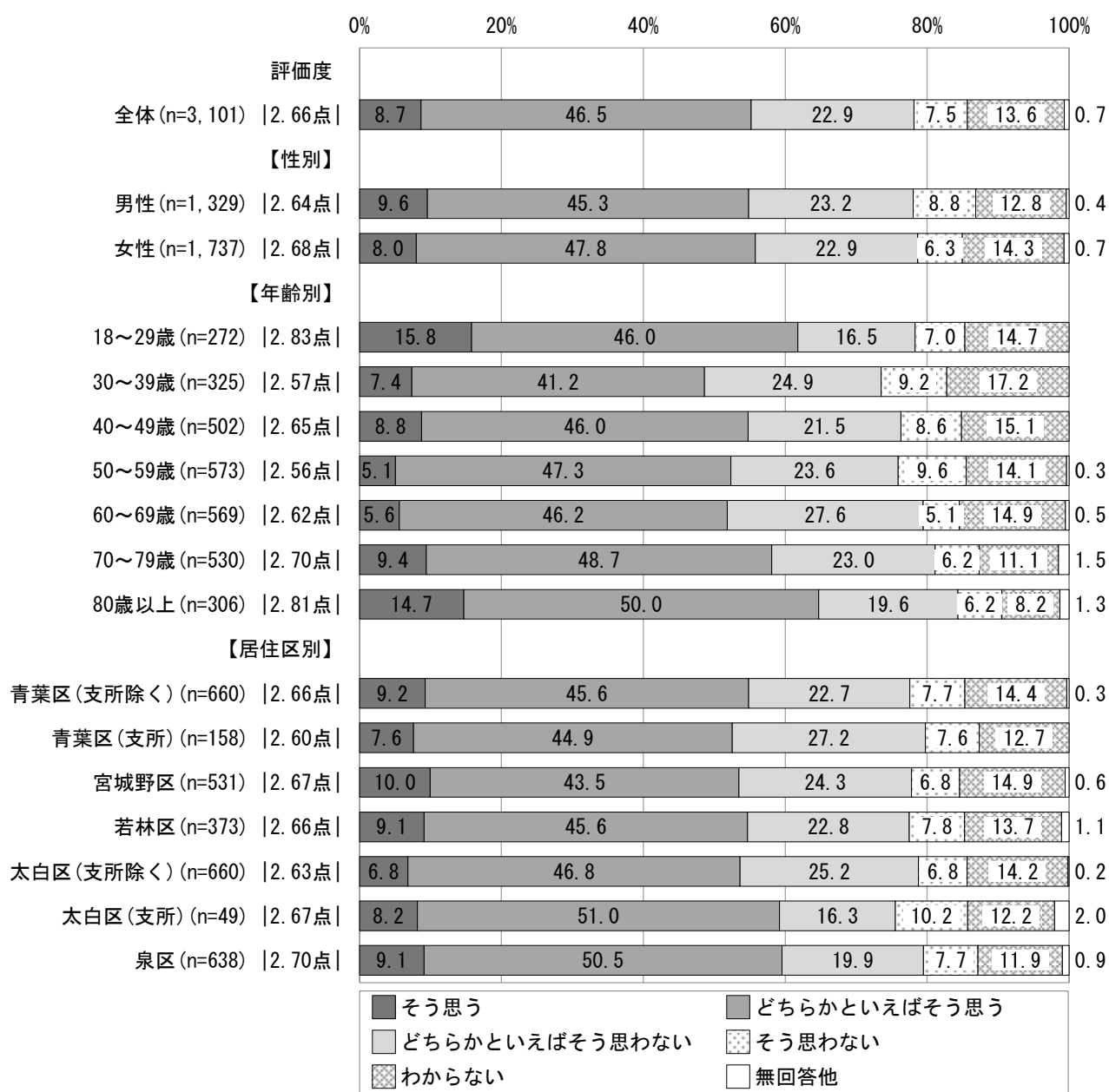
(3) 心の伴走プロジェクト

<仙台市の現状>

一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。

全体では、評価度が2.66点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、泉区に居住する回答者の評価度が高くなっている。

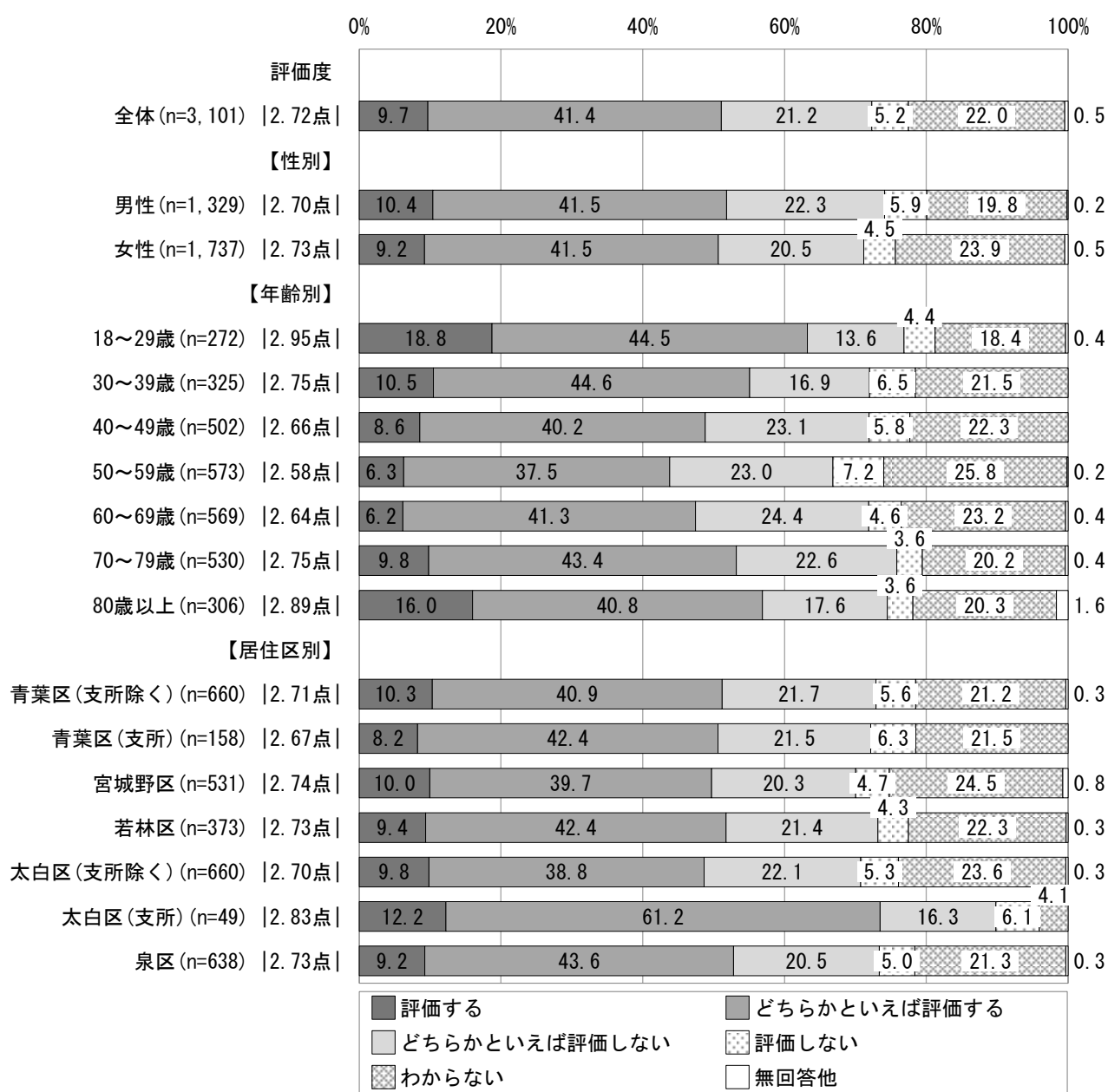


＜取り組んでいる施策＞

3-① 性別、国籍、障害の有無などに関わらない暮らしやすい環境づくり

全体では、評価度が 2.72 点となっている。

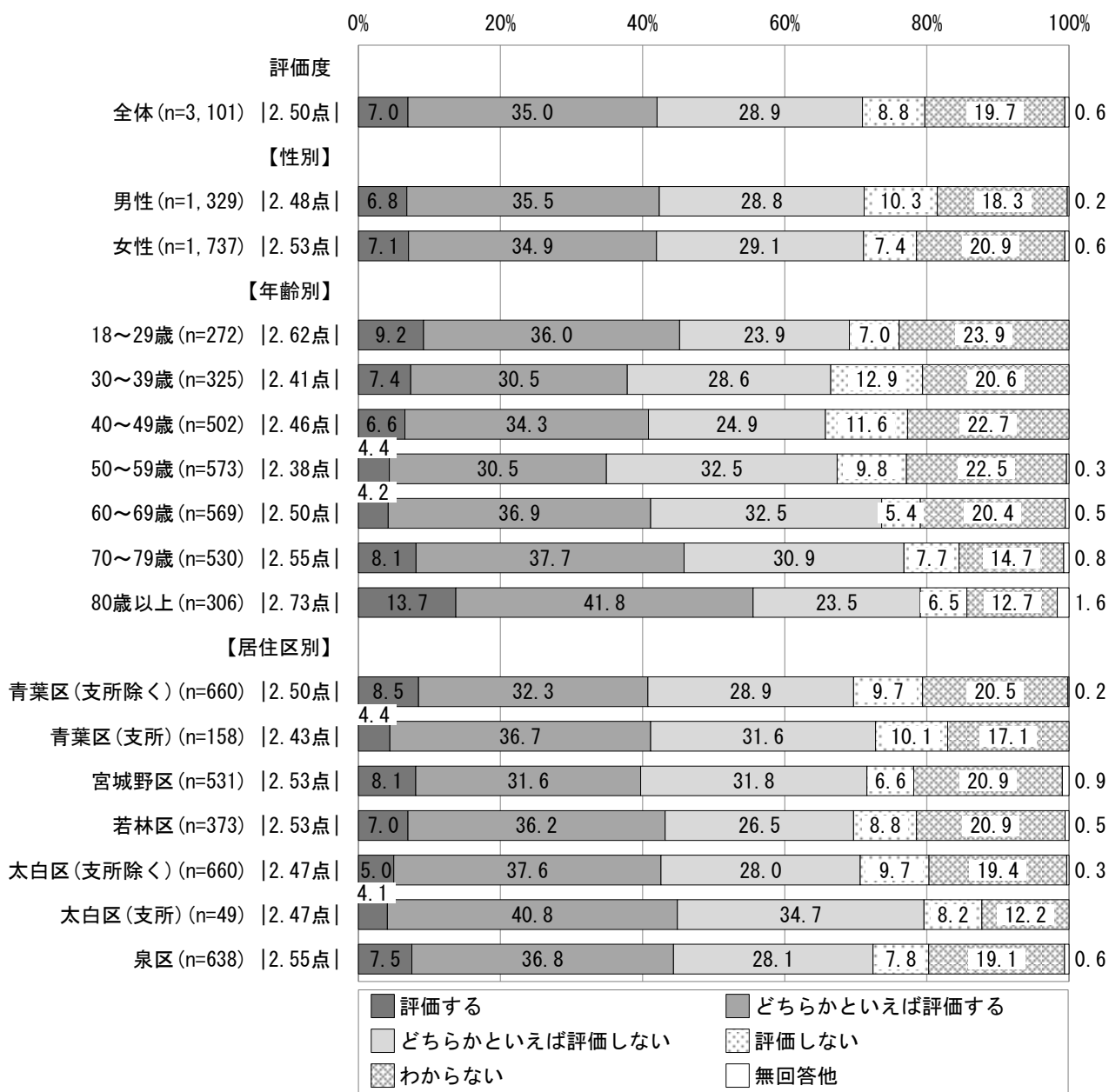
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



3-② 困ったときに相談しやすく、地域で孤立せずに支えあいながら暮らすことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.50 点となっている。

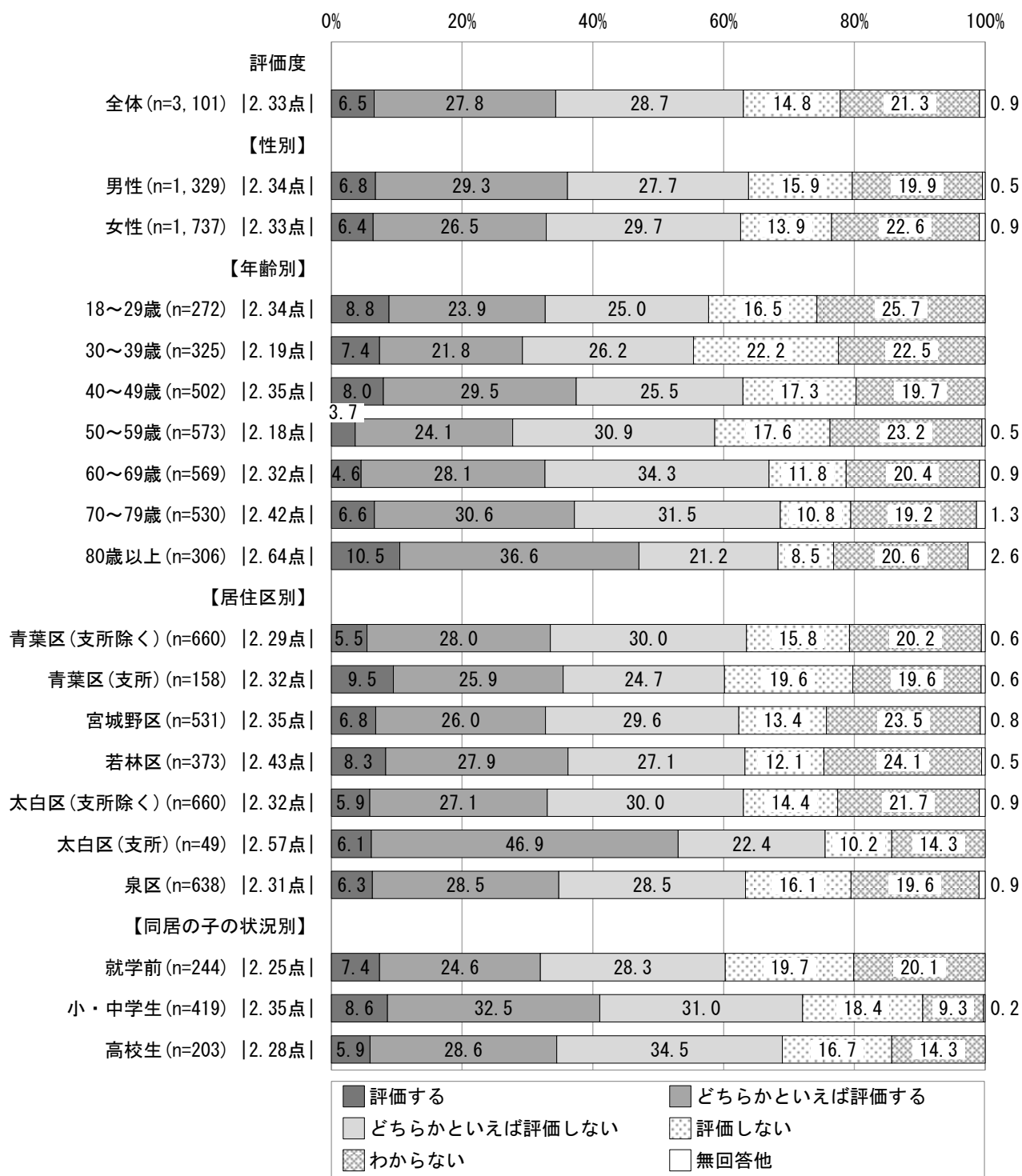
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、泉区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



3-③ いじめや虐待の防止など、子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.33 点となっている。

属性別では、男性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者、小・中学生と同居している回答者の評価度が高くなっている。



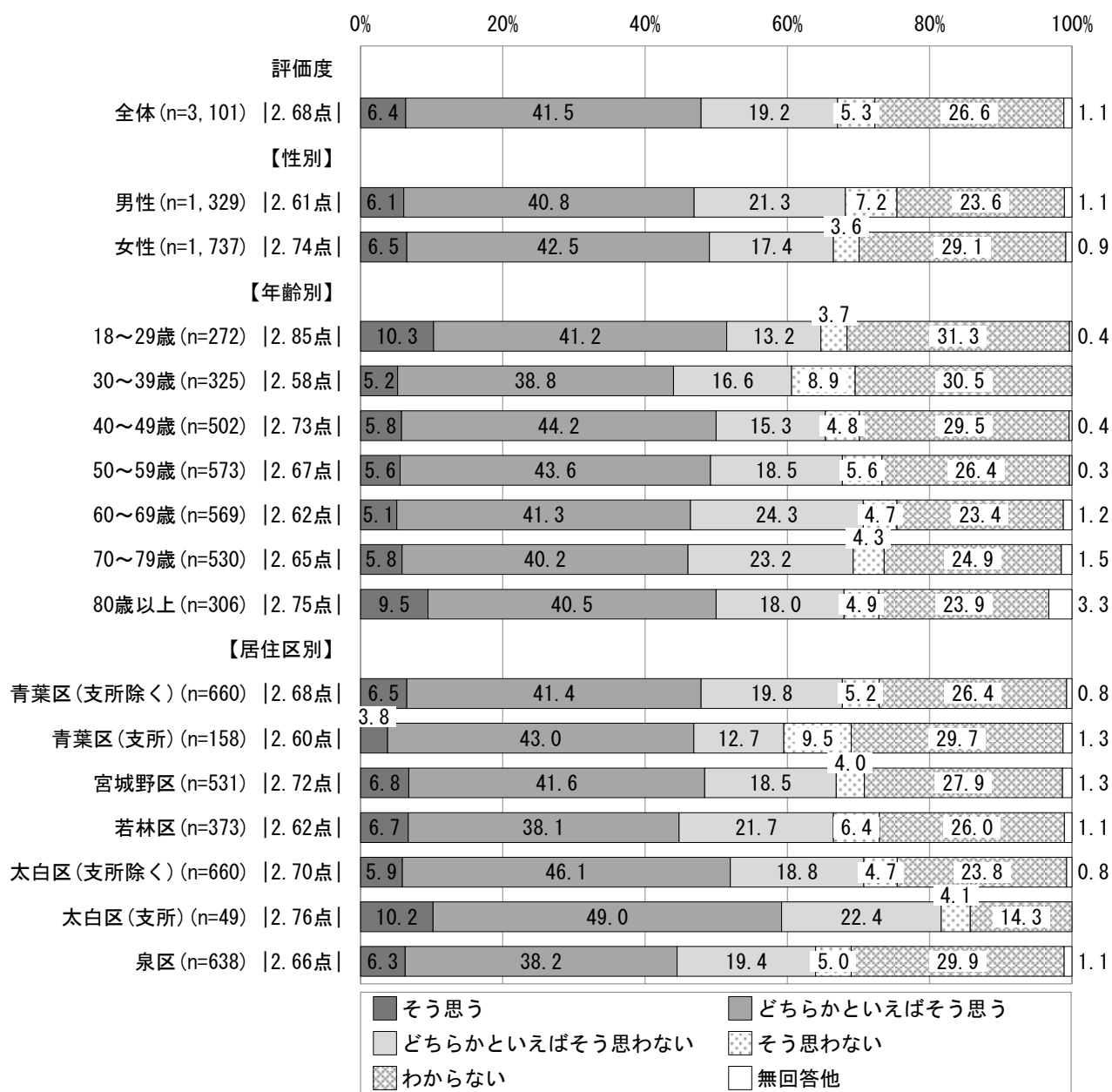
(4) 地域協働プロジェクト

<仙台市の現状>

地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。

全体では、評価度が 2.68 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

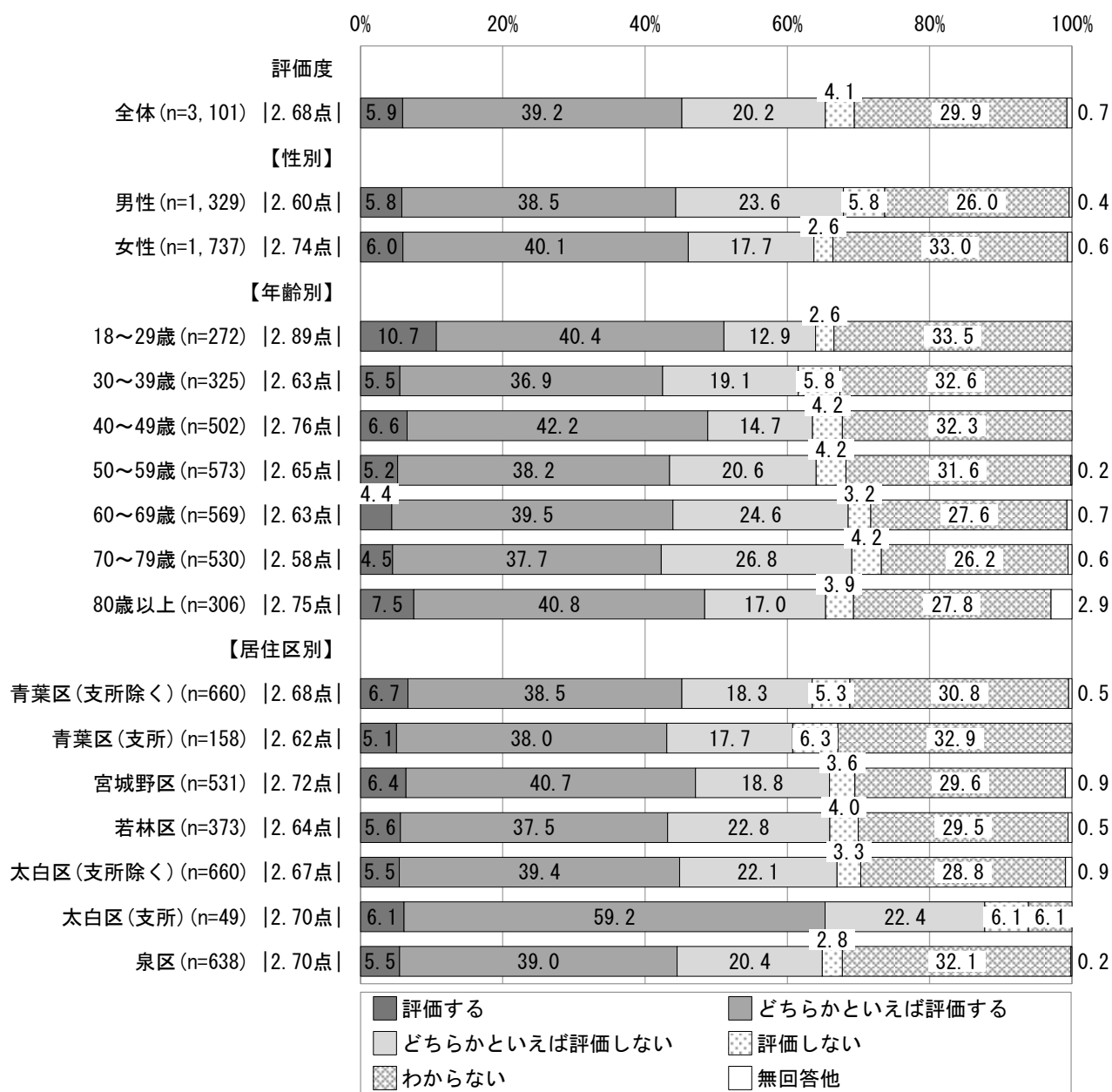


<取り組んでいる施策>

4-① 地域団体・NPO・企業などによる協働を促進し、地域の課題解決やにぎわいづくりに活かす環境づくり

全体では、評価度が2.68点となっている。

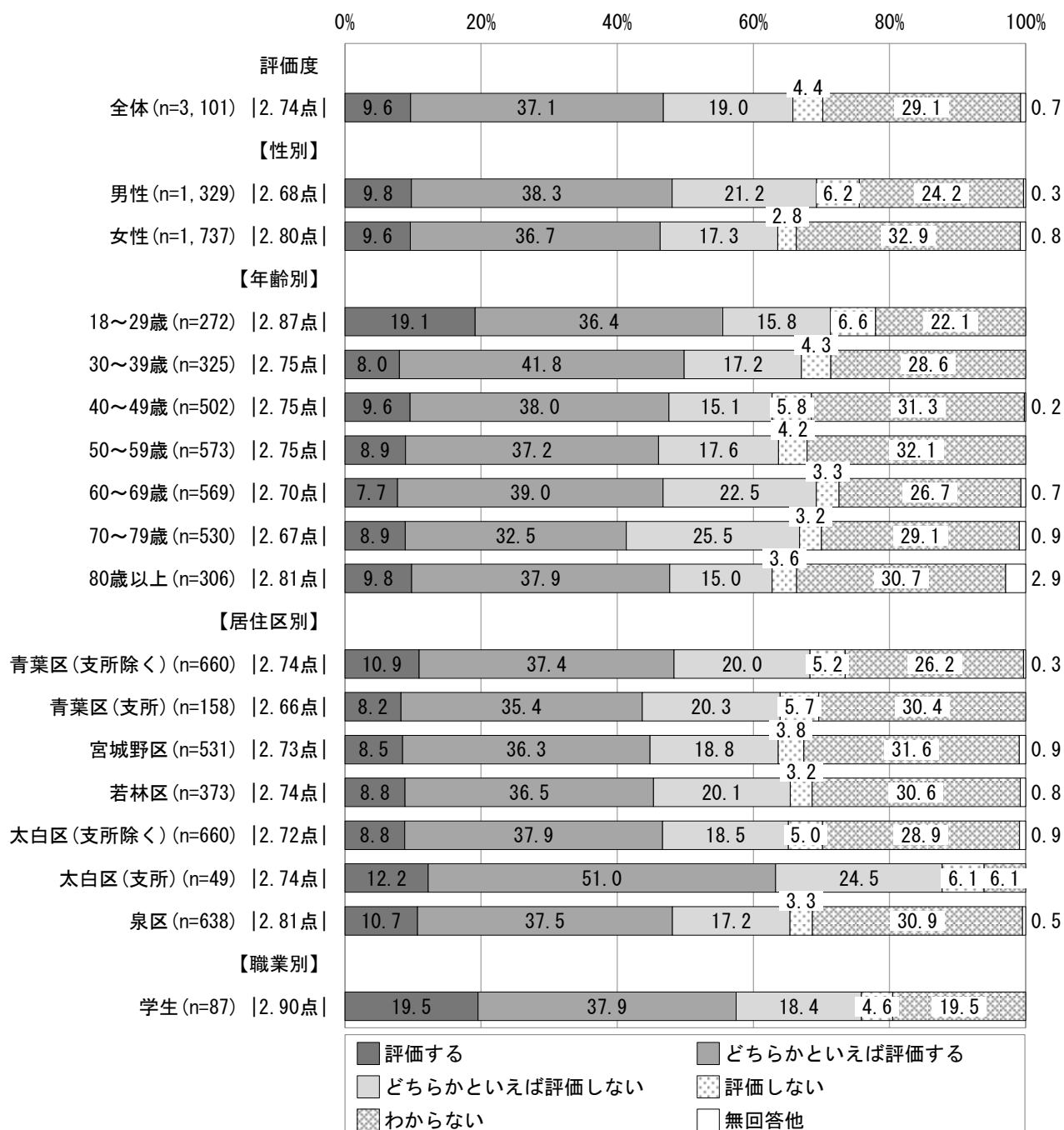
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、宮城野区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



4-② 大学との連携や若者の活動支援などを通じた、若者のチャレンジを応援する環境づくり

全体では、評価度が 2.74 点となっている。

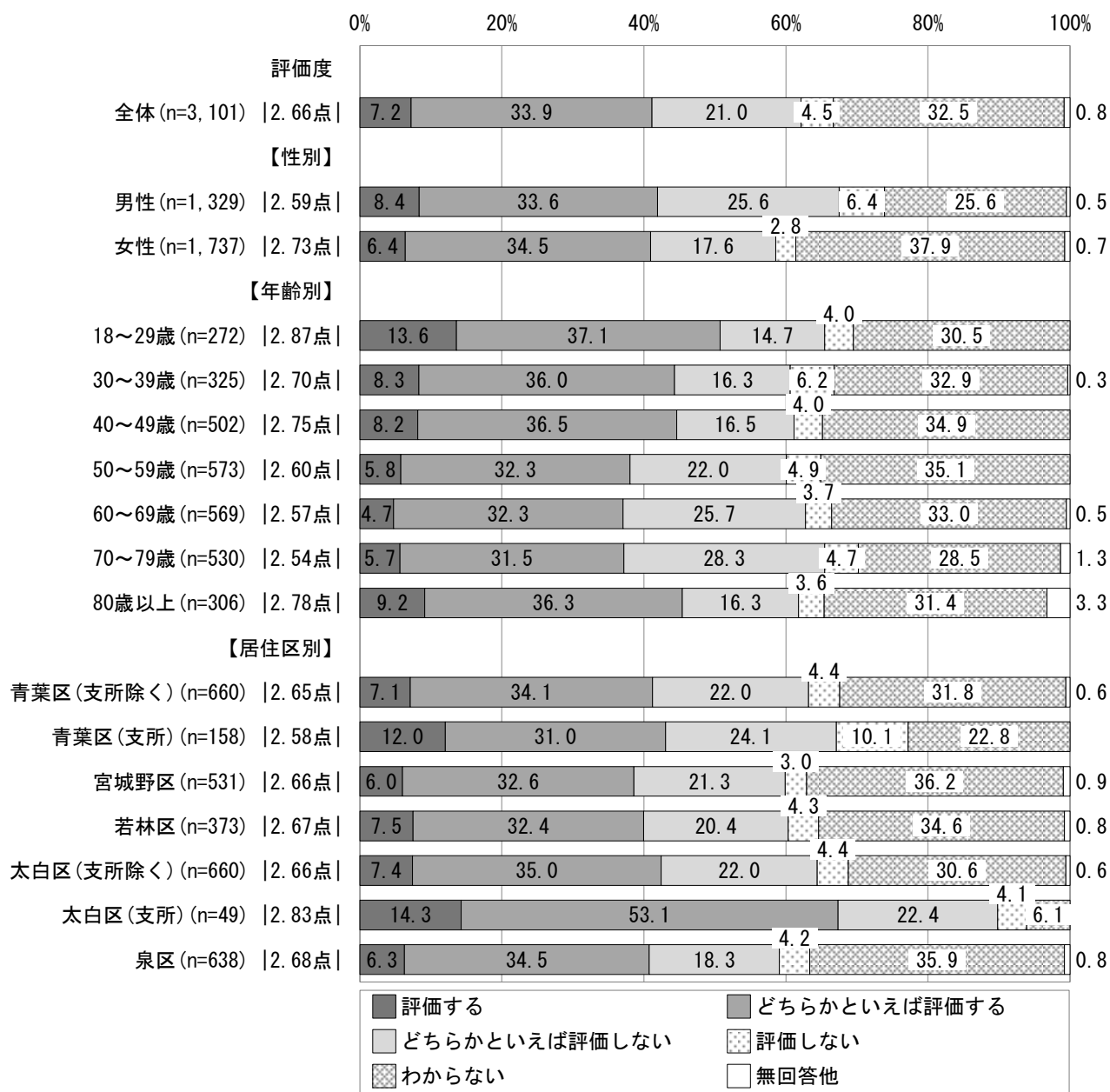
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、泉区に居住する回答者、学生の回答者の評価度が高くなっている。



4-③ 仙台市西部地区における、自然や歴史などの資源を活かした地域主体のまちづくりの推進

全体では、評価度が 2.66 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



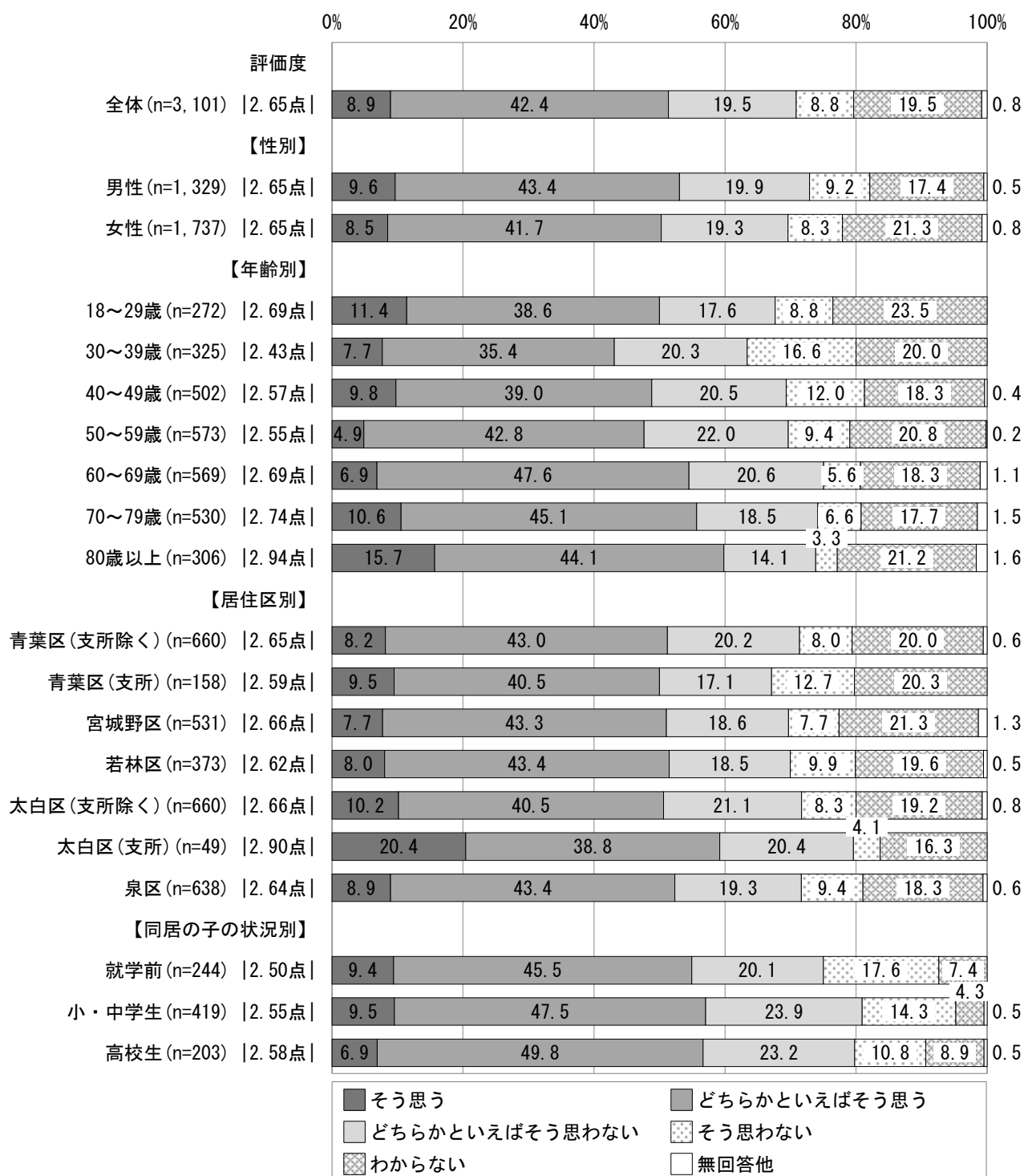
(5) 笑顔咲く子どもプロジェクト

<仙台市の現状>

子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。

全体では、評価度が 2.65 点となっている。

属性別では、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

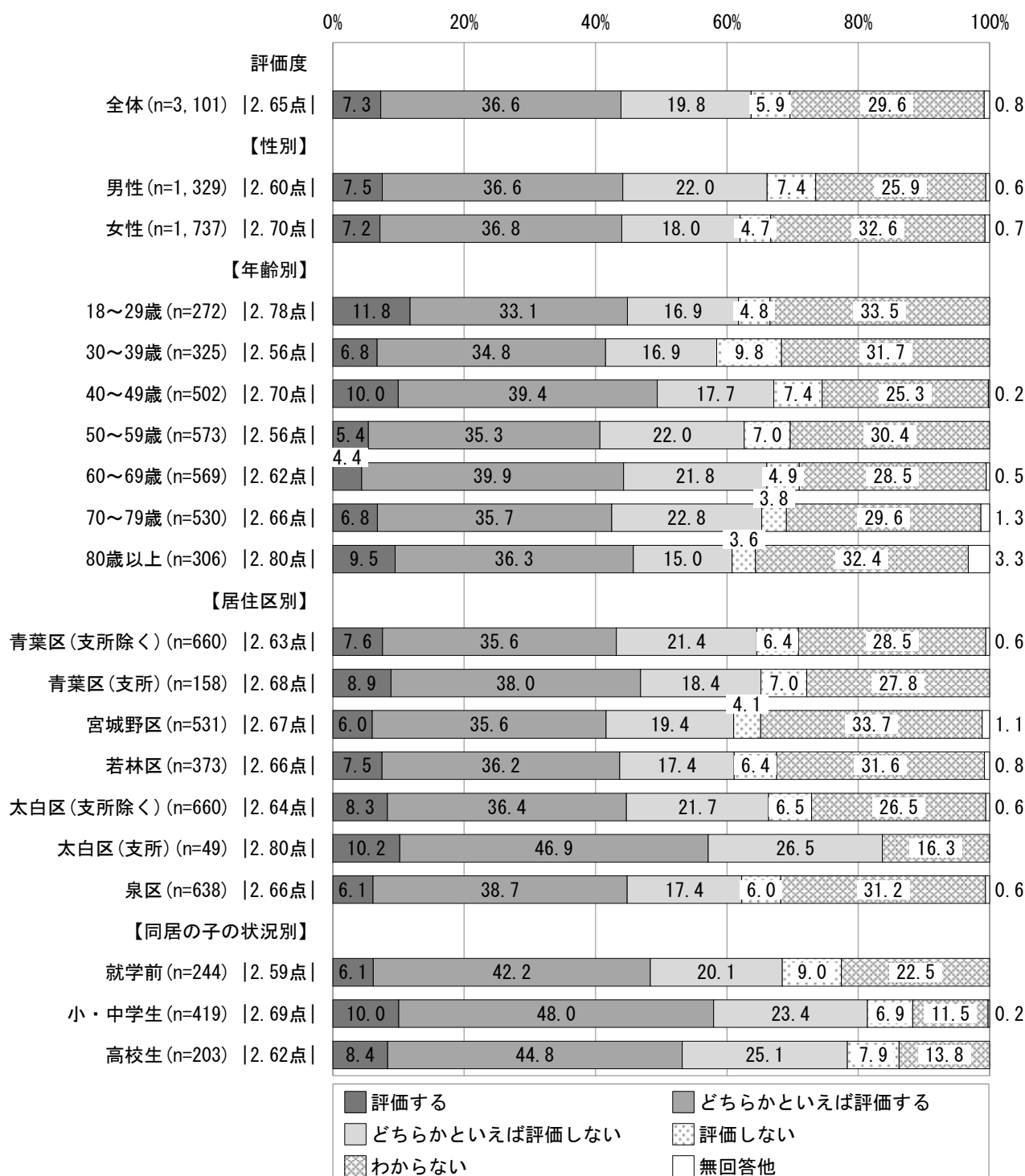


＜取り組んでいる施策＞

5-① ICT を活用した教育や職場体験など、子どもたちの挑戦する力を育てる教育や、学校・家庭・地域みんなで育てる環境づくり

全体では、評価度が 2.65 点となっている。

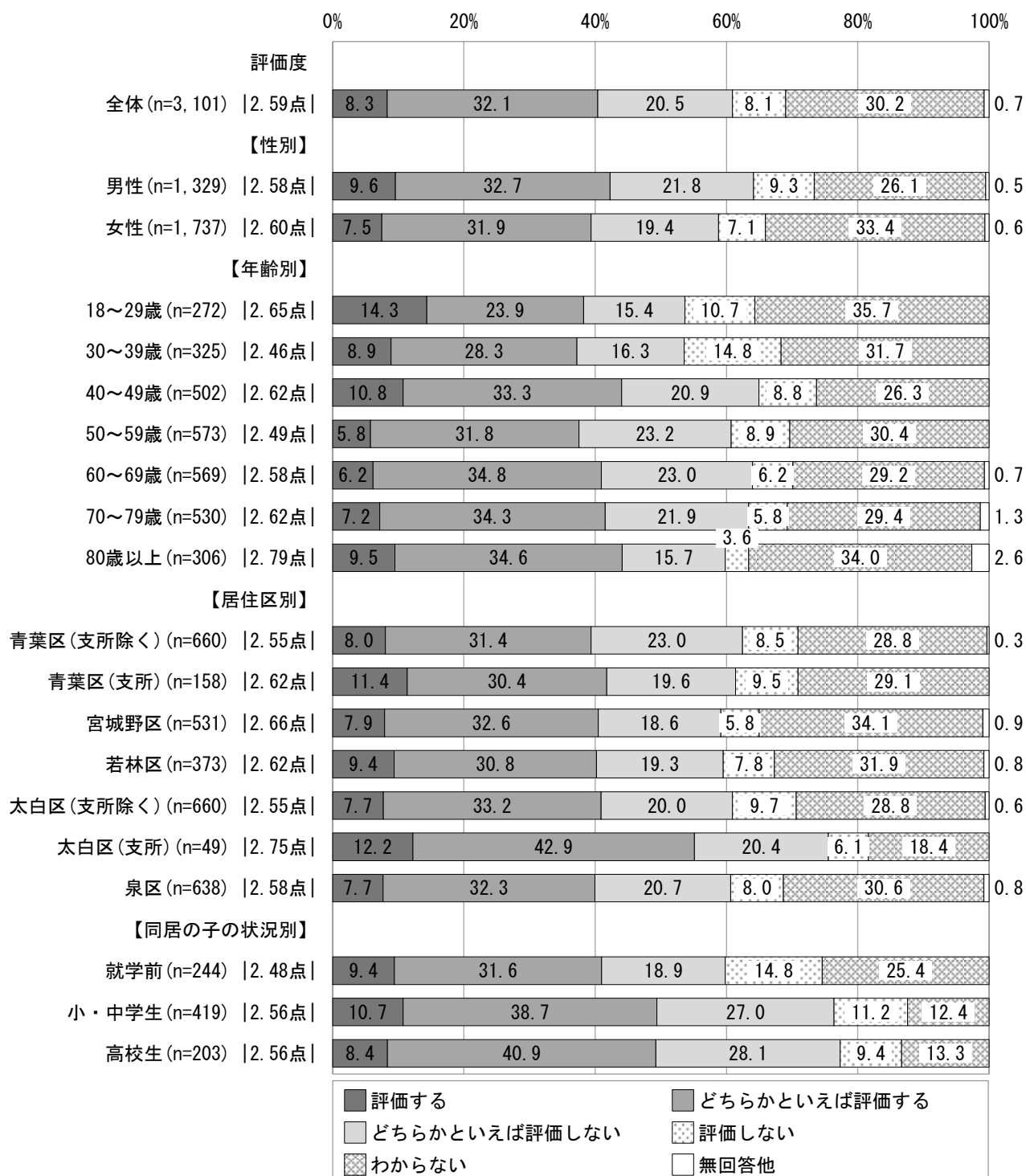
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者、小・中学生と同居している回答者の評価度が高くなっている。



5-② 少人数学級の推進や不登校児童の支援、特別支援教育の推進など、子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり

全体では、評価度が 2.59 点となっている。

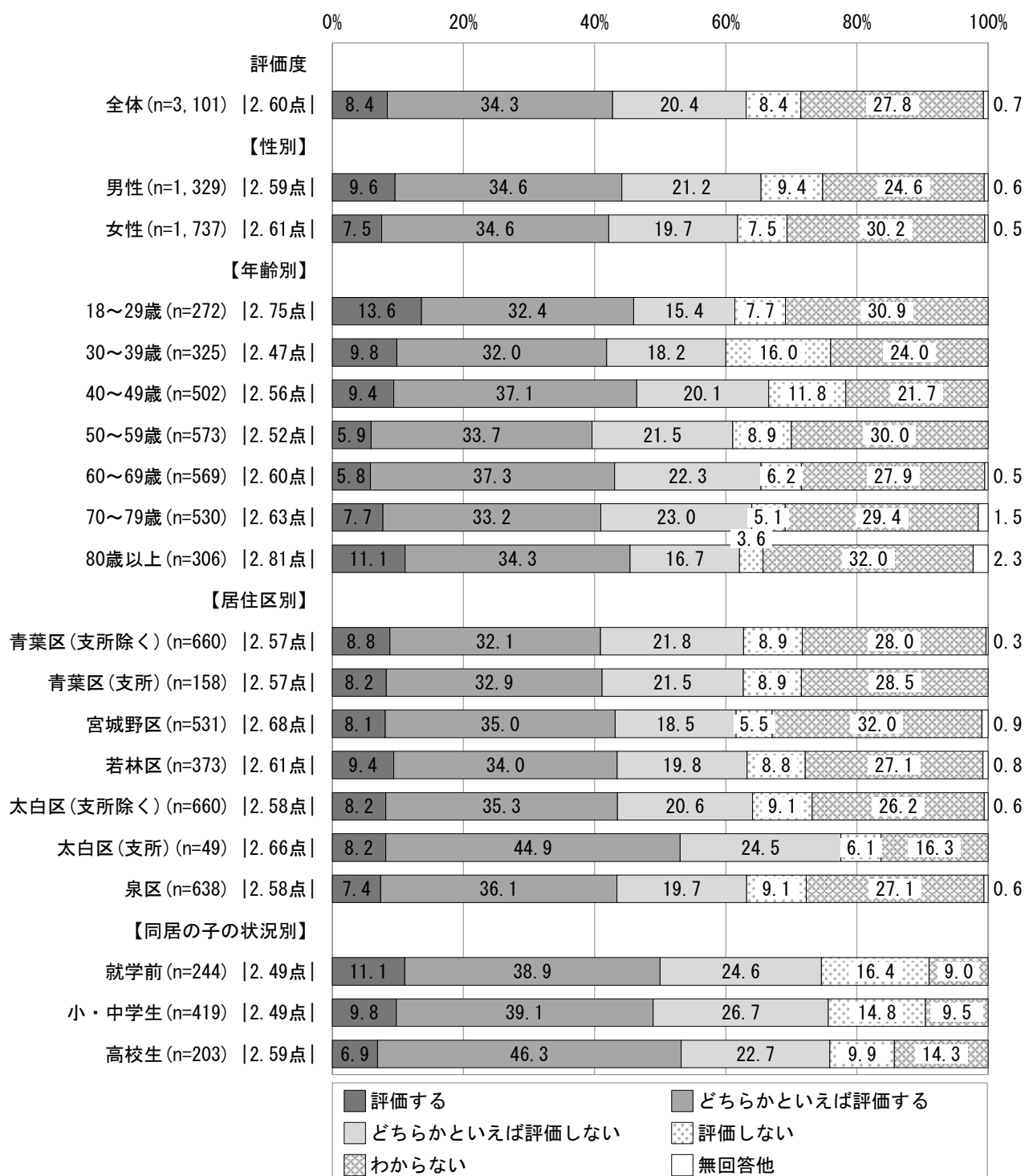
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



5-③ 子ども・子育てに関する相談・支援、保育や子どもの遊びの環境の充実など、子育てを楽しむ環境づくり

全体では、評価度が2.60点となっている。

属性別では、女性の回答者、80歳以上の回答者、宮城野区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



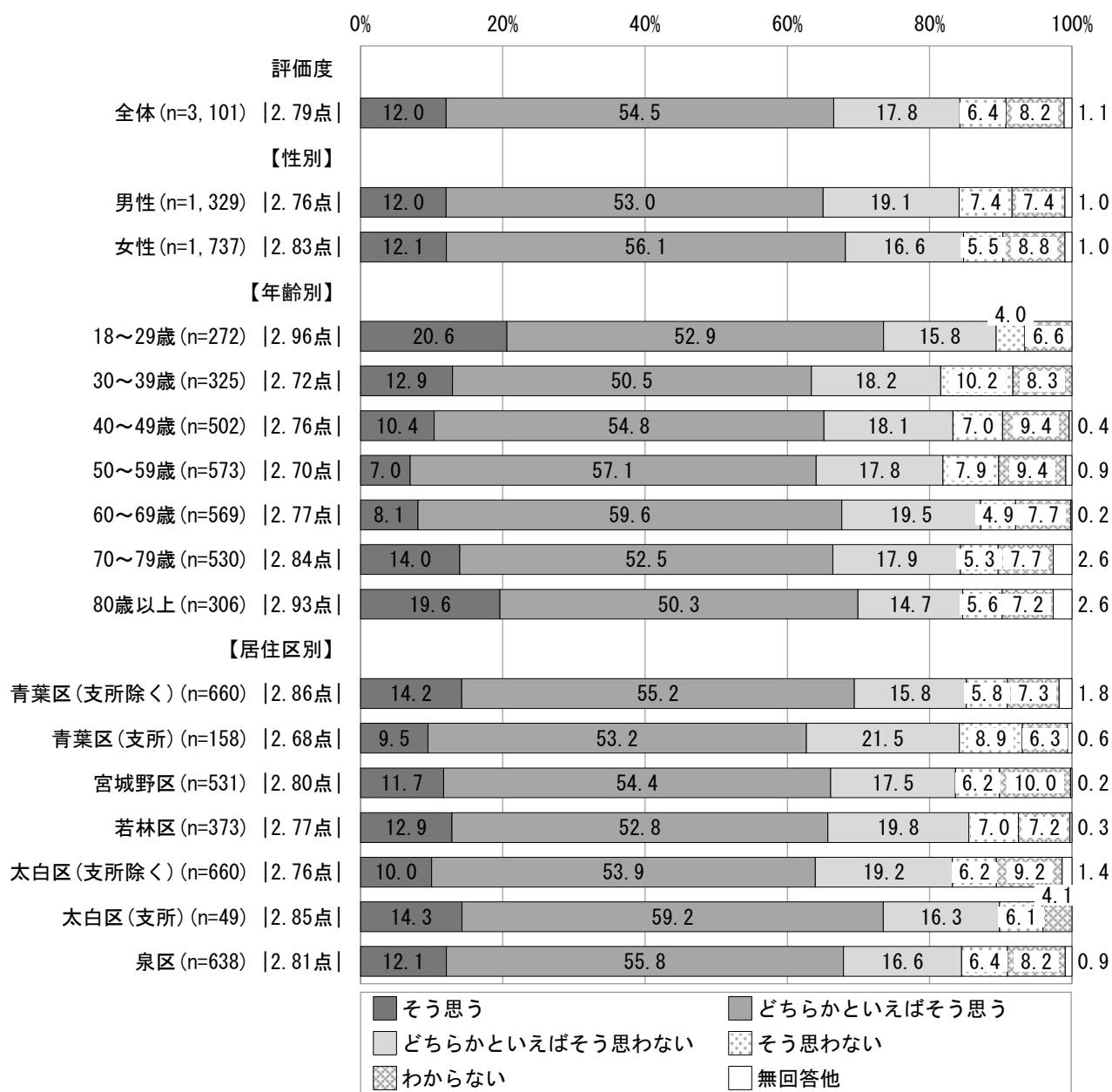
(6) ライフデザインプロジェクト

<仙台市の現状>

自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。

全体では、評価度が 2.79 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、青葉区(支所除く)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

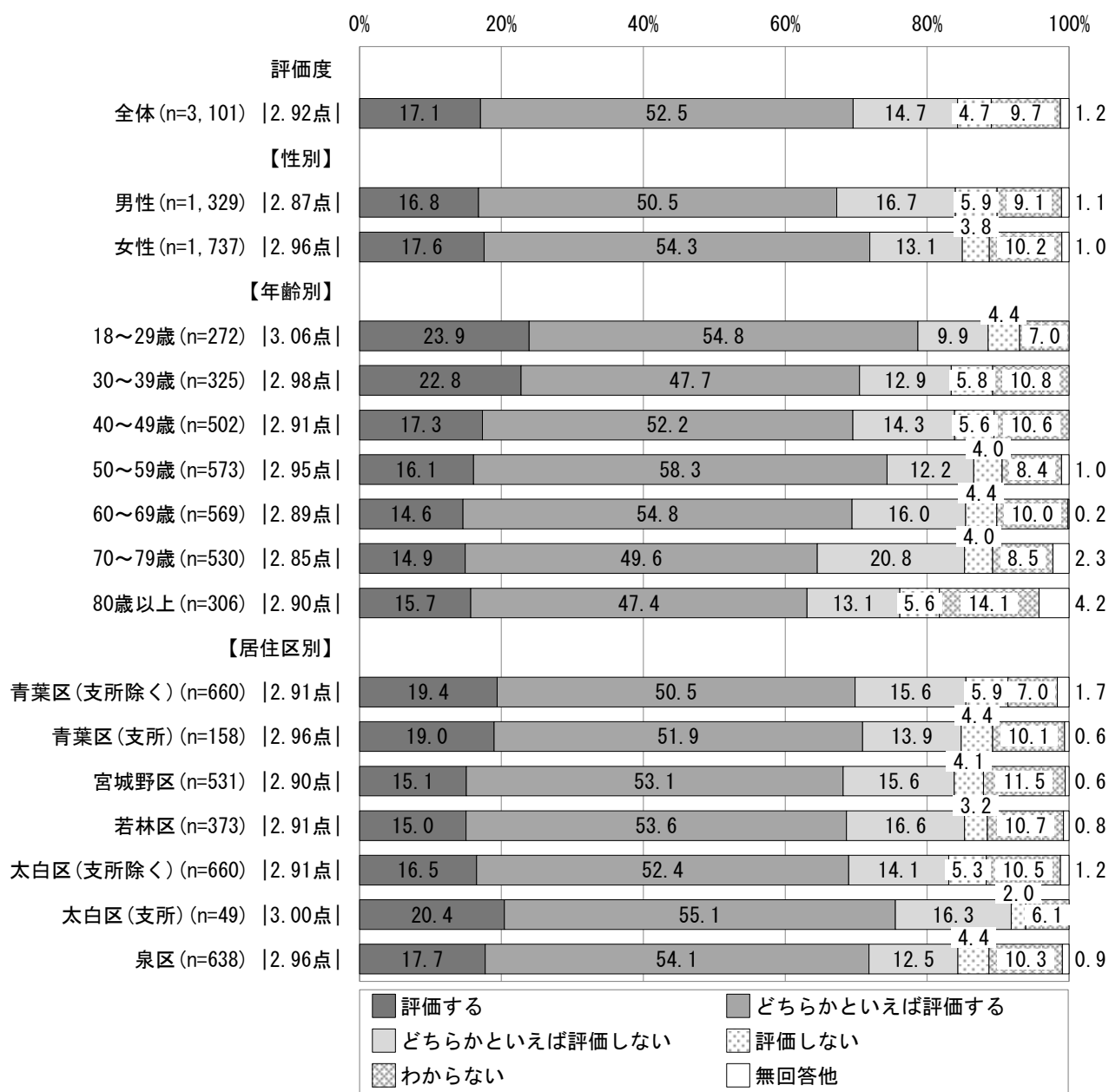


＜取り組んでいる施策＞

6-① 音楽・舞台芸術・アートなどの文化芸術や、歴史などに親しむことができる環境づくり

全体では、評価度が2.92点となっている。

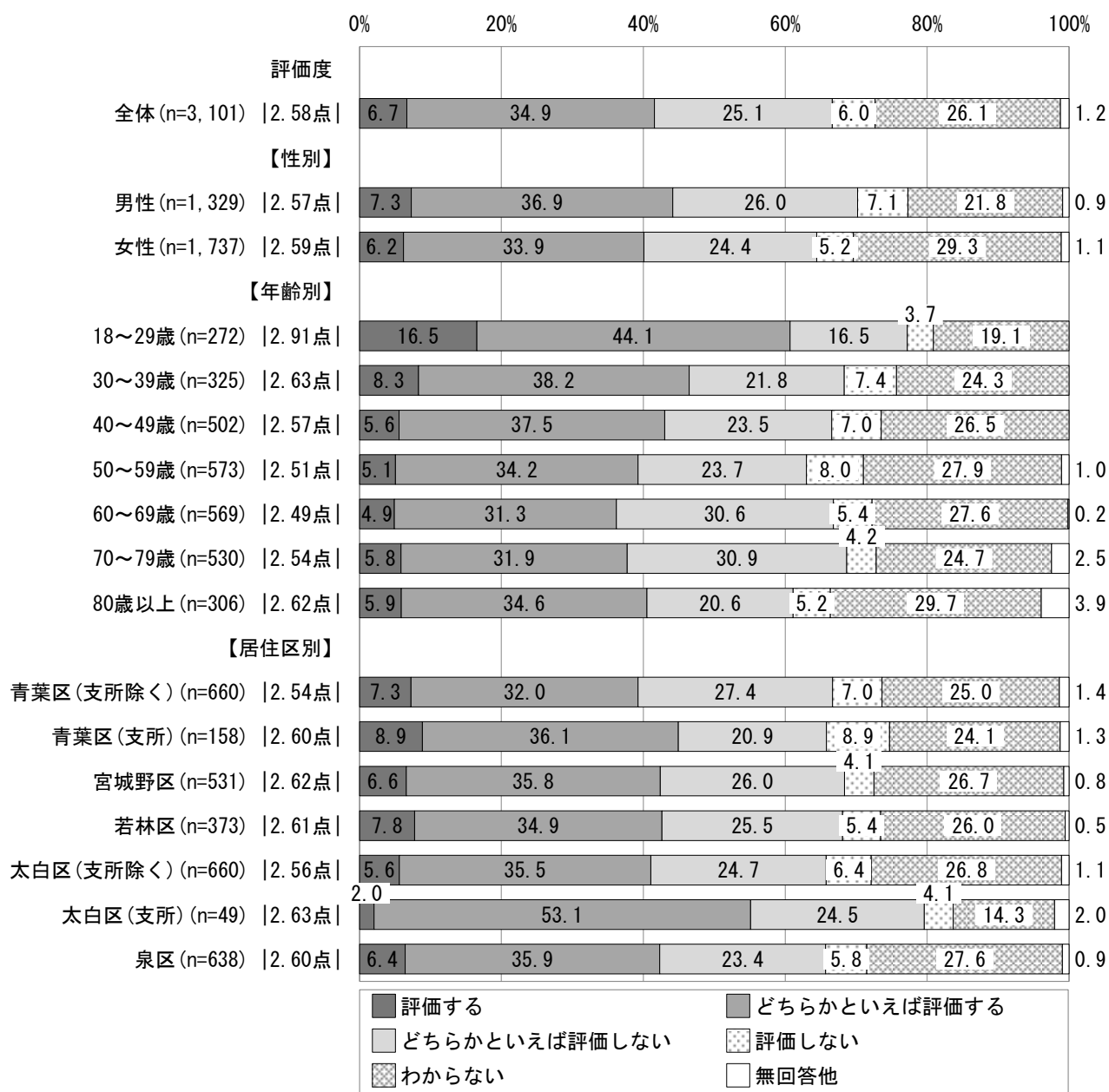
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



6-② 年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらない、一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加などの機会づくり

全体では、評価度が 2.58 点となっている。

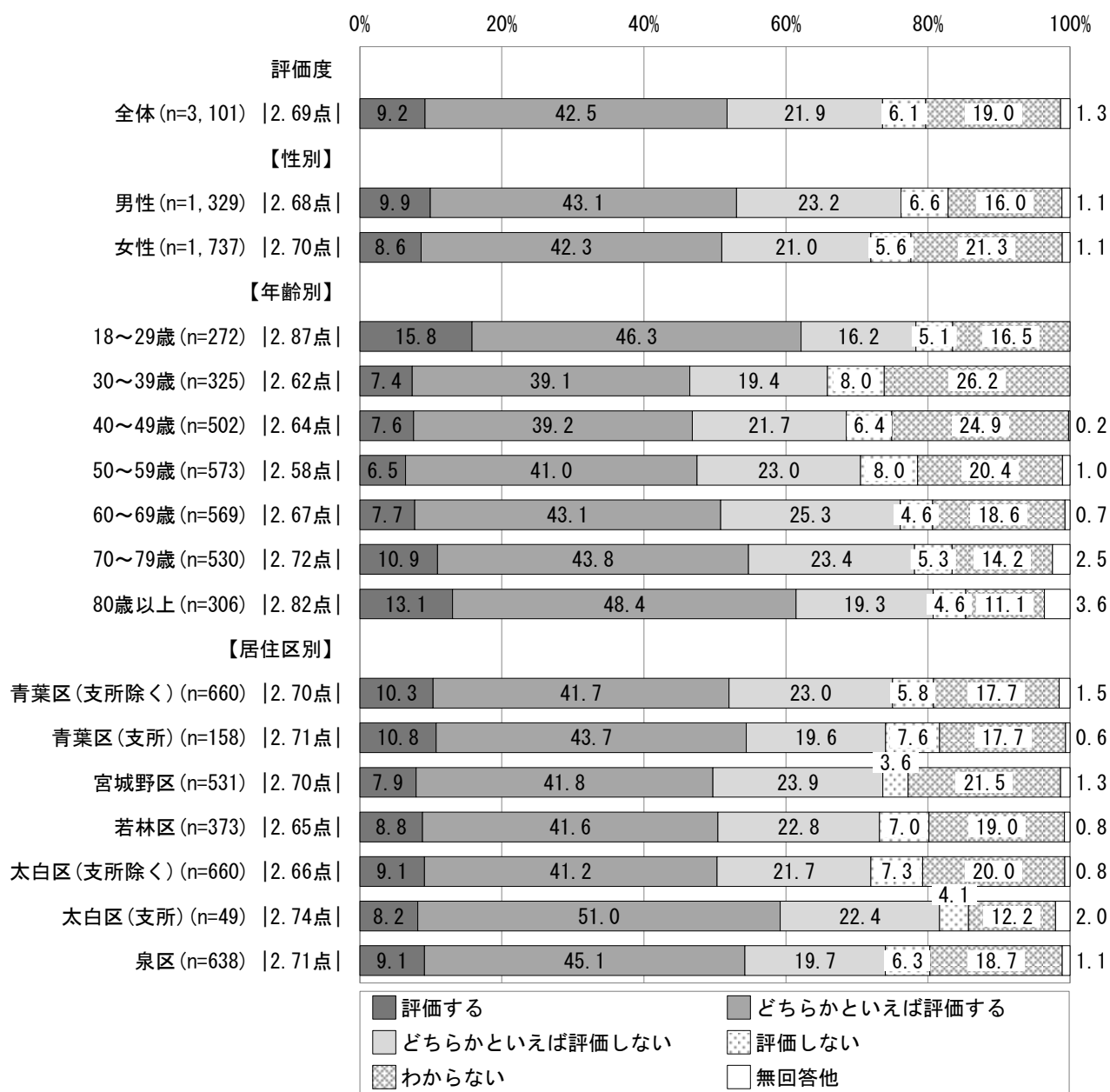
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



6-③ 健康づくりの啓発や介護予防など、一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.69 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



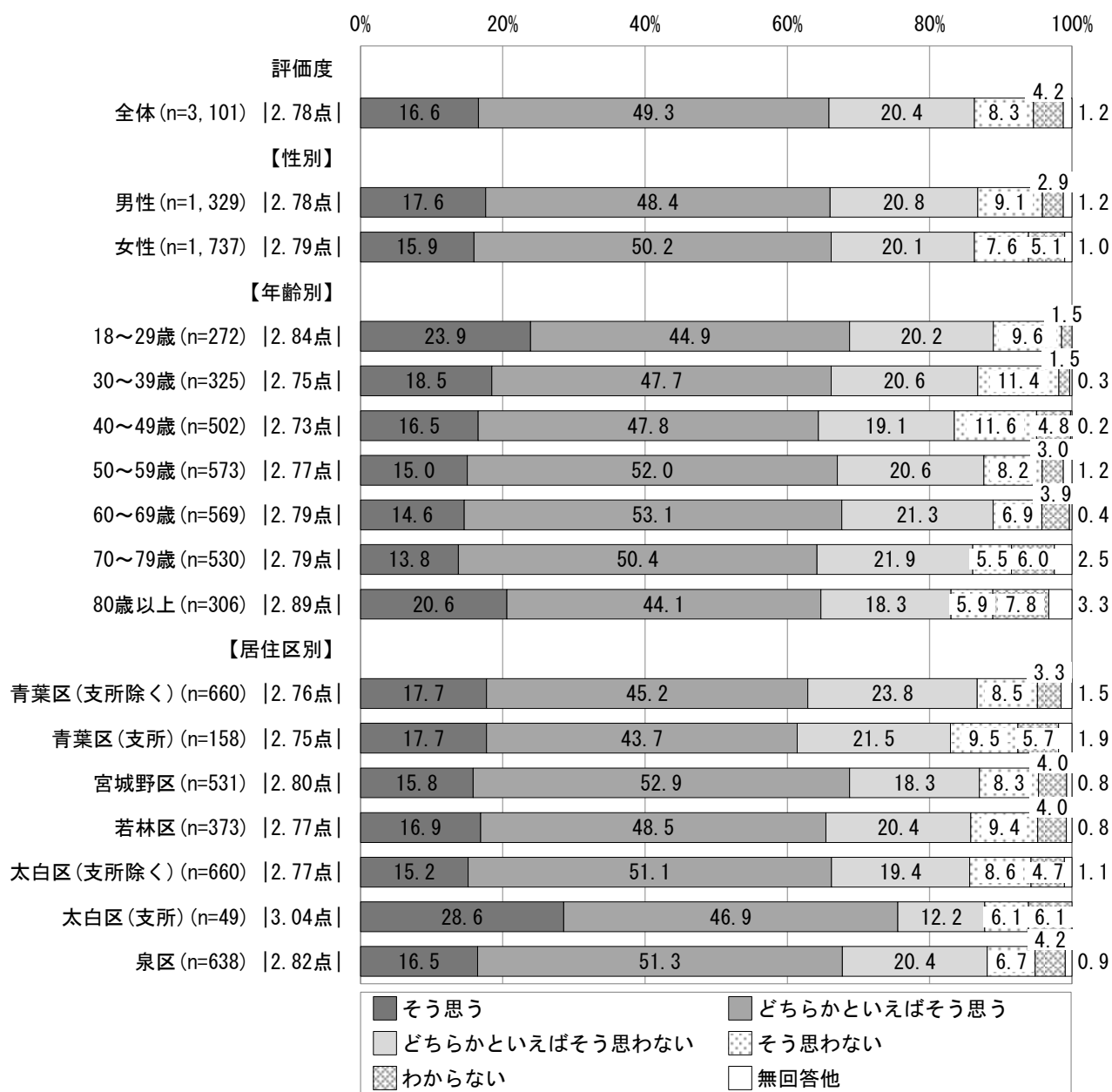
(7) TOHOKU 未来プロジェクト

<仙台市の現状>

経済や観光の魅力があるまちである。

全体では、評価度が 2.78 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

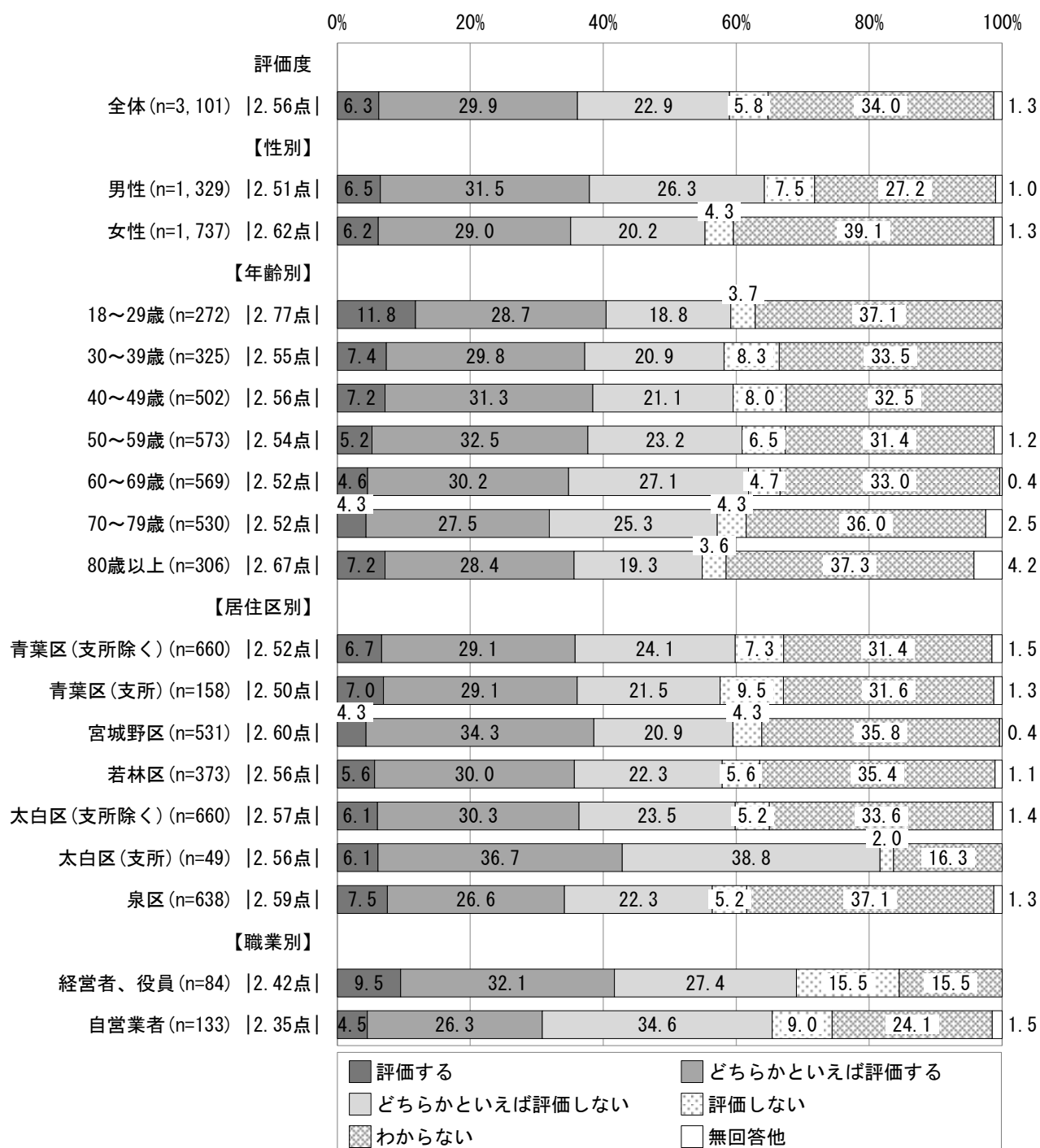


＜取り組んでいる施策＞

7-① 起業家や地元中小企業など、あらゆる事業者が新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり

全体では、評価度が 2.56 点となっている。

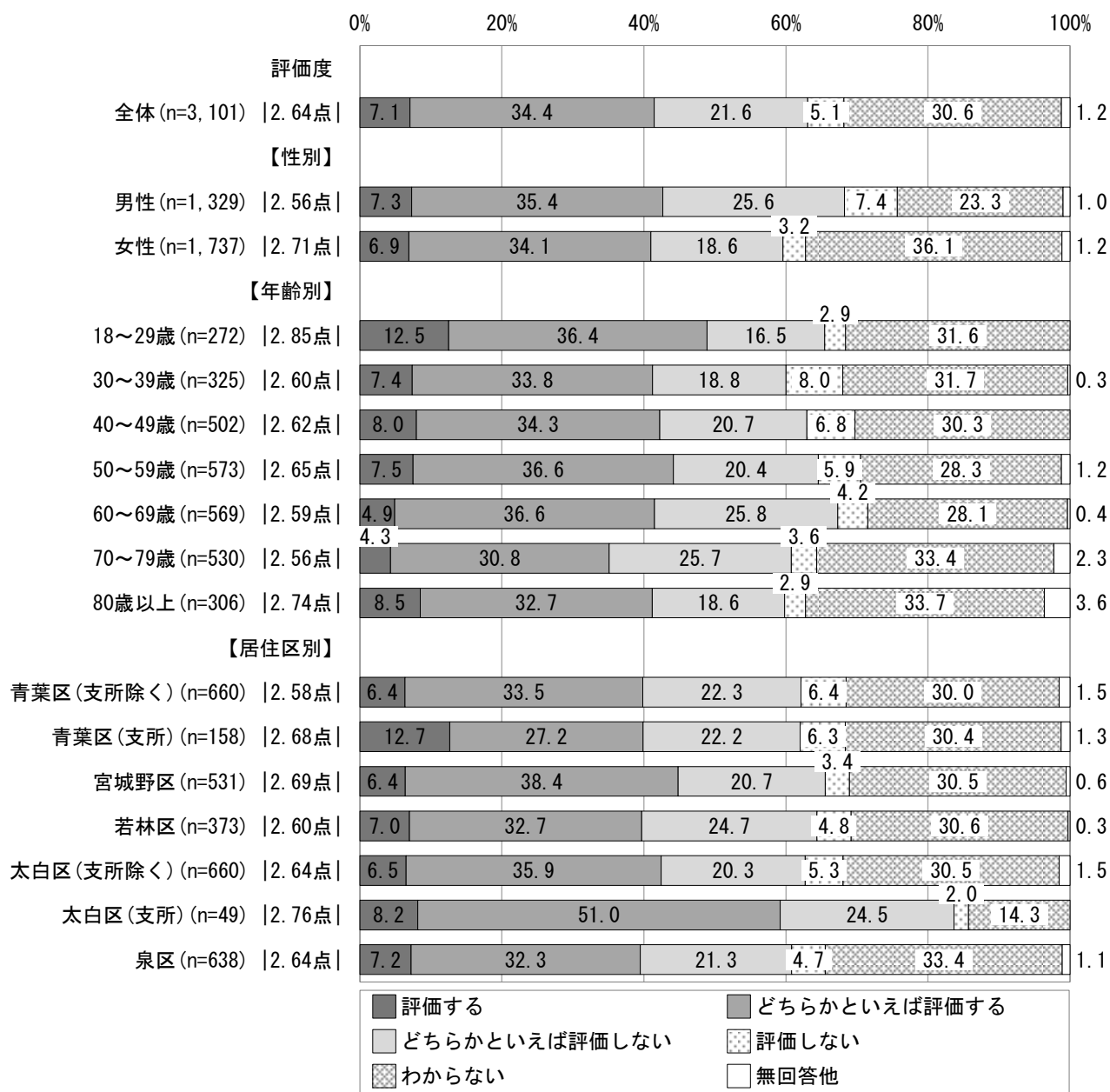
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、宮城野区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



7-② 新たな産業の創出や農業の活性化など、地域産業の成長を支える環境づくり

全体では、評価度が 2.64 点となっている。

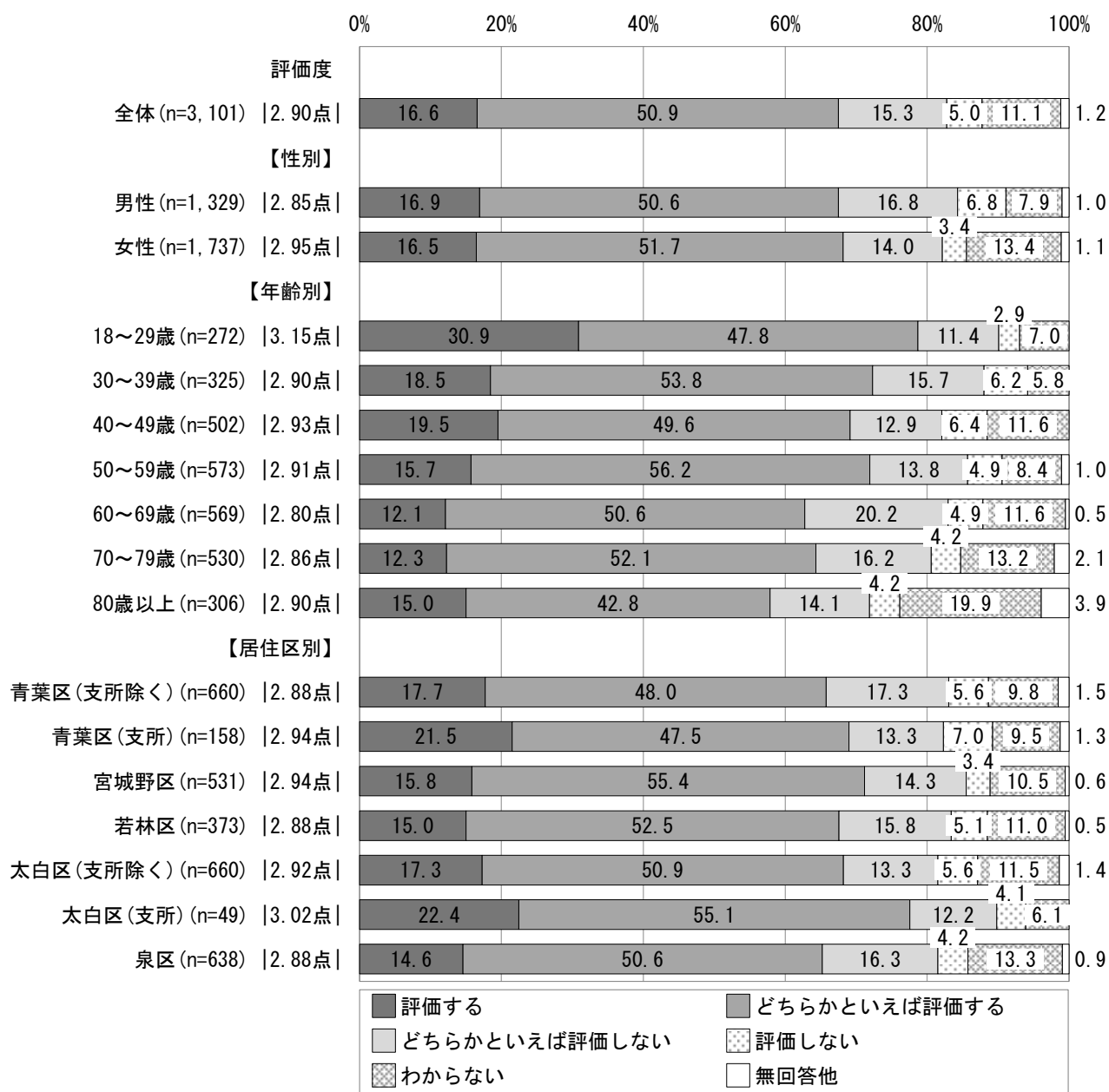
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



7-③ 仙台・東北の魅力の発信や、まつり・スポーツのような観光資源の充実など、訪れる人を増やす取り組み

全体では、評価度が2.90点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



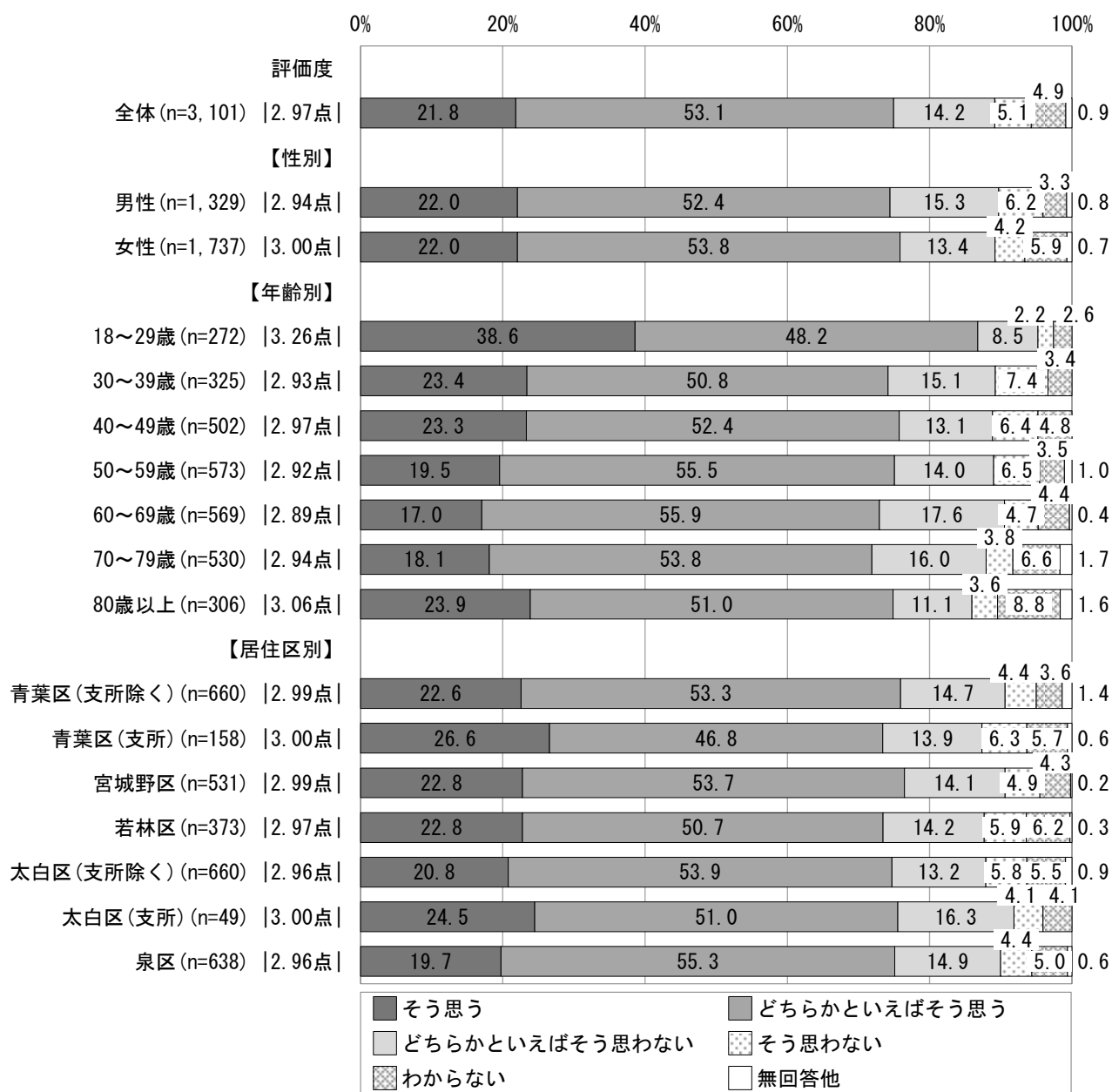
(8) 都心創生プロジェクト

<仙台市の現状>

仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。

全体では、評価度が 2.97 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、青葉区(支所)と太白区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

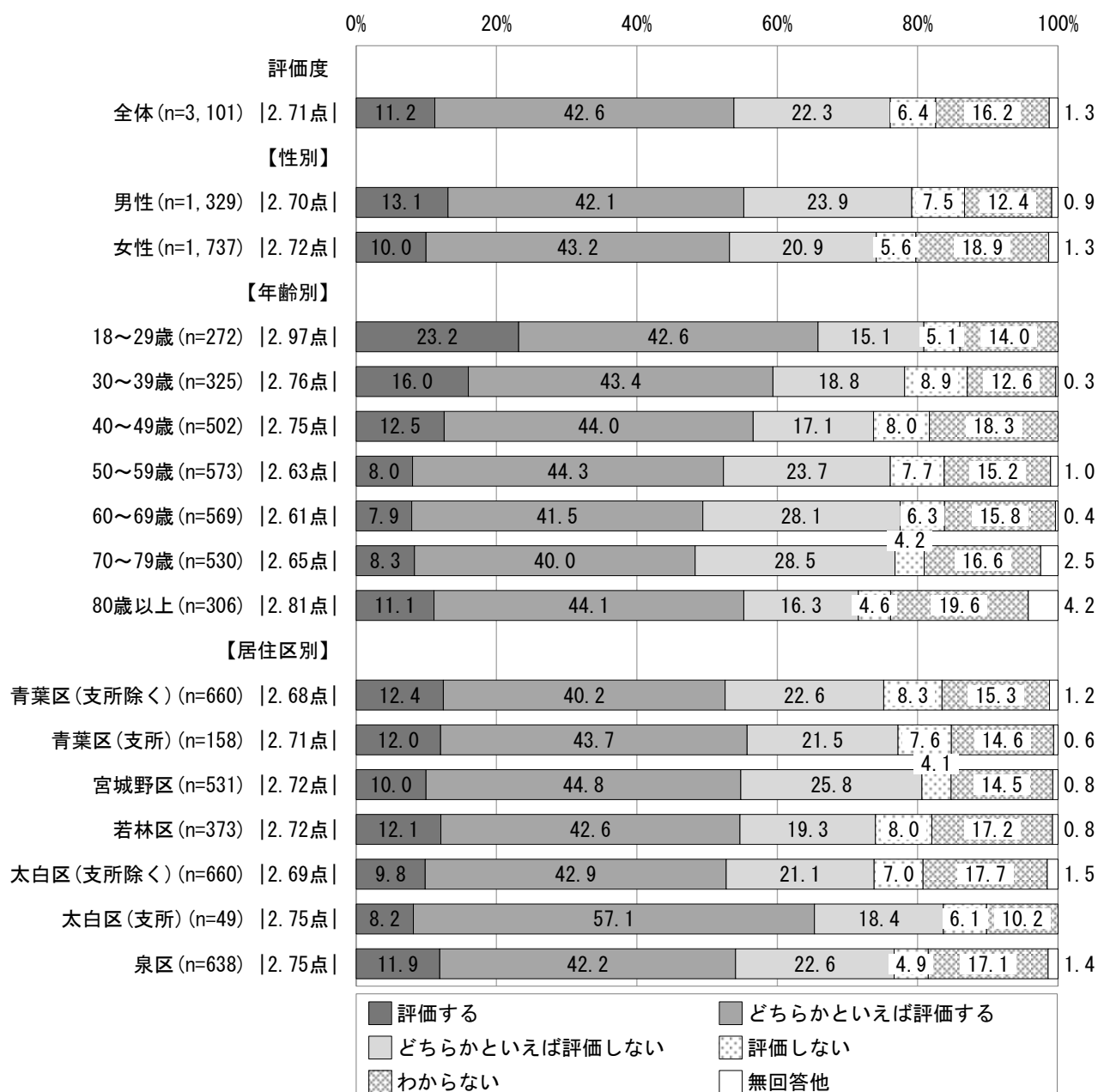


＜取り組んでいる施策＞

8-① 市街地の再開発や古い建物の建て替えの促進など、都心部の活力とにぎわいを生む取り組みの推進

全体では、評価度が2.71点となっている。

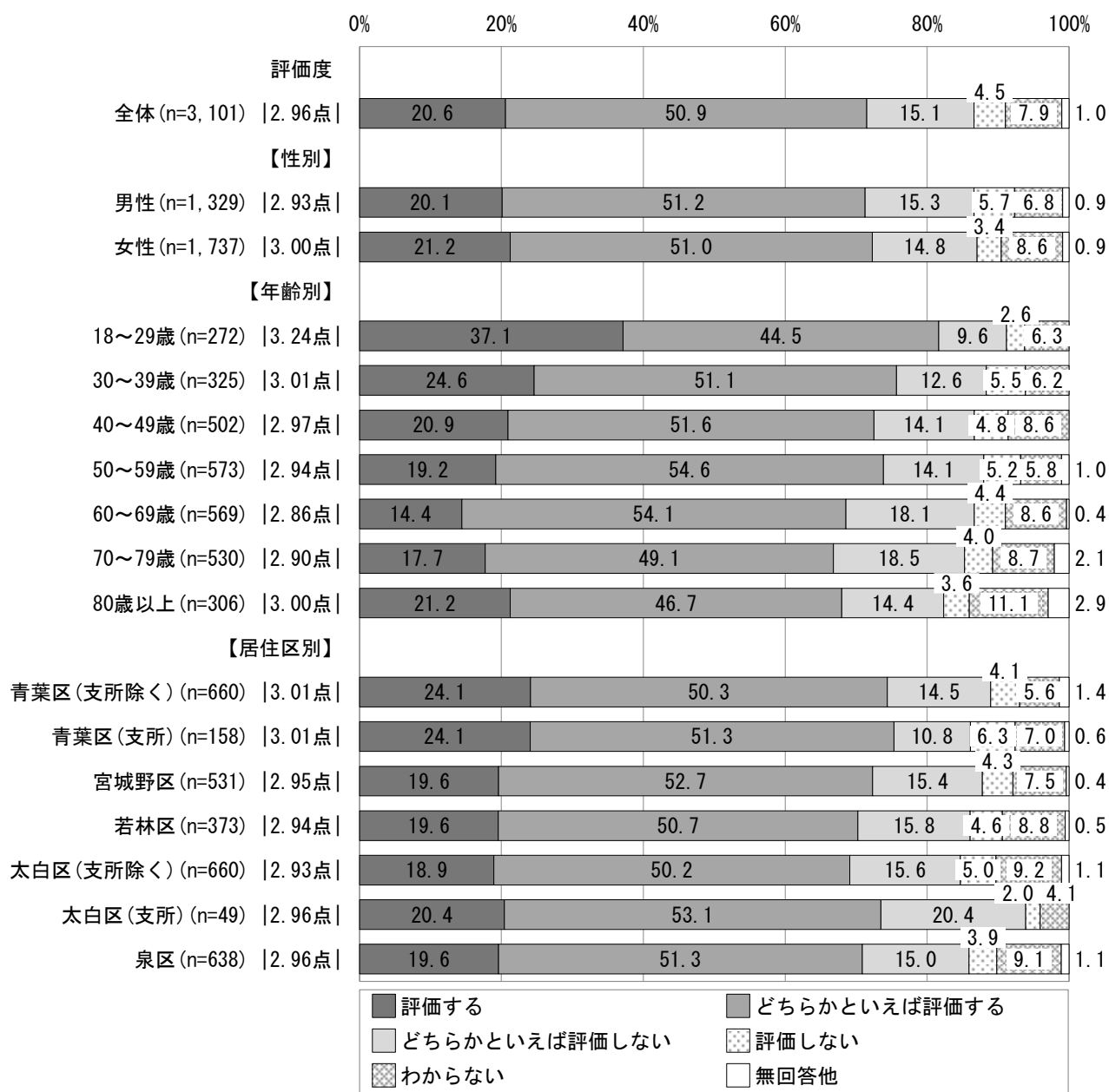
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、太白区(支所)と泉区に居住する回答者の評価度が高くなっている。



8-② 定禅寺通周辺をはじめ、都心部の通り・公園・商店街など、居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり

全体では、評価度が2.96点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、青葉区(支所除く)と青葉区(支所)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



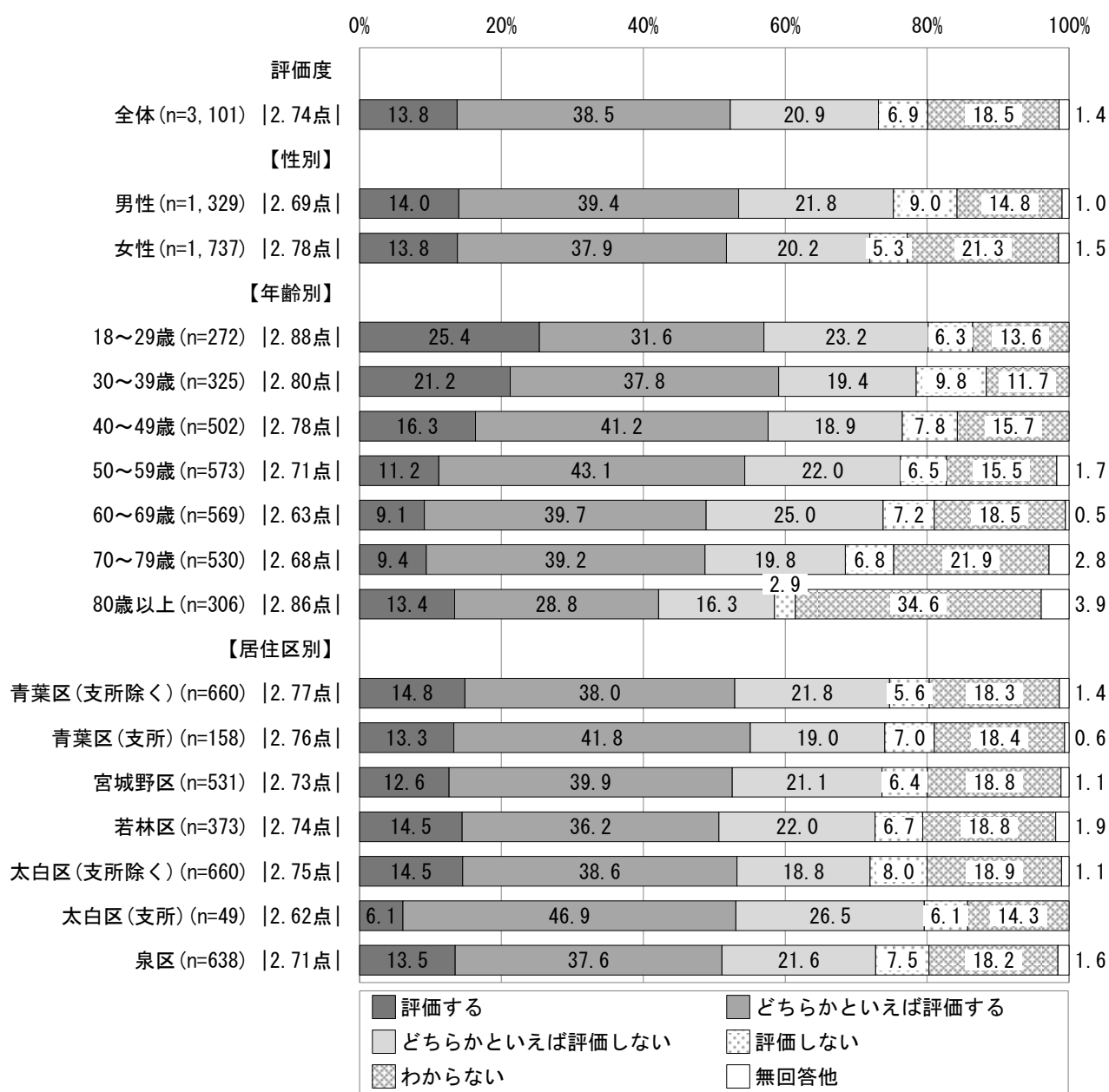
(9) 手続きやサービスのデジタル化

＜取り組んでいる施策＞

9-① 市役所や区役所に来なくても行政手続きができ、市民サービスを受けることができるようになるためのデジタル化の推進

全体では、評価度が 2.74 点となっている。

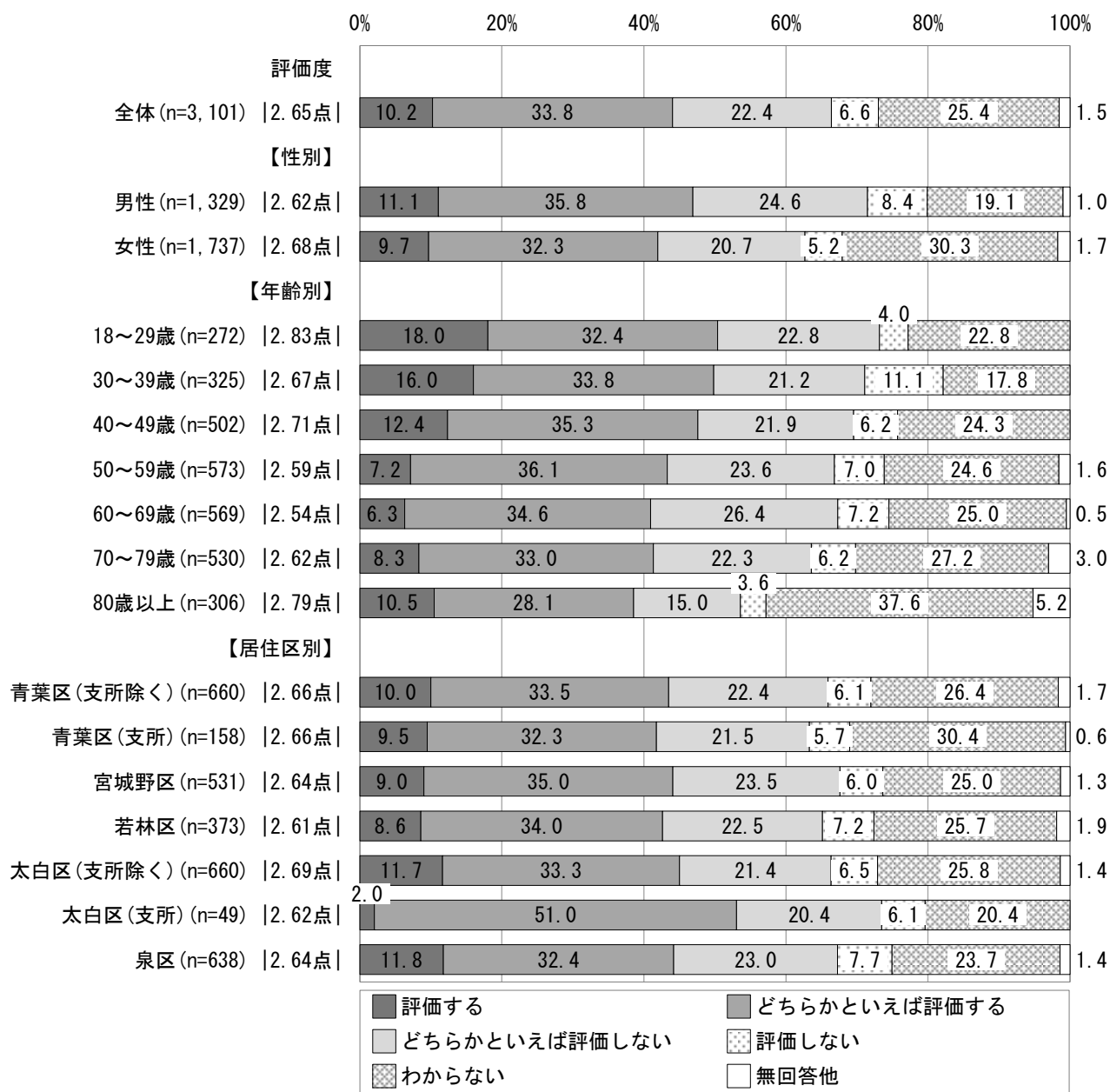
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、青葉区(支所除く)に居住する回答者の評価度が高くなっている。



9-② デジタル技術の活用などを通じた、市民の暮らしや仕事の質の向上に向けた取り組みの推進

全体では、評価度が 2.65 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区(支所除く)に居住する回答者の評価度が高くなっている。

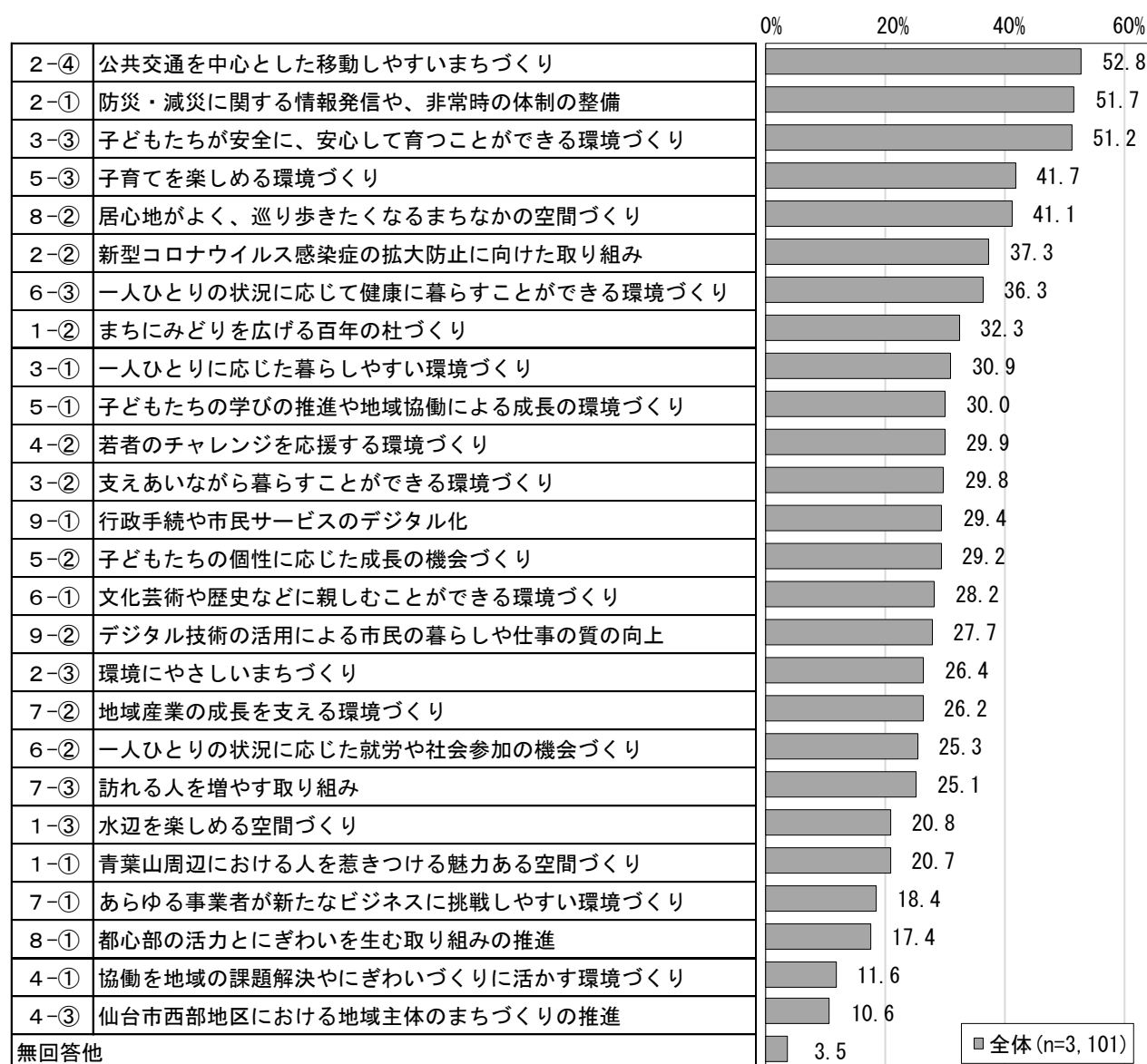


3. 仙台市の現状と施策の評価（今後力を入れていくべき施策）

（１）今後特に力を入れていくべきと思う施策

問 10 問 1～問 8 の（２）及び問 9 であげた仙台市が取り組んでいる施策のうち、仙台市が今後特に力を入れていくべきと思うものはありますか。（複数可）

全体では、「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」が 52.8%と最も高く、「2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備」が 51.7%、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が 51.2%と続いている。



Ⅱ. 調査結果

続いて、上位 10 位を属性別に見る。

年齢別では、年齢が上がるほど「8-② 居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり」「6-③ 一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり」「1-② まちにみどりを広げる百年の杜づくり」の割合が高くなる傾向にある（一部年代を除く）。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」の割合が高くなる傾向にある。

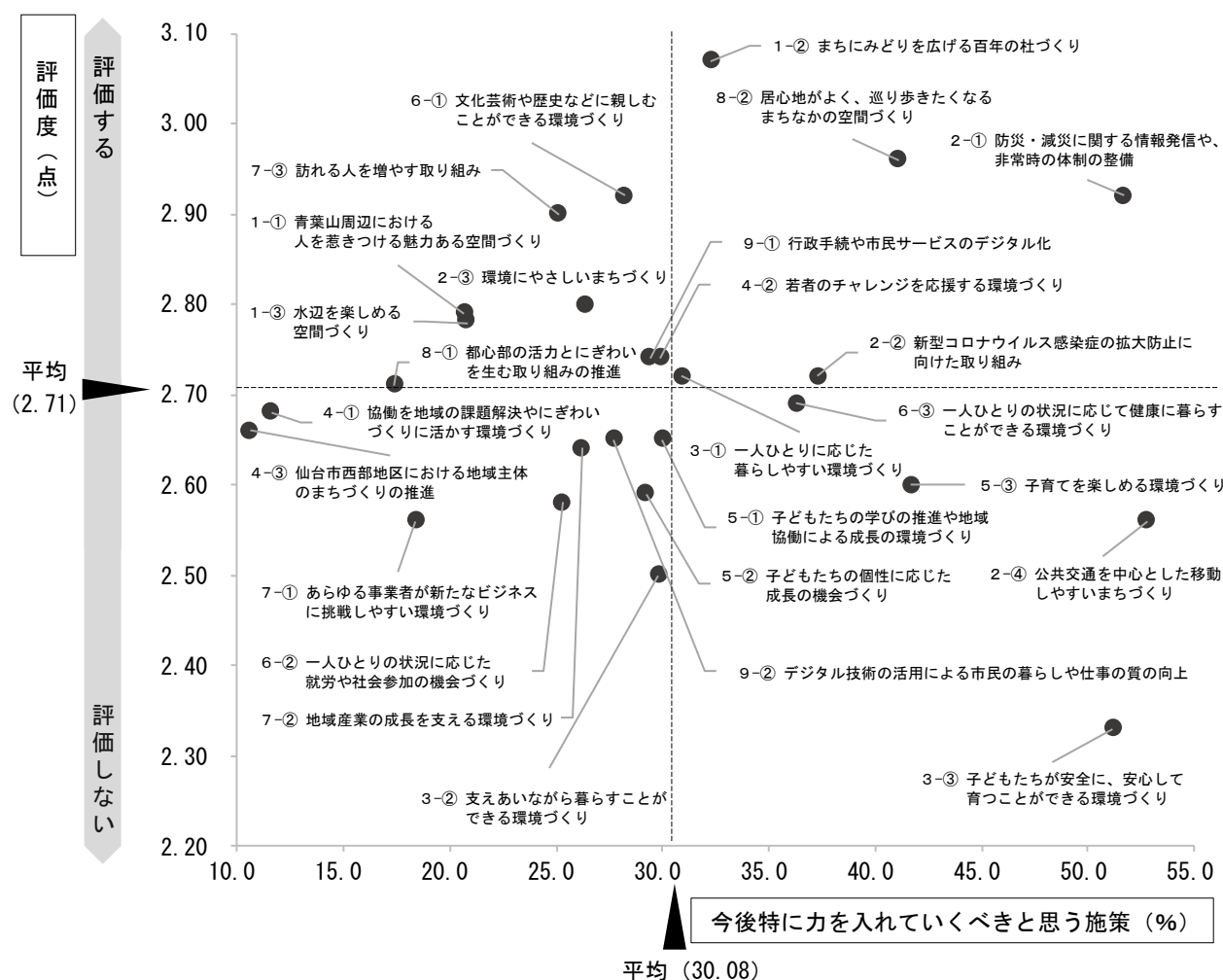
	2 ④	2 ①	3 ③	5 ③	8 ②	2 ②	6 ③	1 ②	3 ①	5 ①
(%)	公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり	防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備	子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	子育てを楽しめる環境づくり	居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み	一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり	まちにみどりを広げる百年の杜づくり	一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり	地域協働による子どもの成長の学びの環境づくりや
全体 (n=3, 101)	52.8	51.7	51.2	41.7	41.1	37.3	36.3	32.3	30.9	30.0
【性別】										
男性 (n=1, 329)	54.0	48.9	48.2	40.9	39.5	35.7	33.7	33.5	29.0	29.6
女性 (n=1, 737)	52.1	54.1	53.6	42.4	42.4	38.6	38.1	31.5	32.4	30.6
【年齢別】										
18～29歳 (n=272)	43.8	39.0	43.8	39.0	28.7	33.5	20.2	24.6	23.5	26.5
30～39歳 (n=325)	32.0	40.3	50.2	50.5	31.7	31.7	20.3	23.1	24.9	35.1
40～49歳 (n=502)	47.8	43.8	53.4	42.4	31.3	32.3	23.7	23.3	28.5	32.7
50～59歳 (n=573)	54.6	56.4	49.0	34.9	34.6	33.9	34.4	28.3	30.7	23.4
60～69歳 (n=569)	61.0	59.8	52.5	38.7	49.9	38.7	42.5	37.8	34.1	32.9
70～79歳 (n=530)	62.3	59.1	56.2	46.2	54.7	43.8	52.3	43.2	37.9	33.8
80歳以上 (n=306)	57.2	52.6	48.4	44.4	51.3	48.0	51.3	43.5	30.4	25.2
【居住年数別】										
3年未満 (n=140)	31.4	40.0	37.9	35.7	37.1	32.9	25.7	25.7	25.0	18.6
3年以上10年未満 (n=261)	42.5	41.4	45.6	41.4	31.4	31.0	23.4	27.6	28.4	30.3
10年以上 (n=2, 585)	55.0	53.5	52.5	42.1	42.0	37.9	37.9	32.7	31.3	30.9

(2) 施策に対する期待×現状評価マップ

下図は、横軸を「今後特に力を入れていくべきと思う施策（問 10）」、縦軸を「施策の評価度（問 1～9）」として各施策をマッピングしたものである。

今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度が低い施策としては「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が挙げられる。同様に、「2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり」や「5-③ 子育てを楽しめる環境づくり」も平均より現状評価度が低く、期待度は高い。これらは、特に力を入れて取り組んでいくべき施策と言える。

また、今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度も高い施策として、「2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備」や「8-② 居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり」が挙げられ、これらは、引き続き取り組みを進めていくべき施策と言える。

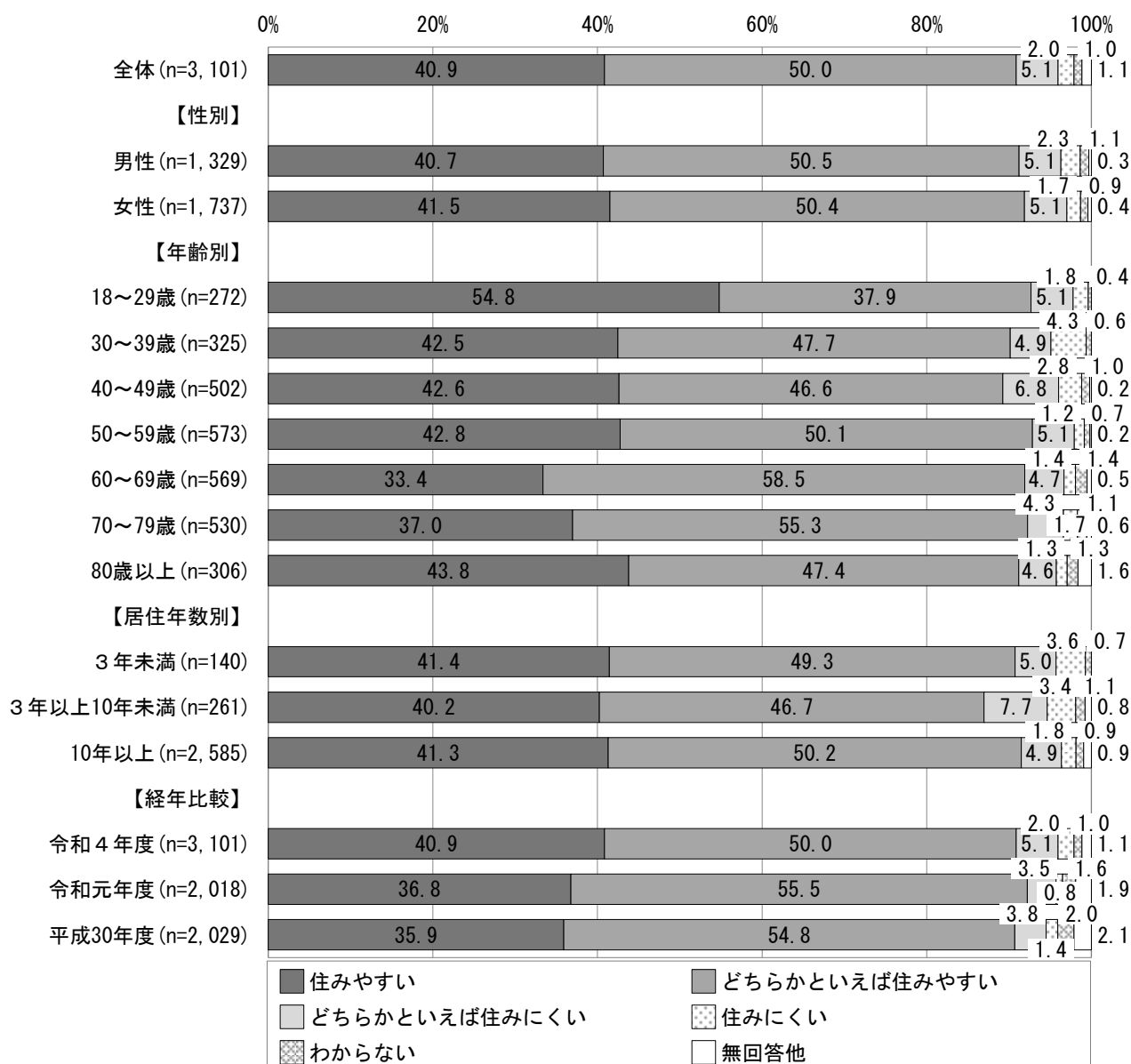


4. 仙台市の住みやすさなど

(1) 仙台市の住みやすさ

問 11 あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。

全体では、「どちらかといえば住みやすい」が 50.0%と最も高く、「住みやすい」が 40.9%、「どちらかといえば住みにくい」が 5.1%と続いている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい（計）』は 90.9%となっている。



※経年比較では、一部選択肢が異なっているため、類似の選択肢に読み替えを行っている。

(2) 仙台市が住みやすい理由

(問 11 で 4 または 3 を選択した方)

問 12 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選択した理由は何ですか。(複数可)

全体では、「通学・通勤・買い物など生活が便利」が 57.7%と最も高く、「自然環境に恵まれている」が 57.1%、「家族・友人・知人がいる」が 56.5%と続いている。

年齢別では、年齢が下がるほど「通学・通勤・買い物など生活が便利」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	通学・通勤・買い物など生活が便利	自然環境に恵まれている	家族・友人・知人がいる	治安が良い(安心・安全)	生まれ故郷なのでよく知っている	医療・福祉サービスが充実している	地域の人間関係が良い	スポーツ・文化施設が充実している	自分に合った仕事がある	楽しく遊べる場所が多い	防災の面で安心である	子どもの教育環境が充実している	家賃や地代など生活にかかる費用が安い	その他	無回答他
全体 (n=2, 818)	57.7	57.1	56.5	39.0	31.7	23.3	14.8	14.8	10.5	10.4	8.9	6.6	4.6	1.6	2.2
【性別】															
男性 (n=1, 212)	55.2	57.3	50.3	40.4	33.6	25.0	13.5	18.2	10.4	12.0	10.4	7.1	5.0	1.9	1.9
女性 (n=1, 596)	59.8	57.0	61.2	37.9	30.2	22.2	15.8	12.2	10.7	9.3	7.7	6.3	4.3	1.3	2.5
【年齢別】															
18～29歳 (n=252)	65.5	38.1	55.2	34.9	38.5	11.9	7.9	13.1	9.5	21.4	6.7	2.4	6.3	0.8	4.0
30～39歳 (n=293)	68.3	44.4	54.3	28.7	32.4	15.4	9.9	8.5	12.6	20.5	3.8	7.2	5.5	1.7	2.7
40～49歳 (n=448)	56.9	52.5	55.4	32.1	31.3	14.1	12.7	12.7	14.1	12.3	5.6	7.6	4.7	1.8	4.9
50～59歳 (n=532)	59.6	59.8	55.8	35.0	35.0	14.5	10.0	12.6	13.3	5.8	5.5	5.1	3.8	1.5	1.9
60～69歳 (n=523)	57.9	60.4	57.2	44.6	29.4	24.7	13.4	17.4	10.3	8.0	7.5	5.4	3.1	1.7	1.3
70～79歳 (n=489)	53.0	69.9	58.7	46.4	28.4	38.9	22.5	19.4	7.0	5.5	14.7	9.2	5.7	1.2	0.2
80歳以上 (n=279)	45.5	60.6	57.7	48.7	29.4	44.4	28.0	17.6	4.3	8.6	20.4	9.3	4.7	2.2	1.8
【経年比較】															
令和4年度 (n=2, 818)	57.7	57.1	56.5	39.0	31.7	23.3	14.8	14.8	10.5	10.4	8.9	6.6	4.6	1.6	2.2
令和元年度 (n=1, 861)	66.8	63.6	49.2	37.6	36.4	26.7	17.6	19.1	6.3	14.0	-	13.8	-	4.2	0.4
平成30年度 (n=1, 840)	65.2	65.9	47.3	38.3	33.2	23.8	17.2	16.3	6.0	14.1	-	15.3	-	4.4	0.2

※経年比較では、一部選択肢が異なっているため、類似の選択肢に読み替えを行っている。

(3) 仙台市が住みにくい理由

(問 11 で 2 または 1 を選択した方)

問 13 「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選択した理由は何ですか。(複数可)

全体では、「家賃や地代など生活にかかる費用が高い」が 48.6%と最も高く、「通学・通勤・買い物など生活が不便」が 47.2%、「楽しく遊べる場所が少ない」が 40.8%と続いている。

性別では「通学・通勤・買い物など生活が不便」は、女性(53.4%)が男性(40.4%)を 13.0 ポイント上回っている。

(%)	家賃や地代など生活にかかる費用が高い	通学・通勤・買い物など生活が不便	楽しく遊べる場所が少ない	防災の面で不安である	子どもの教育環境が充実していない	医療・福祉サービスが充実していない	地域の人間関係が良くない	スポーツ・文化施設が充実していない	治安が良くない	生まれ故郷ではないのでよく知らない	家族・友人・知人がいない	自然環境に恵まれていない	自分に合った仕事が見つからない	その他	無回答他
全体 (n=218)	48.6	47.2	40.8	33.0	27.1	25.2	24.3	21.6	16.1	13.3	12.4	11.0	7.8	11.9	2.8
【性別】															
男性 (n=99)	42.4	40.4	38.4	28.3	31.3	28.3	23.2	22.2	13.1	8.1	10.1	12.1	5.1	7.1	3.0
女性 (n=118)	54.2	53.4	43.2	36.4	22.9	22.0	24.6	21.2	17.8	17.8	14.4	10.2	10.2	15.3	2.5
【年齢別】															
18～29歳 (n=19)	47.4	47.4	47.4	36.8	42.1	10.5	26.3	31.6	10.5	21.1	15.8	31.6	10.5	15.8	0.0
30～39歳 (n=30)	63.3	26.7	53.3	23.3	36.7	6.7	30.0	20.0	30.0	23.3	23.3	10.0	20.0	16.7	3.3
40～49歳 (n=48)	54.2	50.0	45.8	25.0	31.3	33.3	10.4	18.8	8.3	10.4	8.3	2.1	10.4	10.4	4.2
50～59歳 (n=36)	41.7	52.8	30.6	41.7	25.0	19.4	13.9	11.1	22.2	5.6	8.3	13.9	0.0	19.4	0.0
60～69歳 (n=35)	51.4	45.7	34.3	31.4	20.0	34.3	22.9	20.0	14.3	11.4	5.7	8.6	5.7	5.7	5.7
70～79歳 (n=32)	40.6	56.3	40.6	46.9	28.1	28.1	43.8	34.4	15.6	12.5	15.6	12.5	6.3	12.5	3.1
80歳以上 (n=18)	33.3	50.0	33.3	27.8	0.0	38.9	38.9	22.2	11.1	16.7	16.7	11.1	0.0	0.0	0.0

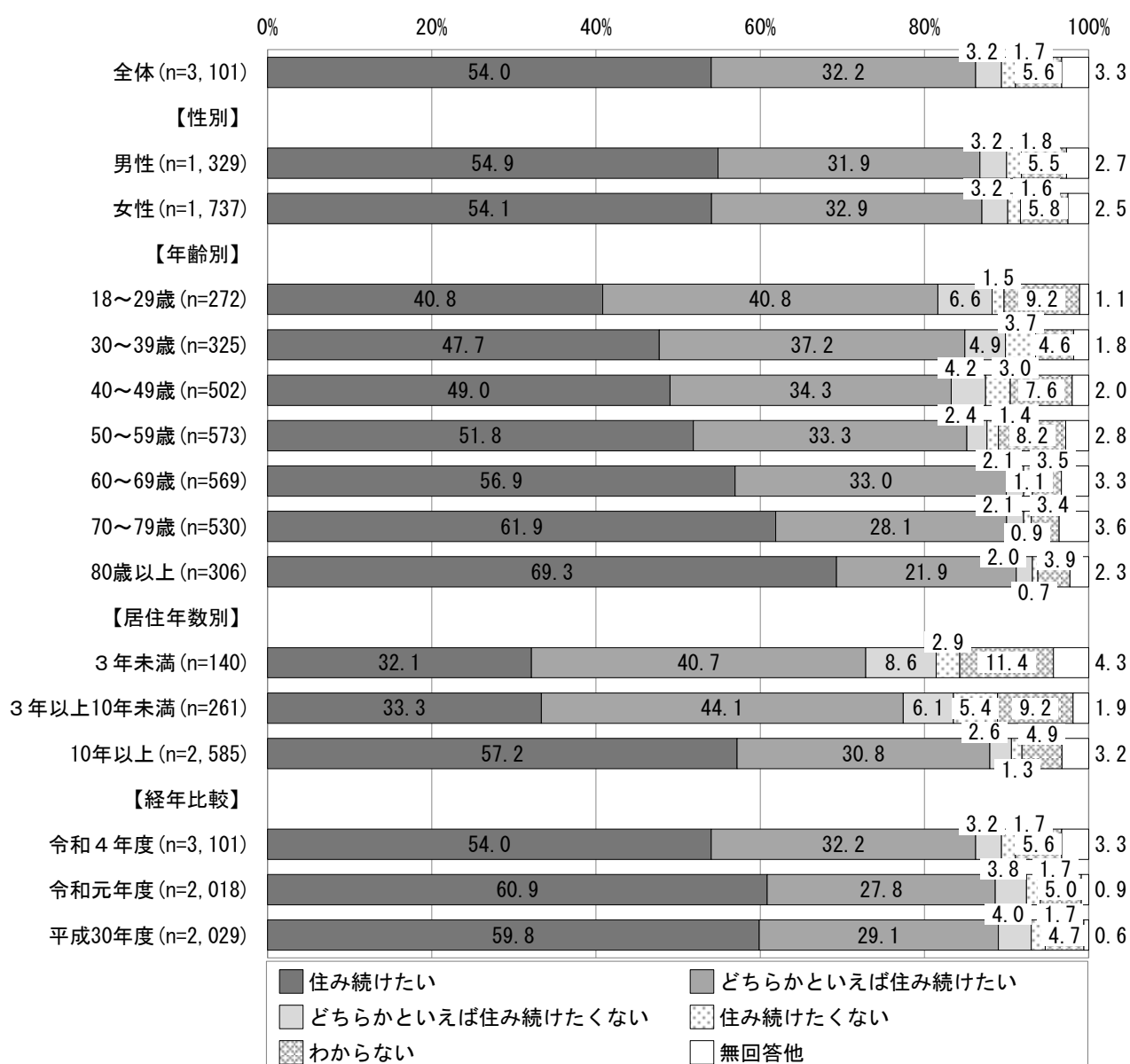
(4) 仙台市への居住意向

問 14 あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。

全体では、「住み続けたい」が54.0%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」が32.2%、「わからない」が5.6%と続いている。「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』は86.2%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にある。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にある。



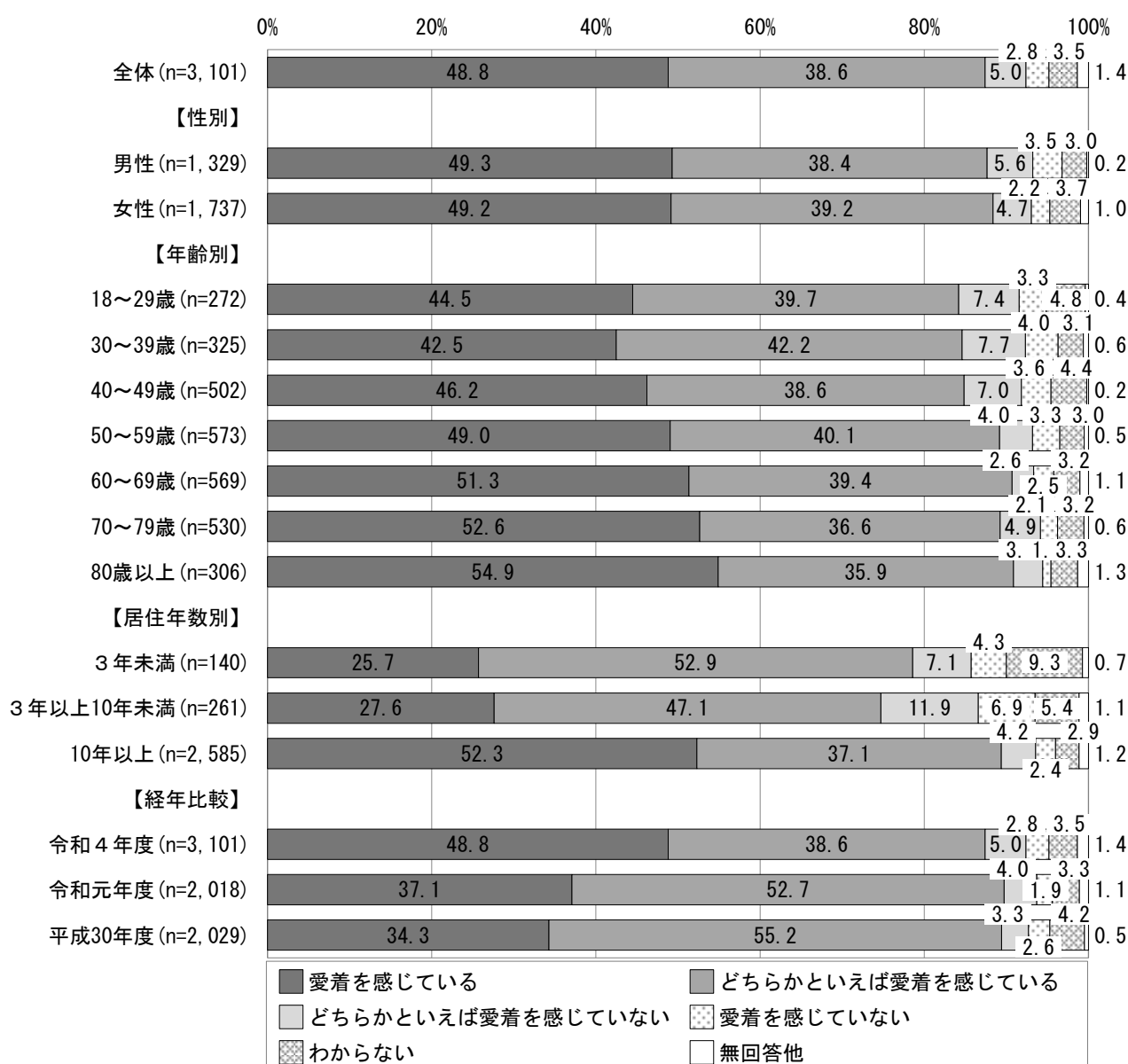
※経年比較では、一部選択肢が異なっているため、類似の選択肢に読み替えを行っている。

(5) 仙台市への愛着

問 15 あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。

全体では、「愛着を感じている」が48.8%と最も高く、「どちらかといえば愛着を感じている」が38.6%、「どちらかといえば愛着を感じていない」が5.0%と続いている。「愛着を感じている」と「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている（計）』は87.4%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「愛着を感じている」の割合が高くなる傾向にある（一部年代を除く）。
居住年数別では、居住年数が長くなるほど「愛着を感じている」の割合が高くなる傾向にある。



※経年比較では、一部選択肢が異なっているため、類似の選択肢に読み替えを行っている。

5. 市政全般に関する意見

市政全般に関するご意見などがございましたら、ご記入ください。（自由記述）

●大分類

項目	件数
1 市政に関する意見	1,860件
2 アンケートに関する意見	56件
3 その他	54件
意見総数(回答者数794名)	1,970件

●中分類(※大分類1「市政に関する意見」を細分化)

中分類	件数
1 杜と水の都プロジェクト(みどりや水辺に親しめる空間づくり)	177件
2 防災環境都市プロジェクト(災害に強く、環境にやさしいまちづくり)	330件
3 心の伴走プロジェクト(あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり)	170件
4 地域協働プロジェクト(地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり)	73件
5 笑顔咲く子どもプロジェクト(子育て支援や教育環境の充実)	157件
6 ライフデザインプロジェクト(自分らしい生き方が実現できる環境づくり)	119件
7 TOHOKU未来プロジェクト(経済や観光の魅力づくり)	159件
8 都心創生プロジェクト(人が集う、魅力ある都心づくり)	127件
9 デジタル化推進	50件
10 その他(市政関連)	498件
意見総数	1,860件

●小分類(※中分類をさらに細分化)

中分類	小分類	件数
1 杜と水の都プロジェクト (みどりや水辺に親しめる空間づくり)	1 青葉山周辺の空間づくり	34件
	2 公園や街路樹の整備、緑の保全	88件
	3 水辺の空間づくり	33件
	4 その他	22件
2 防災環境都市プロジェクト (災害に強く、環境にやさしいまちづくり)	1 防災・減災対策	42件
	2 新型コロナウイルス感染症拡大防止	29件
	3 環境配慮(脱炭素・資源循環等)	34件
	4 公共交通	153件
	5 交通渋滞	28件
	6 交通マナー・自転車対策	38件
	7 その他	6件
3 心の伴走プロジェクト (あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり)	1 多様性の尊重	29件
	2 高齢者福祉・障害者支援	67件
	3 社会的自立支援	28件
	4 いじめや虐待対策	33件
	5 その他	13件
4 地域協働プロジェクト (地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり)	1 地域協働の促進	31件
	2 若者の活動支援	20件
	3 西部地域のまちづくり	11件
	4 その他	11件
5 笑顔咲く子どもプロジェクト (子育て支援や教育環境の充実)	1 地域・学校・家庭における教育環境	37件
	2 不登校・特別支援等の学校教育	11件
	3 子育て環境	81件
	4 その他	28件
6 ライフデザインプロジェクト (自分らしい生き方が実現できる環境づくり)	1 文化芸術活動	65件
	2 多様な主体の社会参加促進	20件
	3 健康づくり・介護予防	23件
	4 その他	11件
7 TOHOKU未来プロジェクト (経済や観光の魅力づくり)	1 起業・中小企業支援	23件
	2 雇用環境	29件
	3 地域産業成長	7件
	4 誘客・観光対策	55件
	5 スポーツ振興	20件
	6 その他	25件
8 都心創生プロジェクト (人が集う、魅力ある都心づくり)	1 都心のビジネス環境向上	42件
	2 巡りたくなる都心の魅力づくり	60件
	3 その他	25件
9 デジタル化推進	1 手続きやサービスのデジタル化	40件
	2 その他	10件
10 その他 (市政関連)	1 行政運営全般	108件
	2 窓口サービスや職員	58件
	3 市政広報・情報発信	36件
	4 郊外のまちづくり	62件
	5 公共インフラ整備(道路等)	65件
	6 市民生活全般	66件
	7 税関係	29件
	8 市長に関すること	34件
	9 その他	40件

※意見の件数は、小分類単位で複数回答の取り扱いとしている。

市政に関する意見を＜中分類＞のとおりに、8つのチャレンジプロジェクトごとに見ると、件数は、『2 防災環境都市プロジェクト（災害に強く、環境にやさしいまちづくり）』（330件）が最も多く、『1 杜と水の都プロジェクト（みどりや水辺に親しめる空間づくり）』（177件）、『3 心の伴走プロジェクト（あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり）』（170件）、『7 TOHOKU 未来プロジェクト（経済や観光の魅力づくり）』（159件）、『5 笑顔咲く子どもプロジェクト（子育て支援や教育環境の充実）』（157件）と続いている。

＜中分類＞それぞれについて、意見の内容を＜小分類＞ごとに見ると、以下のとおりである。

『1 杜と水の都プロジェクト（みどりや水辺に親しめる空間づくり）』については、「公園や街路樹の整備、緑の保全」（88件）に分類される意見が多く、公園の増設や街路樹の維持管理を希望する意見が寄せられている。

『2 防災環境都市プロジェクト（災害に強く、環境にやさしいまちづくり）』については、「公共交通」（153件）に分類される意見が多く、公共バスの増便、地下鉄駅までのアクセス改善といった意見が寄せられている。

『3 心の伴走プロジェクト（あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり）』については、「高齢者福祉・障害者支援」（67件）に分類される意見が多く、介護や生活支援サービスの充実を望む意見が寄せられている。

『4 地域協働プロジェクト（地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり）』については、「地域協働の促進」（31件）に分類される意見が多く、町内会の活動に対する意見やボランティア等への参加を希望する意見が寄せられている。

『5 笑顔咲く子どもプロジェクト（子育て支援や教育環境の充実）』については、「子育て環境」（81件）に分類される意見が多く、子育てに対する経済的支援や、子どもが遊べる場所の充実を求める意見が寄せられている。

『6 ライフデザインプロジェクト（自分らしい生き方が実現できる環境づくり）』については、「文化芸術活動」（65件）に分類される意見が多く、音楽ホール整備の希望や、仙台城址の史跡整備への期待といった意見が寄せられている。

『7 TOHOKU 未来プロジェクト（経済や観光の魅力づくり）』については、「誘客・観光対策」（55件）に分類される意見が多く、観光客増加のためのPR推進や大規模ドーム・レジャー施設の建設、歴史を活かした観光地づくりを求める意見が寄せられている。

『8 都心創生プロジェクト（人が集う、魅力ある都心づくり）』については、「巡りたくなる都心の魅力づくり」（60件）に分類される意見が多く、仙台駅周辺やアーケード商店街におけるにぎわいづくりを望む意見が寄せられている。

また、『9 デジタル化推進』については、「手続きやサービスのデジタル化」（40件）として、窓口サービスのデジタル化を求める意見や、不慣れな人向けの支援を望む意見が寄せられている。

『10 その他（市政関連）』については、市の広報・情報発信の充実や、郊外におけるまちづくりの推進、道路の修繕等に関して意見が寄せられている。

Ⅲ. 資料

調査票

調査票コード



※ このコードは、ひとりの方が複数回答すること
を避けるためのもので、個人を特定するものではありません。

令和4年度「仙台市市民意識調査」調査票

◇回答する際のご注意◇

回答は、封筒の宛名のご本人様が、無記名で行ってください。

◇回答方法◇

以下のどちらか1つの方法でご回答ください。回答は1回限りです。

【回答方法1】 WEB（みやぎ電子申請サービス）

- ①回答ページにアクセスする。
 - ②入力フォームに従い、回答を入力する。
 - ③入力後、「回答内容の確認に進む」ボタンを押下し、内容確認の上、送信する。
- 回答ページへは、ブラウザのURL入力欄に以下のURLを入力いただくか、二次元コードを読み取ることでアクセスいただけます。
- 【回答ページURL・二次元コード】
- <https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1644462466215>
- 
- 「Q1」の「調査票コード」には、この調査票左上に記載の4文字の半角英数字を入力してください。
- 調査票の返送は不要です。

【回答方法2】 郵 送

- ①調査票に回答を直接記入する。
 - ②同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、投函する。
- 各設問の内容をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」を選択した場合は、〔 〕内に具体的な内容をご記入ください。

◇回答期限◇

令和4年5月18日(水)までに、WEBでの回答送信、または、調査票の投函をお願いいたします。

まず、「仙台市の現状」と「仙台市の施策の評価」についておたずねします。

問1～問8

仙台市では「仙台市基本計画 2021-2030」において掲げた、8つのチャレンジプロジェクト〔※〕を軸に、様々な施策に取り組んでいます。

各プロジェクトに関連することとして、（１）あなたが思う仙台市の現状、（２）仙台市が取り組んでいる施策に対するあなたの評価として、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

※プロジェクトの詳細は、同封の「仙台市基本計画（概要版）」3～10ページをご参照ください。

問1 杜と水の都プロジェクト

（１）仙台市の現状	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。	4	3	2	1	0
（２）取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない
1-① 青葉山周辺における域内外から人を惹きつける魅力ある空間づくり	4	3	2	1	0
1-② 魅力ある公園や美しい景観を形成する街路樹の整備など、まちにみどりを広げる百年の杜づくり	4	3	2	1	0
1-③ 広瀬川の活用や東部沿岸地域でのにぎわいづくりなど、水辺を楽しめる空間づくり	4	3	2	1	0

問2 防災環境都市プロジェクト

（１）仙台市の現状	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
災害に強く、環境にやさしいまちである。	4	3	2	1	0
（２）取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない
2-① 東日本大震災の経験を踏まえた防災・減災に関する情報発信や、地震や大雨、火災などの非常時の体制の整備	4	3	2	1	0
2-② 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた、相談体制や医療提供体制の確保などの取り組み	4	3	2	1	0
2-③ 地球温暖化対策や、ごみの減量、リサイクルの推進など、環境にやさしいまちづくり	4	3	2	1	0
2-④ 鉄道や路線バスなどの公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり	4	3	2	1	0

問3 心の伴走プロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
3-① 性別、国籍、障害の有無などに関わらない暮らしやすい環境づくり	4	3	2	1	0
3-② 困ったときに相談しやすく、地域で孤立せずに支えあいながら暮らすことができる環境づくり	4	3	2	1	0
3-③ いじめや虐待の防止など、子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	4	3	2	1	0

問4 地域協働プロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
4-① 地域団体・NPO・企業などによる協働を促進し、地域の課題解決やにぎわいづくりに活かす環境づくり	4	3	2	1	0
4-② 大学との連携や若者の活動支援などを通じた、若者のチャレンジを応援する環境づくり	4	3	2	1	0
4-③ 仙台市西部地区における、自然や歴史などの資源を活かした地域主体のまちづくりの推進	4	3	2	1	0

問5 笑顔咲く子どもプロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
5-① ICTを活用した教育や職場体験など、子どもたちの挑戦する力を育てる教育や、学校・家庭・地域みんなで育てる環境づくり	4	3	2	1	0
5-② 少人数学級の推進や不登校児童の支援、特別支援教育の推進など、子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり	4	3	2	1	0
5-③ 子ども・子育てに関する相談・支援、保育や子どもの遊びの環境の充実など、子育てを楽しめる環境づくり	4	3	2	1	0

問6 ライフデザインプロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
6-① 音楽・舞台芸術・アートなどの文化芸術や、歴史などに親しむことができる環境づくり	4	3	2	1	0
6-② 年齢、性別、国籍、障害の有無などに関わらない、一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加などの機会づくり	4	3	2	1	0
6-③ 健康づくりの啓発や介護予防など、一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり	4	3	2	1	0

問7 TOHOKU未来プロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
経済や観光の魅力があるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
7-① 起業家や地元中小企業など、あらゆる事業者が新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり	4	3	2	1	0
7-② 新たな産業の創出や農業の活性化など、地域産業の成長を支える環境づくり	4	3	2	1	0
7-③ 仙台・東北の魅力の発信や、まつり・スポーツのような観光資源の充実など、訪れる人を増やす取り組み	4	3	2	1	0

問8 都心創生プロジェクト

(1) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう 思わない	わからない
仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。	4	3	2	1	0
(2) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえ ば評価する	どちらかといえ ば評価しない	評価しない	わからない
8-① 市街地の再開発や古い建物の建て替えの促進など、都心部の活力とにぎわいを生む取り組みの推進	4	3	2	1	0
8-② 定禅寺通周辺をはじめ、都心部の通り・公園・商店街など、居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり	4	3	2	1	0

問 9 仙台市では、社会の変化を踏まえて、行政手続や市民サービスのデジタル化を進めています。仙台市が取り組んでいるデジタル化の施策に対するあなたの評価として、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
9-① 市役所や区役所に来なくても行政手続ができ、市民サービスを受けることができるようにするためのデジタル化の推進	4	3	2	1	0
9-② デジタル技術の活用などを通じた、市民の暮らしや仕事の質の向上に向けた取り組みの推進	4	3	2	1	0

問 10 問1～問8の(2)及び問9であげた仙台市が取り組んでいる施策のうち、仙台市が今後特に力を入れていくべきと思うものはありますか。あてはまるものがあれば、○(複数可)をつけてください。

プロジェクト	取り組んでいる施策	あてはまるものに○
杜と水の都プロジェクト	1-① 青葉山周辺における人を惹きつける魅力ある空間づくり	
	1-② まちにみどりを広げる百年の杜づくり	
	1-③ 水辺を楽しめる空間づくり	
防災・環境都市プロジェクト	2-① 防災・減災に関する情報発信や、非常時の体制の整備	
	2-② 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた取り組み	
	2-③ 環境にやさしいまちづくり	
	2-④ 公共交通を中心とした移動しやすいまちづくり	
心の伴走プロジェクト	3-① 一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり	
	3-② 支えあいながら暮らすことができる環境づくり	
	3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	
地域協働プロジェクト	4-① 協働を地域の課題解決やにぎわいづくりに活かす環境づくり	
	4-② 若者のチャレンジを応援する環境づくり	
	4-③ 仙台市西部地区における地域主体のまちづくりの推進	
笑顔咲く子どもプロジェクト	5-① 子どもたちの学びの推進や地域協働による成長の環境づくり	
	5-② 子どもたちの個性に応じた成長の機会づくり	
	5-③ 子育てを楽しめる環境づくり	
ライフデザインプロジェクト	6-① 文化芸術や歴史などに親しむことができる環境づくり	
	6-② 一人ひとりの状況に応じた就労や社会参加の機会づくり	
	6-③ 一人ひとりの状況に応じて健康に暮らすことができる環境づくり	
TOHOKU 未来プロジェクト	7-① あらゆる事業者が新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり	
	7-② 地域産業の成長を支える環境づくり	
	7-③ 訪れる人を増やす取り組み	
都心創生プロジェクト	8-① 都心部の活力とにぎわいを生む取り組みの推進	
	8-② 居心地がよく、巡り歩きたくなるまちなかの空間づくり	
手続きやサービスのデジタル化	9-① 行政手続や市民サービスのデジタル化	
	9-② デジタル技術の活用による市民の暮らしや仕事の質の向上	

次に、仙台市の住みやすさなどについておたずねします。

問 11 あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	わからない
4	3	2	1	0
⇒ 問 12 へ		⇒ 問 13 へ		⇒ 問 14 へ

問 12 (問 11 で 4 または 3 を選択した方)

「4 住みやすい」または「3 どちらかといえば住みやすい」を選択した理由は何ですか。あてはまるものを選び、番号に○(複数可)をつけてください。⇒ 問 14 へ

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 家族・友人・知人がいる | 2 自然環境に恵まれている |
| 3 通学・通勤・買い物など生活が便利 | 4 楽しく遊べる場所が多い |
| 5 地域の人間関係が良い | 6 治安が良い(安心・安全) |
| 7 医療・福祉サービスが充実している | 8 子どもの教育環境が充実している |
| 9 自分に合った仕事がある | 10 スポーツ・文化施設が充実している |
| 11 生まれ故郷なのでよく知っている | 12 家賃や地代など生活にかかる費用が安い |
| 13 防災の面で安心である | 14 その他〔 〕 |

問 13 (問 11 で 2 または 1 を選択した方)

「2 どちらかといえば住みにくい」または「1 住みにくい」を選択した理由は何ですか。あてはまるものを選び、番号に○(複数可)をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 家族・友人・知人がいない | 2 自然環境に恵まれていない |
| 3 通学・通勤・買い物など生活が不便 | 4 楽しく遊べる場所が少ない |
| 5 地域の人間関係が良くない | 6 治安が良くない |
| 7 医療・福祉サービスが充実していない | 8 子どもの教育環境が充実していない |
| 9 自分に合った仕事が見つからない | 10 スポーツ・文化施設が充実していない |
| 11 生まれ故郷ではないのでよく知らない | 12 家賃や地代など生活にかかる費用が高い |
| 13 防災の面で不安である | 14 その他〔 〕 |

問 14 あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたくない	住み続けたくない	わからない
4	3	2	1	0

問 15 あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

愛着を感じている	どちらかといえば 愛着を感じている	どちらかといえば 愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない
4	3	2	1	0

最後に、あなたご自身や世帯の状況についておたずねします。

F 1～F 8

以下の項目について、あなたご自身にあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

F 1 現在お住まいの区（○は1つ）

※回答時点で市外に転出された方は、直近でお住まいだった区をお答えください。

- | | |
|--------|------------------|
| 1 青葉区 | 2 青葉区（宮城総合支所管内＊） |
| 3 宮城野区 | 4 若林区 |
| 5 太白区 | 6 太白区（秋保総合支所管内＊） |
| 7 泉区 | |

＊総合支所の所管区域

宮城総合支所管内	赤坂、愛子中央、愛子東、芋沢、大倉、落合、上愛子、国見ヶ丘、熊ヶ根、栗生、郷六、作並、下愛子、高野原、中山台、中山山西、中山吉成、錦ヶ丘、ニッカ、新川、南吉成、みやぎ台、向田、吉成、吉成台、臨済院
秋保総合支所管内	秋保町湯向、秋保町境野、秋保町長袋、秋保町馬場、秋保町湯元

F 2 性別（○は1つ）

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 3 現在のご年齢（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 |
| 4 40～49 歳 | 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 |
| 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上 | |

F 4 現在のお住まい（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 2 持ち家（集合住宅） |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 4 賃貸住宅（集合住宅） |
| 5 社宅・官舎・寮 | 6 その他〔 〕 |

F 5 ご職業（○は1つ）

※複数の職に従事されている方は、主なものについてお答えください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 経営者、役員 | 2 会社員、公務員などの常勤の従業員 |
| 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職 | 4 自営業者またはその家族従業者 |
| 5 専業主婦・主夫 | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他〔 〕 |

F 6 同居の世帯構成（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 単身（同居人はいない） | 2 夫・妻 |
| 3 二世帯世帯（あなたの世代と親） | 4 二世帯世帯（あなたの世代と子ども） |
| 5 三世帯世帯（あなたを含めて三世代） | 6 その他〔 〕 |

F 7 同居している方の現在の状況（○は複数可）

※以下に該当する場合はお答えください。単身の方はご自身についてご回答ください。

- 1 就学前の子がいる
- 2 小・中学校に通う子がいる
- 3 高校に通う子がいる
- 4 専門学校・大学などの各種学校に通う子がいる／（自身が）通っている
- 5 介護を要する者がいる／（自身が）必要としている
- 6 その他日常生活の支援を要する者がいる

F 8 仙台市（合併前の旧市町村を含む。）にお住まいの期間（○は1つ）

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1 1年未満 | 2 1年以上3年未満 | 3 3年以上5年未満 |
| 4 5年以上10年未満 | 5 10年以上20年未満 | 6 20年以上30年未満 |
| 7 30年以上 | | |

以上でアンケートは終了です。同封の返信用封筒に入れ、投函してください。
ご協力ありがとうございました。

なお、市政全般に関するご意見などがございましたら、下枠内にご記入ください。

仙台市基本計画〈概要版〉（3～10 ページ抜粋）

チャレンジプロジェクト

チャレンジプロジェクトとは、まちづくりの理念に基づき、目指す都市の姿の実現に向け、仙台の強みや現状を踏まえて重点的に取り組むもので、以下の8つを掲げています。
チャレンジプロジェクトは、私たちが見たい未来を、私たち自身の手でつくる、挑戦の舞台そのものです。

① 杜と水の都プロジェクト

目標 「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくる

「杜の都」という言葉に代表される自然と調和した都市空間は仙台の歴史的な財産であり、この魅力をさらに磨くことで、みどりがもたらす様々な効果を実感できる居心地の良い空間を広げていきます。加えて、「杜の都」を形づくる川や海などの水辺に、より親しめる空間をつくることなどを通じて、たくさんの人が集い、交流し、たびたび訪れたいくなるような魅力的な都市空間をつくります。

実施の方向性

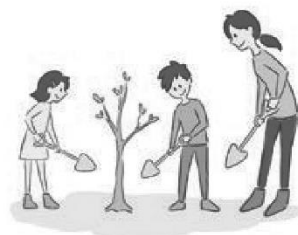
01 「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる

市民も来訪者も楽しめる定禅寺通や青葉通などの空間づくり、都市空間を活用した多様なアイデアを実践できる機会の創出、居心地の良い空間デザインや良好な景観形成など



02 みどりを楽しめる生活空間をつくる

周辺環境と調和した魅力ある公園づくり、街路樹のきめ細かな管理やみどりを守り育む活動を通じた美しい景観づくり、みどりを楽しむことができる機会の創出など



03 水辺を楽しめる親水空間をつくる

市民や観光客など誰もが親しみ、楽しめる広瀬川などの親水空間づくり、海岸公園やレクリエーション施設などの海辺の資源の活用やネットワーク化による東部沿岸地域一体の賑わい創出など



- 「杜の都のグリーンインフラ」として、「杜の都」の骨格を成すみどりの持つ多様な機能を示しています。
→ P15-P16 参照
- 「都心まちづくりの方向性」として、魅力的な都心に向けたまちづくりの方向性を示しています。
→ P17-P18 参照

② 防災環境都市プロジェクト

目標 持続可能でしなやかな都市環境をつくる

2015 年、災害リスクの低減に向けた国際的な取組指針である「仙台防災枠組 2015-2030」と、脱炭素を目指す「パリ協定」が採択され、防災・減災の推進と自然環境との調和は世界的な潮流となっています。「杜の都」の豊かな環境を守り、活かしながら、災害リスクの軽減にもつなげる「防災環境都市」を世界に発信するとともに、災害への対応や環境配慮の視点を日常生活に織り込み、持続可能でしなやかな都市環境をつくります。

実施の方向性

01 防災・減災の備えを日常生活に織り込む

自然災害や感染症などあらゆる危機への対応力の向上、防災・減災の取り組みを通じた地域のつながりの深化、東日本大震災の経験と教訓の国内外への発信、防災・減災の視点を取り入れた新たな製品・サービスの創出など



02 環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる

再生可能エネルギーの導入などエネルギーの地産地消、消費エネルギーの削減や廃棄物の発生抑制、プラスチックの3Rと再生可能資源への代替の推進、食品ロスの削減など



03 都市インフラの持続可能性を高める

グリーンインフラの充実を通じた雨水の保水・浸透機能等の向上、グリーンビルディングの導入等による建築物の環境性能の向上、公共交通・自転車等の移動手段や MaaS などの生活の利便性を高めるサービスの利用の拡大、災害時における人や物の安定的な輸送環境づくりなど



チャレンジプロジェクト

③ 心の伴走プロジェクト

目標 多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる

地域では多様な人々が暮らしています。それぞれの立場や状況、ライフスタイル、価値観などは様々であるため、地域全体として多様性を包み込み、共生していくことが必要とされています。人々が互いに多様性を尊重して支えあい、つながる仕組みをつくることで、あらゆる人が孤立せずに、安心して暮らすことができる地域をつくれます。

実施の方向性

01 多様性が尊重される環境をつくる

年齢・性別・国籍・障害の有無等の多様性への理解が広がる機会の創出、相談や交流ができる場など心の拠り所がある環境づくり、ユニバーサルデザインの推進と合理的配慮の推進を両輪とした、暮らしやすさを実感できる生活環境づくりなど



02 孤立しない、つながる仕組みをつくる

地域住民の顔が見える関係づくりやコミュニティの中で支えあえるつながりづくり、ひきこもりや貧困等の支援を必要とする家庭の社会的自立を後押しする環境づくりなど



03 心を支える環境をつくる

いじめや児童虐待等の未然防止や早期発見・早期対応による子どもたちが安心して育つ環境づくり、メンタルヘルスを支える取り組みや人権を守る取り組みを通じた心を支える環境づくりなど



④ 地域協働プロジェクト

目標 多様性を力に変える地域をつくる

地域によって、その成り立ち、魅力、課題などは異なっており、より良い地域づくりを進めるためには、それぞれの状況に応じた協働のあり方を考え、実践していく必要があります。住民と多様な主体が関わりながら、それぞれの知見や強みを活かし、生活に不可欠な移動手段の確保をはじめとした暮らしの改善や地域課題の解決、魅力づくりに向け、多くのチャレンジが生まれる環境をつくります。

実施の方向性

01 多様な協働が生まれる基盤をつくる

公共空間の活用や地域課題の可視化・共有等による興味・関心のある誰もが地域づくりに関わり活動しやすい環境づくり、テクノロジーの活用等による地域課題の解決に効果的・加速的に取り組める環境づくりなど



02 多様な主体の力を地域に活かす

多様な主体のアイデアやノウハウ、ネットワークを活かした、地域の移動手段等の地域課題解決や子育て・教育環境等の暮らしの改善、若者が世代や立場を超えて地域づくりについて考え、実践する機会づくりなど



03 地域の交流を活発化させる

豊かな自然資源や地域特有の生活文化等を活かした地域や多様な主体間の交流が活発化する環境づくり、イベント開催や地域の困りごとの解決に取り組むことができる自由でオープンな交流の場づくりなど



チャレンジプロジェクト

⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

目 標 子どもたちの未来が広がる環境をつくる

持続可能な未来をつくるためには、安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが健やかに成長できる環境が不可欠です。子どもたちの個性を尊重し、地域で見守りながら、子どもたちがチャレンジできる機会を広げることで、人生を切り開く力を伸ばしていきます。そして、大人も子どもとの関わりを通じて学び、社会がより良い方向に進むための好循環を生み出します。

実施の方向性

01 意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる

子どもたちの自己肯定感や自己効力感を育み探求意欲・コミュニケーション能力を伸ばす環境づくり、学校・地域・家庭による協働の一層の推進、情報化社会・グローバル化に対応した成長の機会の創出、オンライン・対面での活動を最適に組み合わせた学びの機会の確保と質の向上など



02 個性に合わせた成長の機会をつくる

子どもたちが年齢・性別・国籍・障害の有無等の多様性への理解を深め、異なる立場にある人との対話の機会づくり、不登校の児童生徒や発達に不安を抱えている子どもなど誰もが安心して育つ、個性に合わせた選択肢のある学びの場づくりなど



03 子育てを楽しめる環境をつくる

オンラインや対面など様々な手段で妊娠や子育ての相談ができる環境づくり、家庭における学びの充実、子連れで安心して外に出かけて楽しめる環境づくり、様々な遊びを体験できる機会の充実など



⑥ ライフデザインプロジェクト

目 標 自分らしい生き方が実現できる環境をつくる

人生 100 年と言われる時代、学ぶことや働くことに年齢の制限はありません。自分らしく、充実した暮らしを実現するためにも、その前提となる健康づくりへの意識を高めるとともに、文化芸術や歴史などに親しめる多彩な学びの機会があふれる環境やライフスタイルに合わせた活躍の場をつくります。そして、様々な個性が輝き、創造性あふれる豊かな社会をつくります。

実施の方向性

01 まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる

文化芸術や歴史などに親しみ創造性が育まれる環境づくり、学びや体験をまちづくりの実践の場につなげる仕組みづくり、音楽や芸術などの創作活動がまちの新たな魅力となる環境づくりなど



02 誰もが活躍できる環境をつくる

一人ひとりが希望するキャリアやライフスタイルの実現に向け多様な働き方ができる環境づくり、年齢・性別・国籍・障害の有無等にかかわらず主体的に活躍できる環境づくりなど



03 ライフステージに合わせた健康を支える

スポーツや運動機会の確保・食生活の改善等を通じたライフステージに合わせた健康づくり、テクノロジーの活用等による医療機関へのアクセスが困難な人も安心して医療を受けることができる環境づくりや効果的な介護予防に向けた取り組みなど



チャレンジプロジェクト

⑦ と う ほ く TOHOKU 未来プロジェクト

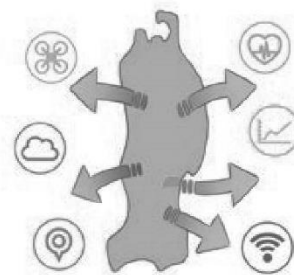
目 標 世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出す

人口減少などの課題を抱える東北の現状を、新たなイノベーションを生むチャンスと捉えて、未来を描く必要があります。リスクの分散や働き方の多様化による地方への意識が高まる中、企業や人を惹きつけ、社会的・経済的なインパクトをもたらす、地域特性を活かしたイノベーションの創出を目指します。そして、グローバルな視点とローカルな視点を併せ持つて戦略的にビジネスや誘客を進め、東北の魅力を国内外に広める役割を果たします。

実施の方向性

01 仙台・東北を舞台にイノベーションを生み出す

東北をはじめ国内外の都市との戦略的提携等を通じた魅力的な事業の創出とグローバルなビジネスの推進、ソーシャル・イノベーションを生み出す起業家をはじめとしたあらゆる事業者が挑戦しやすい環境・風土づくりなど



02 仙台・東北の産業の成長を支える

次世代放射光施設の稼働を契機とした研究開発拠点や関連産業の集積による新しい技術が生まれる環境づくり、仙台・東北の農林水産業の活性化や地場の食に関するビジネスへの取り組み等、経済活動の地域内循環の推進など



03 仙台・東北に世界中から人を呼び込む

仙台・東北の豊かな自然・歴史・文化・祭り等の活用や多彩な体験プログラムの創出、戦略的なプロモーションや安心・快適に旅行できる環境づくり、魅力的なオフィス環境や MICE 等の受け入れ環境の整備など



⑧ 都心創生プロジェクト

目 標 人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる

仙台の都心は、多くの人々が集まる交流の要所であり、絶えず人を惹きつける、魅力あふれる場所であることが求められます。そのため、都心の開発を推進し、ビジネスや交流の基盤を整備することで、意欲のある方々が集い、新しいチャレンジが生まれる環境を整えます。さらに、多様な主体の連携を通じて、様々なコンテンツをつくることで、回遊性が高く、働く場、楽しむ場として魅力的な都心をつくります。

実施の方向性

01 投資を呼び込むまちをつくる

老朽建築物の建て替えや高水準な機能を備えるオフィスビルの整備推進、都市公園や道路等の公共空間や民間の遊休不動産等の新たな利活用を通じたまちのリノベーションの推進など



02 イノベーションが生まれる都心をつくる

企業・起業家・教育機関等による新たな事業の創造を応援する文化・コミュニティの構築を通じたスタートアップ・エコシステムの育成、産学官金の技術やノウハウを活用したイノベーションの創出など



03 まちの回遊性を向上する

市役所本庁舎の建て替え・勾当台公園の再整備・音楽ホールの整備検討など、多くの人が集い交流が生まれる魅力的な市街地環境づくり、居心地が良く歩いて巡りたくなる空間づくり、テクノロジーの活用による回遊環境の向上や中心部商店街の活性化など



令和4年度「仙台市市民意識調査」 報告書

令和4年8月発行

調査主体: 仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-1245

調査委託: 株式会社ぎょうせい 東北支社